



2019 年度

かながわ文化芸術振興計画 年次報告書

2020 年 11 月



# 目 次

I	かながわ文化芸術振興計画について	1
1	かながわ文化芸術振興計画とは	
2	かながわ文化芸術振興計画年次報告の位置付け	
3	重点施策の実施状況の概要	
II	重点施策の実施状況	
重点施策 1	地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用	5
重点施策 2	子どもや高齢者・障がい者など、あらゆる人の文化芸術活動の充実等	7
重点施策 3	国際文化交流の充実	10
重点施策 4	東京2020大会を契機とした施策	13
重点施策 5	文化芸術の振興を推進するための環境整備	16
III	基本的な施策の実施状況	
1	県民の文化芸術活動の充実	19
2	文化資源を活用した地域づくりの推進	22
3	文化芸術の振興を図るための環境整備	24
IV	施策の実施状況一覧	26
V	進行管理のための参考指標等	
1	総合計画「かながわグランドデザイン」における文化芸術の位置付け	67
2	県立文化施設の利用者数	70
3	文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度	71
4	県立文化施設の利用率（ホール・劇場等）	73
5	過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合	79
VI	年次報告のまとめ（文化芸術振興審議会意見）	82

・表紙上段:カナガワ リ・古典 in 秦野に出演された小田原囃子多古保存会の皆様

・表紙下段:マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー成果発表会

# I かながわ文化芸術振興計画について

## 1 かながわ文化芸術振興計画とは

本県では、文化芸術振興基本法（現文化芸術基本法）の趣旨に則り、文化芸術の振興についての基本理念や施策の基本となる事項を明らかにした神奈川県文化芸術振興条例（以下「条例」という。）を2008（平成20）年7月に制定し、2019（平成31）年4月に改定しました。

また、同条例に基づき、文化芸術の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、文化芸術の振興に関する基本的な計画を定めることを目的として、かながわ文化芸術振興計画を2009（平成21）年3月に策定し、その後、2014（平成26）年3月及び2019（平成31）年3月に改定を行い、現行計画を策定しました。

この現行計画は、2019（令和元）年度から2023（令和5）年度までの5年間の計画期間としており、これまでの間の文化芸術を取り巻く状況の変化とこれまでの取組の実績と課題を踏まえ、今後取り組むべき「基本的な施策」及び「重点施策」を整理しました。

## 2 かながわ文化芸術振興計画年次報告の位置付け

県はかながわ文化芸術振興計画（以下「計画」という。）について、2009（平成21）年3月に策定後、2014（平成26）年3月に改定（以下「第2期計画」という。）し、2014（平成26）～2018（平成30）年度の5か年間に取り組む「重点施策」及び「基本的な施策」を掲げ、取組を進めました。

なお、現行の計画（計画期間：2019（令和元）年度～2023（令和5）年度。以下「第3期計画」という。）は、2019（平成31）年3月に改定を行っています。

この年次報告は、それぞれの施策に係る2019（令和元）年度の実施状況について県文化芸術振興審議会に報告し、御意見を踏まえまとめたものです。

このうち、重点施策については概要を3のとおり整理しました。

資料の構成は、「重点施策」（5～18ページ）、「基本的な施策の実施状況」（19～25ページ）で整理しています。

### 「Ⅱ 重点施策の実施状況」（5ページ）

計画の施策体系のうち、「重点施策」と位置付けている各施策の実施内容を記載しています。また、その効果、課題、今後の方向性について、記載しています。

### 「Ⅲ 基本的な施策の実施状況」（19ページ）

計画に掲げる「基本的な施策」に位置付けられている各事業の実施状況について、その概要を記載しています。

### 「Ⅳ 施策の実施状況一覧」（26ページ）

2019（令和元）年度に実施した施策の概要を一覧にしています。

### 「Ⅴ 進行管理のための参考指標等」（67ページ）

施設の利用者数、利用率など量的なもの、文化芸術に関する県民の意識など質的なもの両面から、それぞれ関連するデータを記載しています。



## I かながわ文化芸術振興計画について

### 3 重点施策の実施状況の概要（詳細は5～18ページに記載しています。）

「重点施策」に位置付けた各事業の令和元年度の実施状況は次のとおりでした。

#### 重点施策1：地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用



○ 県民が伝統文化の存在意義に対する認識を深め、魅力・価値を再発見し、将来にわたり大切に継承していこうという機運につなげていくことを目指し、「カナガワリ・古典in秦野」などの地域の伝統文化を紹介する事業を実施した。

○ 小・中学生を対象に日本舞踊等を体験できる「日本舞踊に学ぶ‘和’の作法」ワークショップ等の伝統的な芸能の体験・鑑賞機会を提供した。

#### 重点施策2：子どもや高齢者・障がい者など、あらゆる人の文化芸術活動の充実等



○ 一般の高齢者が参加することができる「シニア劇団」を創設するなど、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで全ての人が、舞台芸術に参加し楽しめる取組を推進した。

○ 青少年センターにおける、マグカルシアター「青少年のための芝居塾」において、広く一般から募った青少年が、キャストだけでなく大道具や衣装、スタッフワークなど舞台の裏方の仕事を学ぶ機会を提供した。

#### 重点施策3：国際文化交流の充実



○ 神奈川県内の子どもたちを対象とした、日本アフリカ国際交流企画「WASAWASA!ジャンベワークショップ&ミニコンサート」などの多文化共生を推進する取組を実施した。

○ （公財）かながわ国際交流財団が、国際交流や国際協力の積極的な推進、多文化共生社会の実現を目的として、高校生等を対象に、世界の現状や課題に対する理解を深め、豊かなコミュニケーション力を育むためのセミナーを開催した。

## I かながわ文化芸術振興計画について

### 重点施策4：東京2020大会を契機とした施策



○ 県内各地の様々な文化イベントなど、497件を「神奈川文化プログラム」として認証し、神奈川全体で一体感を高め、東京2020大会に向けた文化イベント等の機運醸成を図った。

○ 「日本大通り流鏝馬騎射式」や「神奈川伝統・映像アートウォーク2019」などを実施し、幅広い年代層の集客が図れる工夫を行うなどして、多くの方が地域の伝統文化に触れる機会を創出した。

### 重点施策5：文化芸術の振興を推進するための環境整備



○ 県民ホールや音楽堂などの県立文化施設において、施設機能の維持や来館者の安全・安心の確保のため、修繕・工事等を実施した。

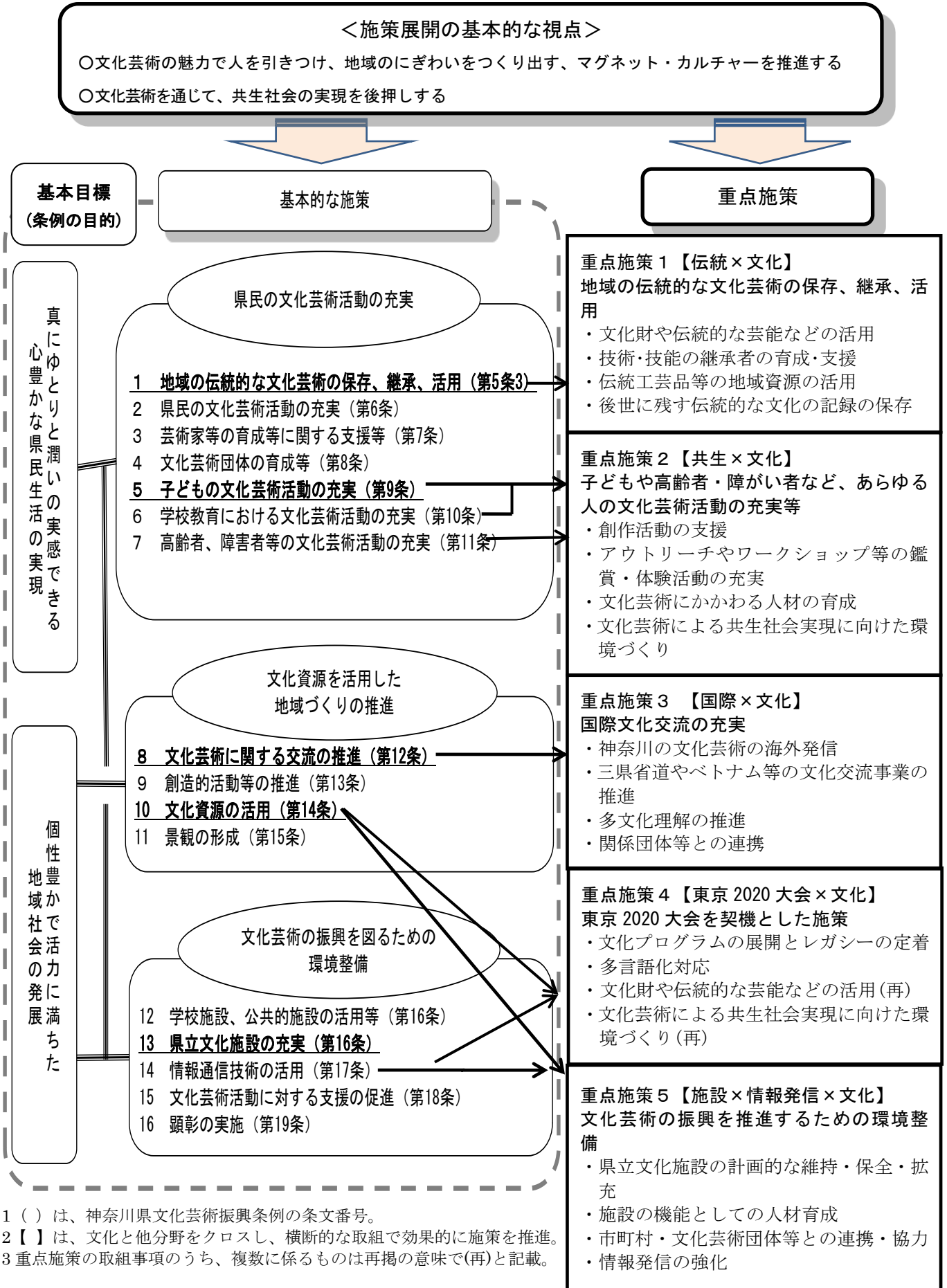
○ 文化芸術を求めて人々が集う神奈川を目指し、神奈川の文化プログラムを推進するため、県内市町村と連携しながら取り組むことを目的とした神奈川県オリパラ文化プログラム推進協議会を開催し、県と市町村の文化行政について情報共有を行った。

今後は、2019年度に実施したこうした取組を踏まえて、2021年に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）の開催、県内の人口減少・高齢化、本県への訪日外国人旅行者数の傾向、本県に東アジア諸国の外国籍県民が多く在住していること、SDGsの動きなどの文化芸術を取り巻く本県の状況や第2期計画において様々な取組を実施したことにより明らかとなった課題に対応すべく、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグネット・カルチャーの取組を推進し、文化芸術を通じて、共生社会の実現を後押しするという、施策展開の基本的な視点を持って、第3期計画に基づき、施策を進めていく。

また、現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの文化芸術に係るイベント等が中止又は延期となり、文化芸術活動や鑑賞の場を十分に確保できない状況である。今後はコロナ禍における文化芸術を取り巻く課題や文化芸術のあり方を検討しながら、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を見極めつつ、文化芸術への取組を進める必要がある。

# I かながわ文化芸術振興計画について

## <第3期計画（計画期間：2019年度～2023年度）の施策体系図> <施策体系図>



※1（ ）は、神奈川県文化芸術振興条例の条文番号。  
 ※2【 】は、文化と他分野をクロスし、横断的な取組で効果的に施策を推進。  
 ※3 重点施策の取組事項のうち、複数に係るものは再掲の意味で(再)と記載。



## II 重点施策の実施状況

### 重点施策1 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用

#### 1 施策の内容

##### (1) 文化財や伝統的な芸能などを活用した文化芸術の発信

市町村と連携しながら、県民が伝統的な芸能の存在意義に対する認識を深め、魅力・価値を再発見し、将来にわたり大切に継承していこうという機運につなげていくことを目指し、「カナガワ リ・古典in秦野」や「2019かながわの太鼓」などの地域の伝統文化を紹介する事業を開催した。

また、ラグビーワールドカップ2019™を契機とした「日本大通り流鏝馬騎射式」や「神奈川伝統・映像アートウォーク2019」などを実施し、幅広い年代層の集客が図れる工夫を行うなどして、多くの方々が地域の伝統的な芸能に触れる機会を創出した。

##### (2) 伝統的な芸能を支える技術・技能の継承者の育成・支援

伝統的な芸能についての理解と認識を深めるとともに、継承者の育成につながるよう、市町村と連携しながら、小・中学生を対象に日本舞踊等を体験できる「日本舞に学ぶ‘和’の作法」ワークショップ及び能で使用する楽器体験といった「能楽ワークショップ」等の伝統的な芸能の体験・鑑賞機会を提供した。

また、「かながわこども民俗芸能フェスティバル〜れとろびーと2019〜」を開催し、ホールでの公演機会を提供することで、地域の伝統的な芸能に取り組む子ども・青少年を支援した。



「日本舞踊に学ぶ‘和’の作法」ワークショップ

##### (3) 伝統工芸品等の地域資源の活用



「カナガワ リ・古典 in 秦野」寄木細工

ものづくりに必要な設備機器等を木製品製造事業者への貸し出しや、新商品の試作等のための加工・製作などの「木製品ものづくり支援事業」を実施し、工芸を主とする木製品業者向けにもものづくり支援や技術情報の提供を行った。

また、「工芸ヤングフォーラム」を実施し、小田原・箱根地域の木製品製造業に携わる若手工芸技術者を対象に、交流の場を提供したほか、箱根地域の寄木細工の職人と連携し、「カナガワ リ・古典 in 秦野」

や「神奈川伝統・映像アートウォーク 2019」にて寄木細工のワークショップを実施し、伝統工芸品の普及促進を行った。

## II 重点施策の実施状況

### (4) 後世に残す伝統的な文化の記録の保存

「吉浜の鹿島踊」を初めとした、県内に所在する「鹿島踊」について、現状等の記録保存を行うことにより、県内の民俗芸能の保存・継承の基礎資料とするとともに、調査において当該芸能の特色を明らかにした。

2015 年度以降に県が実施した伝統的な芸能に係る事業について、報告書の整理を実施し、記録として後世に残していく取組を行った。

## 2 施策の効果

公演やワークショップといった機会を通じて、伝統的な芸能や地域で受け継がれている貴重な民俗芸能を紹介することで、県民の理解・認識を深めることができた。また、日本大通りや神奈川県庁舎で事業を実施し、幅広い年代層に興味を持っていただけるように工夫した企画を行い、「日本大通り流鏝馬騎射式」では、県内外のおよそ 4,000 人の方に来場いただくなど、日頃は伝統文化に興味を持っていない方にも、その価値を認識していただくことができた。

学生向けのワークショップや公演では、事業をきっかけに、終了後も継続して伝統的な芸能に取り組む児童・生徒もおり、伝統的な芸能を支える技術・技能の継承者の育成に一定の効果を得ることができた。

## 3 今後の課題

人口減少の影響により、地域において伝統的な芸能の継承者が減少するという問題があり、参加や鑑賞する側の人についても、触れる機会の減少やその価値が広く知られていないことから、伝統文化が失われていく恐れがある。また、公演事業においては高齢者層の来場が多く、ワークショップについては、県内各地域で実施し、次世代を担う青少年の参加者をより増やすための取組が必要である。

## 4 今後の方向性

県民をはじめ多くの人たちが県内各地域の伝統的な芸能を知る機会をもち、価値を知って大切に継承していけるような公演やワークショップ等の事業や、伝統的な芸能の記録を保存し、後世に伝えることを視野に入れた取組を継続して実施する。

その際、県内市町村とも連携しながら、各事業の参加者や対象地域を広げていくとともに、地域に根付かせていく取組を検討する。

また、次世代を担う青少年が文化財や伝統的な芸能に興味を持つような企画・広報を検討し、より幅広い世代に発信する取組を進める。



### 重点施策2 子どもや高齢者・障がい者など、あらゆる人の文化芸術活動の充実等

#### 1 施策の内容

##### (1) 創作活動の支援

全国公募による美術展である、神奈川県美術展や中・高生を対象とした特別企画展を開催し、平面立体・工芸・書・写真といった様々な作品発表の機会を提供し、創作活動の発表の場の充実を図った。

また、青少年センターで実施している、未来のライブパフォーマンスを創造する若い才能の発掘と育成を目指す取組である「マグカルシアター」に採用された団体に対し、公演会場としてスタジオ HIKARI や研修室の無料での貸し出しや「中学校創作劇発表会」、「学校演劇交流フェスティバル」などを開催し、舞台芸術の創作のための支援を行った。



神奈川県美術展



マグカルシアター

##### (2) アウトリーチやワークショップ等の鑑賞・体験活動の充実

県立文化施設での子どもたちを対象とした公演として、神奈川芸術劇場における「KAAT キッズプログラム」や青少年センターにおける「青少年ダンス鑑賞会」などを実施し、演劇や音楽など、様々な芸術作品をホールで鑑賞する機会を提供した。また、「音楽堂ふれあいアウトリーチ」では、プロのオーケストラが県内の特別支援学校で演奏会やワークショップを実施した。

その他、近代文学館においては「かなぶんキッズクラブ」と称して紙芝居や絵本の読み聞かせ、映画の鑑賞会を実施したほか、県立近代美術館や県立歴史博物館等において子ども向けの講座やワークショップ、近隣の小中学校における出張授業などを開催した。

##### (3) 文化芸術にかかわる人材の育成

青少年センターにおける、「青少年のための芝居塾」において、広く一般から募った青少年が、キャストだけでなく大道具や衣装、スタッフワークなど舞台の裏方の仕事を学ぶ機会を提供した。

「マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー」では声楽、ダンス、演技、各分野の一流講師陣による実践的なレッスンを行い、成果発表会、夏のホール公演（ミュージカル）を通して舞台芸術のアーティストの育成を図った。



マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー

## II 重点施策の実施状況

また、県民ホール本館では「舞台芸術講座」を、神奈川芸術劇場では「劇場運営インターン」、「舞台技術インターン」を実施し、国際的に通用する真のプロフェッショナル人材の育成のための取組を推進した。

### (4) 文化芸術による共生社会実現に向けた環境づくり

共生共創事業として、障がい者や高齢者等が出演するプロの団体による公演事業の実施や、一般の高齢者が参加することができる「シニア劇団」を創設したり、「シニアダンス企画」を実施することで、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで全ての人が、舞台芸術に参加し楽しめる取組を推進した。

また、「神奈川県障害者文化・芸術祭」を実施し、障がい者の文化芸術活動（絵画、工作、ダンス、合唱等）の発表を行う場を用意するほか、ライトセンターにおいて視覚障がい者同士の交歓活動となる文化クラブの場を提供するなど、障がい者の社会参加の推進を図った。



共生共創事業「シニア劇団」

## 2 施策の効果

県内の美術作家や文化芸術団体に作品の創作・発表の機会を提供するとともに、県民に優れた美術作品や演劇を鑑賞する機会を提供することができた。

また、県立文化施設での子ども向け公演の開催や県内全域でのアウトリーチやワークショップ等を実施したことにより、舞台やオーケストラの鑑賞機会が少ない子どもたちや障がい者が優れた文化芸術に触れ、文化芸術への関心を高めることに繋げることができた。

青少年に対する舞台芸術にかかわる人材の育成については、舞台への出演だけでなく舞台の裏方の仕事も学ぶことで、青少年の思考力やコミュニケーション能力などを養い、健全育成に寄与することができた。

一般の高齢者が参加可能な劇団を創設したことで、アンケートに回答した劇団員全員が参加して「良かった」、84%の方が心や気持ちが「元気になった」とあり、高齢者の文化芸術活動の充実

## II 重点施策の実施状況

を図るとともに、共生の理念を普及し「ともに生きるかながわ」の実現に寄与することができた。

### 3 今後の課題

舞台芸術以外の分野における創作活動については高齢化が目立つため、より幅広い年代が創作活動を行い発表できる機会を提供する必要がある。

アウトリーチやワークショップにおいては限られた回数しか実施できないため、地域的な差異を補完し、さらに多くの県民に文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供する必要がある。また、青少年の文化芸術への関心が高まるとともに、興味が多様化してきているため、県民のニーズを把握し事業に反映していく。

共生社会時代に向けた環境づくりにおいては、引き続き、ともに生きる社会かながわ憲章の理念の着実な普及に努め、共生社会の実現に寄与していく必要がある。

### 4 今後の方向性

年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人までのあらゆる人が文化芸術活動を行うことができる環境づくりのため、創作活動の支援や発表の場の提供を引き続き行っていく。

アウトリーチやワークショップ等については、県立文化施設や関連するNPO等のノウハウやネットワークを生かして、学校や障がい者・高齢者施設等と連携するなど、県内全域での実施を目指す。

また、舞台芸術人材の育成については、青少年センター等の県立文化施設を神奈川の舞台芸術シーンの拠点として、多くの人材が集える場所として引き続き整備していくとともに、より多くの人材育成が可能となるよう、関係団体と協力しながら取組を進める。



### 重要施策3 国際文化交流の充実

#### 1 施策の内容

##### (1) 神奈川の文化芸術の海外発信

神奈川芸術劇場において、国内外のプロフェッショナルが交流するTPAM（国際舞台芸術ミーティング in 横浜）を、複数の文化芸術関連団体と協働して実施し、日本の舞台芸術を発信するとともに、海外からの舞台芸術の日本初演の公演を実施するなど、国際交流の推進を図った。

また、県民ホール本館では英国ロイヤルオペラによる「オテロ」やロイヤル・バレエ団による公演など、国際色豊かな事業を実施した。

##### (2) 三県省道やベトナム等の文化交流事業の推進

ベトナム・神奈川の文化や食などをPRするプログラムを盛り込んだイベントを通して、両地域の相互理解を深め、幅広い分野での交流を更に推進するため、「ベトナムフェスタ in 神奈川 2019」及び「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2019」を実施した。

また、世界文化交流プロジェクトとして、ベトナムとの演劇による交流を促進することを目的に「ワーニャ伯父さん」を公演した。

三県省道スポーツ交流事業では、中国・遼寧省の青少年が来日し、スポーツ親善試合だけでなく、県内の文化・観光施設の観覧や、県立高校への訪問を実施し空手・けん玉等の日本文化交流ワークショップを実施するなど、幅広い青少年交流を図った。



ベトナムフェスタ in 神奈川 2019「水上人形劇」

## II 重点施策の実施状況

### (3) 多文化理解の推進

神奈川県内の子どもたちを対象とした、日本アフリカ国際交流企画「WASAWASA!ジャンベワークショップ&ミニコンサート」や、多様な国籍文化や民族の違いを理解し、認め合うことのできる多文化共生社会の実現をめざし、県内の民族団体、NPO、市民ボランティア等が企画段階から関わり、学び合いながらともに作り上げる「あーすフェスタかながわ 2019」などの多文化共生を推進する取組を実施した。



「WASAWASA!ジャンベワークショップ&ミニコンサート」



あーすフェスタかながわ 2019

### (4) 関係団体等との連携

(公財)かながわ国際交流財団が、国際交流や国際協力の積極的な推進、多文化共生社会の実現を目的とした各種事業を展開しており、高校生等を対象に、世界の現状や課題に対する理解を深め、豊かなコミュニケーション力等を育むためのセミナーを開催した。

また、国連大学と共催し、県内大学をはじめ、首都圏を中心とする大学と協力の上、留学生を含む大学生を対象に国際課題をテーマとしたセミナーを開催し、青少年が国際理解や課題を学ぶことにより、今後、主体的に学ぶきっかけを提供した。

## 2 施策の効果

T P A M (国際舞台芸術ミーティング in 横浜)では、公演をはじめとする多彩なプログラムを通じて、情報交換やネットワーク構築の場を提供できた。

また、様々な国の音楽・舞台等に触れることができる公演・ワークショップにより、県民がその国や地域の文化芸術を知り、文化交流を行う機会を提供した。

県、ベトナム両地域において継続した取組を行うことで、駐日ベトナム大使館をはじめ、首脳級を含むベトナム政府関係者との間で強い友好関係が構築されており、経済など様々な分野においてベトナムとのパートナーシップが強化されてきている。

多文化理解の推進については、イベントにより訪日外国人や外国籍県民を含む県民間の交流が促進され、また、県内の学生向けのセミナーの開催等により、多文化共生の意識醸成に繋げることができた。

## 3 今後の課題

今後も、国際色豊かな文化事業を展開するとともに、相互理解を深めるための国際交流事業の



## II 重点施策の実施状況

中で文化交流を推進することが必要である。

ベトナムとの交流については、これまで構築されたベトナム政府やベトナム関連団体や企業等との交流やネットワークを維持・拡大するとともに、そのネットワーク等を活用し、県内におけるビジネス、文化、教育、観光等様々な分野において、引き続き取組を行っていく効果を上げていく必要がある。また、若い世代やより多くの外国籍県民が参加し、交流できる事業を実施し、多文化理解の推進に取り組む必要がある。

### 4 今後の方向性

今後も引き続き、様々な国や地域との国際交流事業を実施しながら神奈川発の文化芸術を海外に発信していくとともに、県立文化施設において国際色豊かな取組を充実させることで、県民の国際交流や海外の文化芸術に対する理解を深める取組を推進していく必要がある。

また、関係団体等と連携しながら、より多くの青少年や外国籍県民に参加を促せるような多文化共生をテーマとした事業を企画・開催することによって、国際色豊かな本県の多文化理解を推進する。



KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2019「よさこい」



### 重点施策 4 東京 2020 大会を契機とした施策

#### 1 施策の内容

##### (1) 文化プログラムの展開とレガシーの定着

県内各地の様々な文化イベントなど、497 件を「神奈川文化プログラム」として認証し、神奈川県全体で一体感を高め、東京 2020 大会に向けた文化イベント等の機運醸成を図ることができた。

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 大会の機会をとらえ、世界的に有名な演劇を公演することを目的とした令和元年度世界文化交流プロジェクトの中で、県内の文化芸術団体及び各国の行政機関等と協働し、日本とフィンランドの外交関係樹立 100 周年を記念し「VORTEX」を公演した。

また、ラグビーワールドカップ 2019™ の準決勝が横浜で開催される日程に合わせて日本大通りにおいて「日本大通り流鏝馬騎射式」や日本の伝統文化×デジタル技術を融合させたナイトアートイベント「浮世絵アートウイーク 2019」を実施した。

##### (2) 多言語化対応

国内観光客及び訪日観光客向けに、県内の魅力的な文化芸術コンテンツ及びラグビーワールドカップ 2019™ の特集を掲載した冊子「Cultural Programs in Kanagawa 2019-2020」や、県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する情報誌「マグカル・イベントカレンダー」を、日英併記で作成した。

多言語情報紙「こんにちは神奈川」の発行にあたり、記事や発行趣旨に合ったイラストを盛り込み、より適切な表現になるよう多言語の翻訳チェックを行い、外国籍県民等が手に取りやすい紙面となるよう工夫をした。

また、県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、訪日外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。



Cultural Programs in Kanagawa 2019-2020

## II 重点施策の実施状況

### (3) 文化財や伝統的な芸能などを活用した文化芸術の発信（重点施策1の再掲）

市町村と連携しながら、県民が伝統文化の存在意義に対する認識を深め、魅力・価値を再発見し、将来にわたり大切に継承していこうという機運につなげていくことを目指し、「カナガワリ・古典 in 秦野」や「2019 かながわの太鼓」などの地域の伝統文化を紹介する事業を開催した。

また、ラグビーワールドカップ 2019™を契機とした「日本大通り流鏝馬騎射式」や「神奈川伝統・映像アートウォーク 2019」などを実施し、幅広い年代層の集客が図れる演出を行うなどして、多くの方々が地域の伝統的な芸能に触れる機会を創出した。

### (4) 文化芸術による共生社会実現に向けた環境づくり（重点施策2の再掲）

共生共創事業として、障がい者や高齢者等が出演するプロの団体による公演事業の実施や、一般の高齢者が参加することができる「シニア劇団」を創設したり、「シニアダンスワークショップ」を実施することで、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで全ての人が、舞台芸術に参加し楽しめる取組を推進した。

また、「神奈川県障害者文化・芸術祭」を実施し、障がい者の文化芸術活動（絵画、工作、ダンス、合唱等）の発表を行う場を用意するほか、ライトセンターにおいて視覚障がい者同士の交歓活動となる文化クラブの場を提供するなど、障がい者の社会参加の推進を図った。

## 2 施策の効果

各国の行政機関等と協働した事業の実施や、イベントにオーストラリアやロシアなど7つの国と地域から外交官等の来賓を招くなど、東京 2020 大会に向けて諸外国との文化交流を促進させるものとなった。

「Cultural Programs in Kanagawa 2019-2020」や「マグカル・イベントカレンダー」といった情報誌に「マグカル・ドット・ネット」の二次元コードを掲載したことから、当該サイトのページビュー数が過去最大値を記録し、より多くの方が県内で実施するイベント等の情報を閲覧することで、イベント等の周知や集客に貢献した。

また、首都圏の公道では初めての開催となった「日本大通り流鏝馬騎射式」は翌年度の実施を求める声が多く、伝統的な芸能の継続的な発信や地域の活性化に寄与した。

## 3 今後の課題

「神奈川文化プログラム」の認証を限られた地域ではなく、県内のより多くの地域で行っている文化芸術活動に対して認証し、県内の文化芸術活動や地域の継続的な活性化に繋ぐことができるよう、取り組む必要がある。

また、これまで交流してきた諸外国とは、東京 2020 大会以降も継続的に文化交流を行い、より多くの県内に訪れる外国人や外国籍県民等の情報格差を解消し、文化芸術のイベントや活動への参加を促進する必要がある。

## Ⅱ 重点施策の実施状況

### 4 今後の方向性

今後も引き続き、「神奈川文化プログラム」の認証により、官民一体となってオール神奈川で文化プログラムに取り組むとともに、文化プログラムを通じて構築された市町村や関係団体等とのネットワークを生かし、東京2020大会に向けてマグカル事業を展開していく。

その上で、あらゆる人に情報が伝わるよう、県内に訪れる外国人や外国籍県民等に必要な情報が効果的に提供できるよう努める。



浮世絵アートウィーク 2019



### 重点施策5 文化芸術の振興を推進するための環境整備

#### 1 施策の内容

##### (1) 県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充

県民ホール本館では楽屋入口空調設備工事、神奈川芸術劇場では調光装置部品交換工事、音楽堂では無線LANアクセスポイント設置工事、かながわアートホールでは舞台隙間調整・框取替工事など、施設機能の維持や来館者の安全・安心の確保のため、修繕・工事等を実施した。

また、青少年センターでは、天井の改修工事に係る改修工事設計調査を実施した。

##### (2) 施設の機能としての人材育成

県民ホール本館や神奈川芸術劇場において、劇場運営マネジメントプロフェッショナル人材養成講座や劇場体験インターン事業、大学等と連携した公演制作に係る人材養成プログラムを展開し、各施設の特色を生かした文化芸術に関する人材を育成した。

また、青少年センターにおいては学生のほかに教員を対象とした「青少年ダンス講習会」や「中・高等学校演劇講習会」、「演劇指導者のための実践的ワークショップ」を実施し、ダンスや演劇の基礎的理論や演出、演技、舞台づくり、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。



神奈川芸術劇場「舞台技術講座」

## II 重点施策の実施状況

### (3) 市町村・文化芸術団体等との連携・協力



神奈川伝統・映像アートウォーク 2019 生け花体験

文化芸術を求めて人々が集う神奈川を目指し、神奈川の文化プログラムを推進するため、県内市町村と連携しながら取り組むことを目的とした神奈川県オリパラ文化プログラム推進協議会を開催し、県と市町村の文化行政について情報共有を行った。

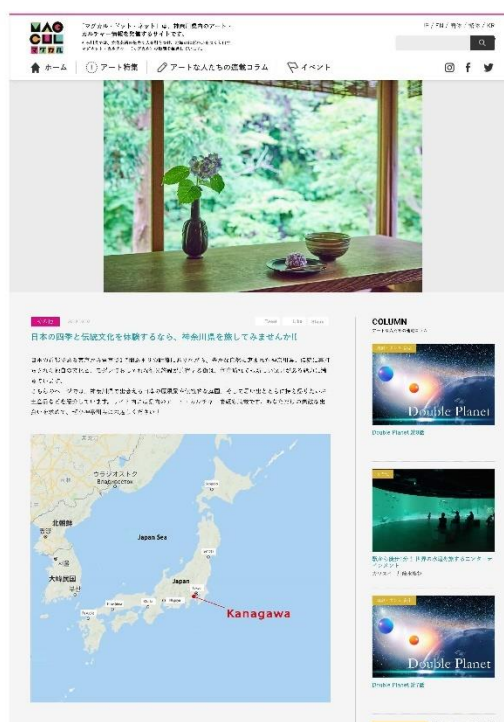
また、県内の様々な文化芸術団体と協力し、「歌舞伎鑑賞教室」などの伝統的な芸能のワークショップや共生共創事業、東京 2020 大会を見据えた文化プログラムである「神奈川伝統・映像アートウォーク 2019」など、様々な事業を実施した。

### (4) 情報発信の強化

県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報を随時発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。

また、マグカル・ドット・ネットの SNS のほか、県立文化施設等でも SNS 等を利用し、各媒体のユーザーに合った情報を提供して情報発信の強化を図った。

情報誌については、国内観光客及び訪日観光客向けに、県内の魅力的な文化芸術コンテンツを掲載した「Cultural Programs in Kanagawa 2019-2020」や、県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する情報誌「マグカル・イベントカレンダー」を日英併記で作成した。



マグカル・ドット・ネット コラム

## 2 施策の効果

各施設の改修工事等を適切に行い、利用者の方に施設をより安全に利用していただくために計画的な整備を行うことができた。

人材育成に関する事業については、施設を使い、実際の業務を体験することによって、実践的な研修の場を提供することができた。また、ダンスや演劇等の舞台芸術について総合的に学ぶことで次世代を担う青少年やその指導者の演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することができた。

また、市町村・文化芸術団体等との様々な事業や広報を連携することによって、県民が文化芸術のイベント等の情報を知り、参加する機会を創出することができた。

## II 重点施策の実施状況

### 3 今後の課題

県民ホール本館は開館から45年、音楽堂は65年が経ち、必要に応じて大改修を行ってきたが、全国的に劇場・音楽堂等の文化施設の老朽化が問題になっている中で、本県も県立施設の長寿命化等に向けて、必要な修繕や拡充を計画的に進めていく必要がある。

人材育成や情報発信力の強化についても、市町村や文化芸術団体と連携・協力をしながら、限られた地域だけでなく、より多くの地域から多くの人が事業に参加できるような取組を推進する必要がある。

### 4 今後の方向性

県民ホールなどの県立文化施設について、計画的な維持、保全に努める。

また、ソフト面の環境整備に関して、人材育成については、関係団体と連携して、ニーズに沿った必要な取組を継続して実施していく。

情報発信については、「マグカル・ドット・ネット」において、訪日外国人向けに多言語翻訳記事の作成を行うなど、国内外向けのインターネット広報をさらに展開しながら、市町村や文化芸術団体と連携を行い、県内外の人に情報が等しく伝わるよう、強化していく。



## Ⅲ 基本的な施策の実施状況

### 1 県民の文化芸術活動の充実

#### (1) 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用

##### 【施策の方向性】

地域の伝統的な芸能の大切さについての理解、認識を深めるとともに、後継者の育成につながるよう、市町村と連携しながら伝統的な芸能の体験・鑑賞機会の提供、発表機会の確保などに取り組む。

文化財の保護を図るため、未指定文化財を調査し、指定等の保護措置を講ずるほか、文化財の活用・保護の普及啓発のため、展覧会や講座などを開催する。

##### 【主な施策の内容】

重点施策1及び4に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して公募により補助金を交付した。
- ・ 指定文化財等の保存修理等に対して、補助金を交付し、文化財の保存活用を図った。
- ・ 県立歴史博物館において、神奈川県文化と歴史に主眼を置いた資料の収集や収蔵資料の定期的な修繕を行った。

#### (2) 県民の文化芸術活動の充実

##### 【施策の方向性】

県立文化施設での文化芸術に関する講座・講演会等の開催や、広報誌やホームページなどで文化芸術に関する情報提供を行うことにより、県民の文化芸術に対する関心や理解を深める。

県立文化施設での公演、展覧会などの鑑賞機会の提供や優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する文化芸術団体への支援により、県民の鑑賞機会の充実を図る。

県民が文化芸術活動（創作・練習・稽古・発表等）を行う際に利用できる文化施設を運営するとともに、県民が参加できる展覧会やコンクールなどの開催により、県民自らが行う文化芸術活動を支援する。

県内各地で開催される文化芸術の催しや文化芸術団体の活動情報など、県民が文化芸術の鑑賞や活動を行う際に必要とする情報を広報誌やホームページなどで提供する。

##### 【主な施策の内容】

- ・ 神奈川近代文学館や県立金沢文庫等の県立文化施設において、展覧会の開催に合わせて公演会や講座等を実施した。
- ・ 県民ホールや音楽堂等において、オペラやバレエ、クラシック音楽コンサートといった様々なジャンルの舞台芸術の公演を実施し、優れた文化芸術の鑑賞機会を提供した。
- ・ 「神奈川芸術プレス」を発行し、県民ホール本館、神奈川芸術劇場及び音楽堂の公演情報や県内の文化情報等を周知した。

## Ⅲ 基本的な施策の実施状況

### (3) 芸術家等の育成等に関する支援等

#### 【施策の方向性】

将来の活躍が期待される芸術家等の発掘や育成支援を実施し、また、文化施設で催される様々な公演事業を支える舞台技術者等の育成に取り組む。

県立文化施設などを活用し、芸術家等が創作・練習・稽古等に利用しやすい仕組みづくりを行うなど、創作のための環境の整備を図る。

芸術家等の創造的活動の成果を発表するための展覧会や公演事業などを開催するとともに、県立文化施設の主催事業などで将来の活躍が期待される芸術家等の積極的な登用を行う。

#### 【主な施策の内容】

重点施策2に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 神奈川県在住、在職又は神奈川に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を、また、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に「未来賞」を贈呈した。
- ・ 次世代を担うと期待される神奈川県ゆかりの才能ある若手奏者を広く県民に紹介し、オーケストラとの共演を通じてその才能の一層の育成を図ることを目的とした、フレッシュ・コンサートを(公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共催し実施した。

### (4) 文化芸術団体の育成等

#### 【施策の方向性】

文化芸術団体の自主的な活動を支援することにより、文化芸術団体の多様な活動を促進するとともに、文化芸術団体との連携・協働に取り組む。

#### 【主な施策の内容】

重点施策5に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 文化芸術団体等が主催する、県内において実施する事業について、県の文化芸術の振興に寄与すると認められるものに、神奈川県の後援名義の使用を承認した。
- ・ かながわ児童劇グループ交流会を実施し、地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供した。

### (5) 子どもの文化芸術活動の充実

#### 【施策の方向性】

県立文化施設で子どもたちが様々な文化芸術を鑑賞する機会を提供する。

子どもたちが自ら行う文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術を体験する機会の充実を図る。

#### 【主な施策の内容】

重点施策2に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県民ホール本館及び音楽堂において、オープンシアター2019 を開催し、子ども向けバレエ

### Ⅲ 基本的な施策の実施状況

の上演や、オルガンとうたのコンサート、ワークショップ等のイベントを実施した。

- ・ かながわアートホールにおいて、神奈川フィル・ジュニアオーケストラ 2019 を開催し、子どもたちがプロのオーケストラと共に音楽創造活動体験をする機会を提供した。
- ・ 藤野芸術の家において夏休みの自由研究に適した教室を実施するなど、子どもから大人まで多くの人々が自ら陶芸・木工・ガラス工芸等の制作活動を体験することにより、文化芸術に親しむ機会を提供した。

#### (6) 学校教育における文化芸術活動の充実

##### 【施策の方向性】

小中学校などの学校教育における文化芸術に関する体験学習などの充実を県及び市町村の教育委員会と連携して図るとともに、芸術家等や文化芸術団体が学校教育の中で行う文化芸術活動に必要な協力や支援を実施する。

##### 【主な施策の内容】

重点施策 2 に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 青少年センターにおいて、小・中・高等学校を対象に、演劇の発表会を開催した。
- ・ 青少年センターにおいて、中・高等学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。
- ・ 県高等学校総合文化祭を開催し、県内高等学校の文化・芸術活動において、相互交流・啓発を促進し、文化・芸術活動の一層の活性化を図った。

#### (7) 高齢者、障がい者等の文化芸術活動の充実

##### 【施策の方向性】

高齢者、障がい者、子育て中の保護者などが、文化芸術に親しみ自ら文化芸術活動を楽しめるよう、文化芸術団体と協力しながら、文化芸術の鑑賞機会の提供や自らが文化芸術活動を楽しむための取組を推進するとともに、文化施設のバリアフリー化や利用サービスの向上に努める。

##### 【主な施策の内容】

重点施策 2 及び 4 に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ (公財) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内の特別支援学校や県立病院を室内楽編成で巡回するボランティア演奏会を実施した。
- ・ 神奈川芸術劇場託児ルームを設定し、主催公演において、育児中の県民に対する文化芸術鑑賞機会の提供に寄与した。



## Ⅲ 基本的な施策の実施状況

### 2 文化資源を活用した地域づくりの推進

#### (1) 文化芸術に関する交流の推進

##### 【施策の方向性】

国民文化祭等への参加や他県との交流事業の実施などにより、文化芸術の地域間交流を推進する。

文化芸術を介した国際交流事業の実施や県立文化施設での海外の作品の鑑賞機会の提供などにより、国際交流や海外の文化芸術に対する理解を深める取組を推進する。

多文化共生イベントの開催や多文化理解を深めるための講座を実施するなど、多文化理解を推進する。

##### 【主な施策の内容】

重点施策3に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県立近代美術館において、福島県及び三重県の美術館と連携して三県を巡回する展覧会を実施し、交流を図った。
- ・ 国民文化祭の開催県である新潟県と連携し、文化団体等へ国民文化祭の開催及び参加を周知した。
- ・ 県内でアーティスト・イン・レジデンス事業を実施する、アートプロジェクト等の実施団体の支援を行った。

#### (2) 創造的活動等の推進

##### 【施策の方向性】

県立文化施設の活用や文化芸術団体との連携により、新しい文化芸術の創造的活動を推進するとともに、これらを国内外に発信する取組を実施する。

##### 【主な施策の内容】

重点施策5に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 神奈川芸術劇場において、国内外の優れた制作者との共同制作公演に積極的に取り組み、新たな舞台芸術作品の創造や新作公演を実施した。
- ・ エンターテインメントレストラン「浮世絵カフェ」を開設し、「和」をテーマとしたデジタル映像の映写と浮世絵を活用したパフォーマンスを行うショーを定期的で開催した。

#### (3) 文化資源の活用

##### 【施策の方向性】

県内の文化資源の発掘に努め、その具体的な活用方策を検討する。また、地域の活性化等に活用可能な文化資源については、市町村、文化芸術団体、芸術家、企業などとの連携により有効活用に取り組むとともに、その魅力を広くPRするための情報発信に取り組む。

### Ⅲ 基本的な施策の実施状況

#### 【主な施策の内容】

重点施策4及び5に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 歩行者天国となった県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス、大道芸等のジャンルを問わず自由に発表できる開放的な空間である「マグカル開放区」を実施した。
- ・ シンポジウムやワークショップ、ツアーなどを実施し、箱根ジオパークに対する地域の機運醸成及びジオパークとしての環境整備を行った。
- ・ 「日本遺産」の新規認定申請について、県内市町村等への周知や、既認定の「日本遺産」について、文化庁補助金の周知や助言を通じ、市町村や地元協議会による地域活性化の取組を支援した。
- ・ 「観光かながわNOW」において、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報を発信した。

#### (4) 景観の形成

##### 【施策の方向性】

県内各地の自然景観、歴史的景観、都市景観などの良好な景観の形成に当たっては、文化的諸条件などに配慮し、魅力ある景観づくりに取り組む。

##### 【主な施策の内容】

- ・ 文化庁や全国文化的景観地区連絡協議会による研修や普及啓発について県の関係部局及び県内市町村に周知し、重要文化的景観の制度等の周知を通じて、選定に向けた機運の醸成に努めた。

## Ⅲ 基本的な施策の実施状況

### 3 文化芸術の振興を図るための環境整備

#### (1) 学校施設、公共的施設の活用等

##### 【施策の方向性】

学校開放などの取組により、空き教室や休日等の学校施設を県民の文化芸術活動のために利用できるよう努める。また、文化施設以外の庁舎などの公共的施設についても、作品の展示などの利用ができるよう取り組む。

##### 【主な施策の内容】

- ・ 県立学校の図書室、音楽室などの学習施設や、グラウンド・体育館などの体育施設を県民の学習や文化活動、スポーツ活動の場として提供した。

#### (2) 県立文化施設の充実

##### 【施策の方向性】

県立文化施設では、文化芸術の鑑賞や活動、交流の場としての機能に加えて、施設の特성에応じて、文化芸術に関する人材の育成や教育普及活動に取り組む。

県立文化施設の機能を最大限に発揮させるため、効果的な事業の実施や効率的な施設運営等について、適切な検証を行う。

県立文化施設の文化芸術発信拠点としての機能を充実させるため、長寿命化や県民ニーズに対応した施設改修や、文化資源を収蔵するための施設整備に取り組む。

##### 【主な施策の内容】

重点施策5に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県立文化施設の指定管理者に対して、県の行政管理課が定める「指定管理者制度の運用に関する指針」等に基づき、協定書に定めた利用者満足度調査を実施した。
- ・ 県民ホール本館、神奈川芸術劇場及び音楽堂の3館一体による効率的な運営が行われているかをチェックするため「神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会」を設置し、公募委員を含む委員により指定管理者が行う自主事業公演のモニタリングを行い、その内容について会議を開催した。

#### (3) 情報通信技術の活用

##### 【施策の方向性】

文化芸術に関する情報や資料などを容易に入手できるよう、ホームページや電子メールを活用した情報提供を行うとともに、東京2020大会を契機とし、多言語による情報提供を推進する。

また、県立文化施設が保管・保有する公開資料を容易に利用できるよう、検索や閲覧に情報通信技術を活用するよう取り組む。

県立文化施設の利用手続において、窓口を訪れる負担などを軽減するため、情報通信技術を活用し、自宅から利用予約が可能となるよう、利用者サービスの向上に取り組む。



### Ⅲ 基本的な施策の実施状況

県立文化施設に保存・保管されている文化芸術にかかわる資料について、デジタル化、データベース化を図り、利用者の利便性を高める取組を推進する。

#### 【主な施策の内容】

重点施策4及び5に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 神奈川近代文学館や県立金沢文庫において、所蔵資料のデータベース化を実施し、利用者がPCやスマートフォンで検索・閲覧できるデータベースを公開した。
- ・ 施設予約システムにおいて、原則24時間どこからでもインターネットを通じて、県内公共施設の空き状況の照会や予約申込を行えるようにすることで、県民の利便性を向上させるとともに、職員側の施設予約管理に関する事務処理の効率化を図った。

#### (4) 文化芸術活動に対する支援の促進

##### 【施策の方向性】

文化芸術の振興に寄与する寄附税制等の周知などにより、個人や企業からの寄附や支援が活発に行われるよう取り組む。また、文化芸術活動に参加するサポーターについて検討を行う。

##### 【主な施策の内容】

- ・ かながわキンタロウ寄附金（ふるさと納税）の寄附メニューに「あらゆる人が文化芸術に触れ笑顔になれる社会を！」を追加し、文化芸術に触れる機会が少ない方々に対して、オーケストラを鑑賞する機会を提供するための支援を開始した。
- ・ （公財）神奈川芸術文化財団が（公社）企業メセナ協議会に会員として参加し、情報収集を行った。

#### (5) 顕彰の実施

##### 【施策の方向性】

文化芸術活動で顕著な成果を収めた人や団体、また、文化芸術の振興に寄与した人や団体の顕彰を実施する。

##### 【主な施策の内容】

- ・ 神奈川県在住、在職又は神奈川に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に「未来賞」を贈呈した。

## IV 施策の実施状況一覧

### 1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>(1) 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用</b>							
<b>ア 伝統的な芸能の普及啓発、鑑賞・発表機会の提供</b>							
文化財や伝統的な芸能を活用した文化芸術の発信							
カナガワリ・古典in秦野	秦野市を舞台に、県内の古典や各地の貴重な伝統文化の魅力・価値を再発見し、継承への機運醸成を目指し、民俗芸能フェスティバル事業を開催した。	県にゆかりのある伝統芸能をデジタル映像と組み合わせることで、今まで馴染みのなかった方にも、現代を生きる文化芸術として「再（Re）リ」発信することができた。	1,318人	2019年10月20日	クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)	当該事業、周辺イベント、ともに地域と連携して実施したことで、地域のにぎわい創出に寄与した。	重点施策1、4
神奈川伝統・映像アートウォーク2019	神奈川県庁本庁舎を丸ごと利用し、神奈川県にゆかりのある伝統芸能から、最先端のメディアアートなどの現代芸術まで様々な文化を一度に体験できる屋内イベントを実施した。	庁舎公開日及びラグビーワールドカップ2019 <sup>®</sup> の準決勝日に実施したことで、訪客に効果的であった。	2,519人	2019年10月26日、27日	県庁本庁舎	【ワークショップ等の参加者数：計210人】 ・音楽ワークショップ：40人 ・日本舞踊ワークショップ：44人 ・生け花ワークショップ：23人 ・寄木細工のコースター製作などの体験ワークショップ：53人 ・相模人形芝居下中座による人形ワークショップ：50人	重点施策1、4
日本大通り流鏝馬騎射式	県庁前日本大通りにおいて、首都圏公道初となる、流鏝馬騎射式を実施した。	ラグビーワールドカップ2019 <sup>®</sup> の準決勝が横浜国際総合競技場でも開催される日程に合わせることで、7つの国と地域から外交官等の来賓を招くことができた。	4,000人	2019年10月27日	県庁前日本大通り特設馬場	【来場した大使館等】モロッコ大使館、エクアドル大使館、台北駐日経済文化代表處横浜分處、オーストラリア大使館、ロシア大使館、フィリピン共和国大使館、トルコ大使館	重点施策1、4
<b>伝統的な芸能を支える技術・技能の継承者の育成・支援</b>							
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。		1,013人	2019年5月21日、10月1日、12月7日、2020年1月30日	①座間、南足柄、平塚、海老名の4会場	—	重点施策1
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	参加料を無料にすることによって参加しやすくし、応募者数を増やす努力を行った。	85人	2019年7月26日、27日、8月3日、4日、8月10日、11日、8月13日、14日	横須賀、平塚、南足柄、横浜の4会場	アンケートの結果、97.5%の参加者が内容に「満足」と回答した。	重点施策1
音楽ワークショップ	謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを実施した。	小・中学生だけでなく、保護者を含めた家族全員で伝統的な芸能を共有できるように、イベント運営に努めた。	6人	2020年2月15日	小田原市民会館	—	重点施策1
<b>県立文化施設での伝統的な芸能にかかわる公演の実施、発表機会の確保</b>							
歌舞伎鑑賞教室	県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	実際に公演で使われる歌舞伎の小道具をホワイエで展示し、自由に体験できるコーナーを設けた。	1,533人	2019年7月26日、27日（4回）	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、4公演を通過して「大変良かった」「良かった」を合わせると96.6%にのぼった。	重点施策1、4
人形浄瑠璃文楽	県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	青少年の参加者増を狙って、文楽・人形浄瑠璃クラブがある学校等の生徒を招待した。	925人	2019年10月13日（2回）	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、「大変良かった」「良かった」と回答した方が、昼が98.9%、夜が100%と、全体で99.5%を占めており大変好評であった。	重点施策1、4
かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟団体が一堂に会し、県外の団体も参加して創作太鼓演奏を披露した。	ジュニアコンクール神奈川県優勝1団体等若い世代も参加した。	620人	2019年11月10日	青少年センター紅葉坂ホール	—	重点施策1、4
相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の5座が一堂に会し、合同公演を行う。	公演の合間に人形に触れる体験ができる時間を設け、伝統芸能をより身近に感じてもらえる工夫を行った。	691人	2020年2月11日	青少年センター紅葉坂ホール	—	重点施策1、4

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>かながわ伝統芸能祭などの伝統芸能普及振興事業の実施</b>							
かながわこども民俗芸能フェスティバルへれとろびーと2019～	地域で継承されている民俗芸能を県民に紹介することで、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への機運を醸成するとともに、後継者育成を支援するためのイベントを開催した。	県内で伝承されている2種類の人形芝居の継承活動に着目し、ホールでの公演機会を提供することで、地域の伝統芸能の継承に取り組む子ども・青少年を支援した。	396人	2019年11月4日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、97.9%の方から「大変良かった」「良かった」と回答があり、観覧者の高い満足度に繋げることができた。	重点施策1、4
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内6市町の伝統芸能を紹介した。	376人	2019年12月1日	はまぎんホール ヴィアマーレ	—	重点施策1、4
<b>文化芸術団体への支援や連携による発表機会の確保</b>							
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	平成30年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」、「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行った。	要望団体数：52件 助成団体数：38件 助成金交付額：8,550千円	—	—	—	重点施策1、4
<b>後世に残す伝統的な文化の記録の保存</b>							
伝統的な文化芸術保存ライブラリー	県で実施した伝統的な芸能について、映像及び報告書等の整理をし、後世に残していく取組を実施した。	2019年度から実施した取組であるが、過去5年分について遡って収集した。	—	—	—	—	重点施策1
民俗芸能調査事業	「吉浜の鹿島踊」を初め、県内に所在する「鹿島踊」について記録保存を行うことにより、県内の民俗芸能の保存・継承の基礎資料とし、調査において当該芸能の特色を明らかにする。	調査員による現地調査及び関連文献の調査を行った。	調査員13人ほか	現地調査2019年4月23日ほか57回	湯河原町吉浜、湯河原町鍛冶屋、小田原市米神、小田原市根府川、真鶴町真鶴ほか	保存会代表者が参加した中間報告会を実施した。	重点施策1
<b>イ 文化財保護の充実等</b>							
<b>文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施</b>							
指定文化財保存修理等補助金	指定文化財等の保存修理等に対して、補助金を交付し、文化財の保存活用を図った。	—	・有形文化財保存修理等（20件） ・記念物等保存修理等（8件） ・民俗文化財保存修理等（12件） 合計40件	—	—	—	—
<b>県立の博物館での文化財、伝統芸能等に関する資料の収集、保管、展示</b>							
県立金沢文庫における文化財の管理	2万点を超える国宝・重要文化財をはじめとする文化財を適切に管理した。	日々の温湿度管理等を行った。	—	—	県立金沢文庫	—	—
県立歴史博物館における資料の収集、修繕	神奈川県文化と歴史に主眼を置いた資料を収集した。また、収蔵資料の定期的な修繕を行った。	資料の収集について、購入は市場の動向を注視しながら、寄贈コレクションを補完する関連資料の収集を行った。また、部門ごとにまとめた修繕希望資料のリストを集約し、順次修繕を行った。	—	—	県立歴史博物館	【購入実績】 天正18年豊臣秀吉朱印状など5件5点 【寄贈実績】 ・歴史資料上杉憲寛感状など65件313点 ・美術資料は下村観山の双六など1件4点 ・民俗資料七五三の着物など67件68点 【修繕実績】 ・「赤羽刀」、「藤野町浄瑠璃人形カシラ」	—
<b>県ホームページ等による文化財に関する情報の提供</b>							
指定文化財の所有・保持者に対する情報提供	指定文化財の所有・保持者に対する周知や神奈川県文化財保存活用大綱を作成し、掲載を行った。	—	—	—	—	所属トップページのページビュー数は3,024件であった。	—



IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>ウ 伝統工芸品等の地域資源の活用</b>							
<b>工芸を主とする木製品業者向けにもつくり支援や技術情報の提供、連携・交流</b>							
木製品ものづくり支援事業①	ものづくりに必要な設備機器等を木製品製造事業者に貸し出した。	工芸に関する加工、塗装、加飾技術を有する職員が相談に乗り、助言を行う。	機器利用件数：837件	通年	中小企業支援課小田原駐在事務所	—	重点施策1
木製品ものづくり支援事業②	木製品製造事業者からの依頼を受け、新商品の試作等のための加工・製作を行った。	工芸に関する加工、塗装、加飾技術を有する職員が相談に乗り、助言を行う。	依頼加工・試作等件数：60件	通年	中小企業支援課小田原駐在事務所	—	重点施策1
工芸ヤングフォーラム	小田原・箱根地域の木製品製造業に携わる若手工芸技術者を対象に、交流の場を提供した。	木工技術、産地の歴史等、幅広い知見があり、事業者支援の経験を有する専門家を指導講師として招く。	述べ参加者数：146人	2019年4月から2020年2月まで各月1回、計11回開催	中小企業支援課小田原駐在事務所	—	重点施策1
<b>(2) 県民の文化芸術活動の充実</b>							
<b>ア 文化芸術に対する関心、理解を深めるための普及啓発</b>							
<b>県立文化施設での文化芸術に関する講座、講演会等の開催</b>							
県民ホール本館における芸術文化普及事業	入門者向けの講座やホールのステージ見学やリハーサルの公開、トークイベント等を実施した。	公演や展覧会への興味が膨らむような企画した。	3,102人	公演や展覧会に合わせて実施	県民ホール本館	オープンシアターでは多言語（英語・中国語・韓国語）の通訳案内係の配置、手話通訳者の配置等に継続して取り組んでいる。	
県立近代文学館における講演会	神奈川近代文学館のホール等の会場を利用して、企画展や特別展に即した内容の講演会を開催した。	第一線で活躍する作家や研究者を招いて講演会を実施することができた。	1,609人	企画展等に合わせて7回実施	神奈川近代文学館	講演録の雑誌掲載、作家と直接触れ合えるサイン会などの実施により読書意欲の増進を図ることができた。	
神奈川芸術劇場での鑑賞普及事業の実施	神奈川芸術劇場の白井晃芸術監督と音楽家のトークセッション「SHIRAI's CAFE」を実施した。	オープンシアターやホール公演事業と合わせて気軽に劇場に親しむことができるイベントとして実施。	323人	2019年6月1日、11月9日	神奈川芸術劇場	—	
県立金沢文庫における講座、講演会等の開催	特別講演会、月例講座、解説講座等を開催した。	展覧会の開催に合わせたものや、地域史に関わるものを中心に実施し、横浜市金沢区とも連携した。	特別講演会：5回、414人 月例講座：8回、588人 解説講座等：14回、793人	特別講演会：2019年6月29日他 月例講座：2019年4月29日他 解説講座等：2019年4月27日他	県立金沢文庫	—	
中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	講師やプログラムの検討においては、中学生及び中高各専門部会のニーズや時代からの要請を踏まえ、見直しを行っている。	中学生及び教員1,254人 高校生及び教員629人	中学：2019年8月3日、4日 高校：2019年7月30日、31日	青少年センター	講習内容は「部活での活用ができる」など評価も高く、アンケートでも、「大変良かった」「良かった」が合わせて95%以上であるなど、高い満足度を得ている。	
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	講師やプログラムの検討においては、ダンス専門部のニーズや時代からの要請を踏まえ、見直しを行っている。	478人	2019年8月7日～8日	青少年センター	講習内容アンケートで、「大変良かった」「良かった」が平均で93.3%であり、高い満足度を得ている。	
学校演劇交流フェスティバル	学校演劇における創作のスキルアップを目的とした試演とワークショップを実施した。	演劇シーンの第一線で活躍する劇作家、演出家等を講師に活用した。	中学生、高校生、一般253人	2019年9月22日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートによると、「とても良い」「良い」が90.3%と高く評価されている。	
巡回講座の実施	名作オペラ講座オペラ「カルメン」の魅力を実施した。	入門講座として人気があり実績がある講師に依頼し、歌手による実演も加え、親しみやすい内容とした。	330人	2019年9月25日	社のホールはしもと	—	
舞台芸術講座	館の所有する楽器を活かした講座や、名作オペラの講座といった、館の設備や事業と連携した講座を開催した。	日本で珍しい、規模の小さいホール設置のオルガンの魅力を多面的に紹介する講座を企画した。	570人	2019年9月28日、2020年2月16日	県民ホール本館	—	
演劇指導者のための実践的ワークショップ	中学校・高等学校の演劇部指導者、演劇部等の指導的立場にある生徒等を対象に、音響、照明、舞台のノウハウを学ぶための実践的なワークショップを実施した。	中・高とも発表会（県大会）の会場である紅葉坂ホールの機材、道具を実際に使用し、舞台、音響の基礎的な部分から実践的な内容の講習を行った。	28人	2020年1月13日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、道具の使い方やホールの機器を使用できたことに評価があったほか、時間が足りないとの声もあった。	

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>広報誌、ホームページによる普及啓発の実施</b>							
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内のイベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成し、ツイッター等のSNSにおいても情報発信を行った。	イベント掲載数を増やしたほか、特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。訪日外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	PV（ページビュー）数 398,712	通年	—	—	—
神奈川近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミックとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展覧会紹介、資料紹介等に加え、誕生日日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供している。	ホームページアクセス数：260,988件 上記のうち、蔵書検索アクセス数：74,701件	通年	神奈川近代文学館 ホームページ及びSNS	Twitterフォロワー数が647人増となった。	—
県立金沢文庫における普及啓発の実施	県立金沢文庫で開催する展覧会や関連する講座等のイベントについて、HPや地域の情報誌、美術館・博物館関係の雑誌で展覧会の紹介を行った。	各雑誌に掲載された展覧会の紹介記事では展覧会の目玉となる作品を紹介し、展覧会の魅力やみどころを伝えられるよう発信した。	—	通年	—	HP閲覧件数：120,730件	—
県立近代美術館における普及啓発の実施	広報誌『たいせつな風景』を発行し、美術館活動の周知に努めた。また、近代美術館ウェブサイトを通して、開催する展覧会の情報を広く県民に発信した。	広報誌では、内容を充実させるべく、著名な執筆者に原稿を依頼し、ウェブサイトでは、展覧会開催前に代表的な出品作品の画像を含む情報を提供した。	—	通年	—	広報紙：1回（2020年2月29日発行） ウェブサイト展覧会詳細ページ：展覧会開幕に合わせて、年4回程度更新	—
県立歴史博物館における普及啓発の実施	HP（Twitter含む）を活用した情報提供や刊行物、マスメディア（紙・電波媒体、ネット）による情報発信を行った。	限られた予算の中、無料掲載可能な県の広報媒体や外部WEB媒体への広報依頼、新聞社等マスコミの取材を誘引するためのきめ細やかな情報の提供に努めた。	—	通年	—	794件 【内訳】 Twitter：44件 特別展等チラシ・ポスター：6件 催し物のお知らせ：2件 その他：442件	—
広報誌「ANGLE」	芸術監督と各演目に携わるアーティストとの対談や公演レビューなどを掲載した。	紙媒体のほか、インターネット上で閲覧可能なオンライン掲載も行った。	年間7万5千部	年4回発行 2019年4月1日 2019年7月1日 2019年10月1日 2020年1月1日	神奈川芸術劇場	—	—
イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「マグカル・イベントカレンダー」を作成した。	毎月特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数56万部（各号14万部）	年4回発行 5～7月号 8～10月号 11～1月号 2～4月号	関東圏の文化施設、駅、劇場、ホテル等で配布	—	—
神奈川芸術プレス	冊子を発行・配布することで、公演情報の周知、県内の文化情報等を掲載した。	各館公演のアーティスト情報などをバランスよく取り上げるとともに県域の文化情報についても紹介した。	年間27万部	奇数月15日、年6回発行	—	—	—
Cultural Programs in Kanagawa 2019-2020	国内観光客及び訪日観光客向けに、県内の魅力的な文化芸術コンテンツやラグビーワールドカップ2019の特集を掲載した日英併記の冊子を作成した。	ラグビーワールドカップ2019の特集を入れることで、ラグビーファンの目にも留まりやすくなった。また、旅行者が持ち帰りたくなるよう、表紙に厚く高級感のある紙を使用した。	発行部数3万部	8月（年1回発行）	空港、駅、外国人向け観光案内所、ホテル等で配布	—	—
<b>イ 鑑賞機会の充実</b>							
<b>県立文化施設での公演事業の実施</b>							
県民ホール本館での公演事業の実施	「神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2019」など県民ホール本館における主催・共催・提携公演を実施した。	施設運営担当と連携し、利用日程の調整や当日運営を行った。	59,382人	通年 55公演6展覧会（うち、共催等 29公演）	県民ホール本館ほか	—	—
神奈川芸術劇場等での公演事業の実施	「ドクター・ホフマンのサナトリウム〜カフカ第4の長編〜」など新たな舞台芸術作品の創造や新作公演を実施した。	芸術監督企画・演出作品のほか、新進、中堅の演出家、振付家の作品を起用し、多様なラインナップを並べた。	109,013人	通年 36事業319公演1展覧会	神奈川芸術劇場、青少年センター	「ドクター・ホフマンのサナトリウム〜カフカ第4の長編〜」では、読売演劇大賞優秀スタッフ賞を受賞した。	—

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
音楽堂での公演事業の実施	「音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ」など、県立音楽堂における主催・共催・提携公演を実施した。	音楽堂初登場の演奏家や日本初演作品等に重点を置き全国的にも注目されるレベルの高い公演企画の実施に留意した。	27,168人	通年 37公演 (うち、共催等 26公演)	音楽堂ほか	公演本体及び関連企画において横浜市施設、鎌倉文学館、野毛、黄金町等地域の文化拠点との連携を実現できた。	
音楽堂における芸術文化鑑賞普及事業	ワークショップ、アウトリーチなどを実施した。	—	4,555人	通年 7事業4演目 5公演23企画45回	音楽堂ほか	子ども達が多様な音楽の鑑賞や、自ら様々な楽器を触り演奏する機会を設けることが出来た。	
青少年センターでの公演事業の実施	青少年センターにおける演劇・ダンス発表会やマグカシシアター公演など、主催・共催・後援による公演等を実施した。	施設運営担当と連携し、利用日程の調整や当日運営を行った。	64,998人	通年 477公演	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI等	—	
DVD鑑賞会	月に一度、ホールにて、かながわアートホールが所蔵する音源、映像を上演した。	広報に見どころ等を掲載し、映画への興味が湧くよう工夫した。	1,998人	2019年4月13日、5月12日、6月22日、7月28日、8月18日、9月29日、10月13日、11月9日、12月25日、2020年1月26日、2月15日	かながわアートホール	—	
野外コンサート	県民の文化芸術鑑賞機会の充実や発表機会の場の提供を目的として、正面玄関横のテラスをステージとしたコンサートを実施した。	5月、6月、11月という穏やかな気候の時期に実施することで誘客を図った。	430人	2019年5月19日、6月8日、11月17日	かながわアートホール	—	
(再)歌舞伎鑑賞教室	県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	実際に公演で使われる歌舞伎の小道具をホワイエで展示し、自由に体験できるコーナーを設けた。	1,533人	2019年7月26日～27日（4回）	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、4公演を連算して「大変良かった」「良かった」と回答すると96.6%にのぼった。	
青少年ダンス鑑賞会	青少年の舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むことを目的に、青少年向けの鑑賞会を実施した。	ソロでの映像を使った公演と6人でお芝居も取り入れたダンスの公演企画した。	247人	2019年8月8日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートで講師の演技のレベルの高さに感嘆する声が多く、集計結果は、「とても良かった」「良かった」が92.7%であった。	
(再)人形浄瑠璃文楽	県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	青少年の参加者増を狙って、文楽・人形浄瑠璃クラブがある学校等の生徒を招待した。	925人	2019年10月13日（2回）	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、「大変良かった」「良かった」と回答した方が、昼が98.9%、夜が100%と、全体で99.5%を占めており大変好評であった。	
青少年対象演劇鑑賞会／おどる童話「AZUKI」	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、情操豊かで健全な青少年の育成を図ることを目的に、演劇やダンスの鑑賞会を実施した。	青少年の共感を得やすい30代以下の若手演出家の作品や、青少年に特に人気の高いダンスの要素を取り入れた作品を取り上げた。	446人	2019年10月17日～20日（5回）	青少年センタースタジオHIKARI	アンケート結果で「大変良かった」、「良かった」が合わせて100%であった。	
世界文化交流プロジェクト	ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> 及び東京2020大会の機会を捉え、世界的に有名な演劇を上演した。	日本とフィンランドの外交関係樹立100周年を記念し、「VORTEX」を、ベトナムとの演劇による交流を促進することを目的に「ワーニャ伯父さん」を公演した。	1,329人	「VORTEX」 (3公演)：2019年10月25日～27日 「ワーニャ伯父さん」(1公演)：2019年11月26日	「VORTEX」： 神奈川芸術劇場(KAAT) 「ワーニャ伯父さん」：横浜市泉区民文化センターテアトルフォンテ	—	
(再)かながわ子ども民俗芸能フェスティバル〜れとろびーと2019〜	地域で継承されている民俗芸能を県民に紹介することで、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への機運を醸成するとともに、後継者育成を支援するためのイベントを開催した。	県内で伝承されている2種類の人形芝居の継承活動に着目し、ホールでの公演機会を提供することで、地域の伝統芸能の継承に取り組み子ども・青少年を支援した。	396人	2019年11月4日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、97.9%の方から「大変良かった」「良かった」と回答があり、観覧者の高い満足度に繋げることができた。	
(再)かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟団体が一堂に会し、県外の団体も参加して創作太鼓演奏を披露した。	ジュニアコンクール神奈川県優勝1団体等若い世代も参加した。	入場者数 620人	2019年11月10日	青少年センター紅葉坂ホール	—	

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
青少年対象演劇鑑賞会／ダンス鑑賞！	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、情懷豊かで健全な青少年の育成を図ることを目的に、演劇やダンスの鑑賞会を実施した。	青少年の共感を得やすい30代以下の若手演出家の作品や、青少年に特に人気の高いダンスの要素を取り入れた作品を取り上げた。	176人	2020年1月11日～12日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果で「大変良かった」、「良かった」が合わせて100%であった。	
(再)相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または国指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の5座が一堂に会し、合同公演を行う。	公演の合間に人形に触れる体験ができる時間を設け、伝統芸能をより身近に感じてもらえる工夫を行った。	691人	2020年2月11日	青少年センター紅葉坂ホール	—	
県立近代美術館での美術作品の展覧会の開催・普及活動の実施							
県立近代美術館における葉山美術講座、展覧会記念講演会等事業の開催	「ポーランド・ポスター展」等に関連した記念講演会やパフォーマンスイベント、学芸員による専門講座として「葉山美術講座」を開催した。	葉山美術講座については、別途開催している近代美術館入門講座と異なり、専門的な内容を提供して差別化している。また、開催日を水曜日に固定することで、参加者の定着を図った。	展覧会関連講演会等：20回、920人 葉山美術講座：10回、184人	展覧会関連講演会：2019年4月27日他 葉山美術講座：2019年4月17日他	県立近代美術館葉山館	—	
県立近代美術館における展覧会の開催、普及活動事業の実施	葉山館では「ポーランド・ポスター展」をはじめとした企画展とコレクション展、鎌倉別館では企画展を実施した。また、展覧会に関連したワークショップやギャラリートークなどを展開した。	展覧会については、情操教育に資するための企画を実施した。また、教育普及活動については、鑑賞機会の充実を目的として、ワークショップなどの多様な形態の活動を実践した。	入館者数：99,451人 教育普及活動（ワークショップ）：95回、2,023人 教育普及活動（ギャラリートーク）：54回、1,510人	展覧会：2019年4月6日～6月23日他 教育普及活動：2019年9月29日他	県立近代美術館葉山館、鎌倉別館	—	
県立の博物館での文化芸術に関する資料等の展示、展覧会の開催・普及活動の実施							
県立歴史博物館における各種講座等の開催	県民の生涯学習支援のための特別展関連講座・講演会・体験教室・子ども向け講座等各種催し物を開催した。	多くの方に参加申し込みいただけるよう、各催し物の実施日から約2ヶ月前には募集を開始し、チラシ等も配布することで十分な広報機会と期間を確保した。	一般向け講座他：109回、4,566人 教員向け講座：2回、57人 子ども向け催し物：8回、3,216人 ミュージアムコンサート：2回、109人 県内学校向け学芸員の出張講座：11回、1,248人	特別展「横浜開港160年 横浜浮世絵」記念講演会：2020年5月12日他	県立歴史博物館等	—	
県立歴史博物館における資料の展示	常設展では、各テーマごとに年間を通して展示替えを行った。	展示替えに際しては、トピックス展示を加えるなどの工夫を行った。	常設展入館者数：25,618人	展示替えは資料整理休館日を中心の実施。	県立歴史博物館	年間を通じ1,275件の資料の展示替えを行った。	
県立歴史博物館における特別展の実施	「横浜開港160年 横浜浮世絵」展などの特別展を実施した。	「ポケット学芸員」を活用した音声・文字による展示ガイドを行った。また、関連事業として講演会や展示解説を積極的に行った。	35,151人	通年 4回開催	県立歴史博物館	—	
県立金沢文庫における展覧会の開催	「いろいろとりどり」や「浄土宗七祖聖岡と関東浄土教」等の特別展4回を実施した。	金沢文庫が管理する文化財に加えて、それと関連する外部の文化財の借用を行った。	入館者数：23,128人	特別展「いろいろとりどり」：2019年3月15日～年5月12日他	県立金沢文庫	—	
県立近代文学館での文学資料に関する展示、展覧会の開催・普及活動の実施							
県立近代文学館におけるギャラリートーク	企画展等に合わせて展示説明会を開催した。	展覧会の内容を資料画像等を用いて解説し、観覧者に対してより深い理解を促した。	677人	企画展等に合わせて25回実施	神奈川県近代文学館	観覧者が、展示担当者へ直接質問する場ともなった。	
県立近代文学館における朗読会、上映会等	神奈川県近代文学館のホール等の会場を利用して、朗読会や上映会等のイベントを実施した。	新たな客層を獲得するため、著名な俳優の出演や文学の枠を超えたイベントなどを実施した。	1,293人	企画展等に合わせて7回実施	神奈川県近代文学館	著名人の出演により展覧会への注目が集まった。他分野のファン層が文学館に足を運んだ。	
かなぶんキッズクラブ（紙芝居、映画会、絵本の読み聞かせ等）	夏休みと春休みの子どもの長期休み期間に合わせて「かなぶんキッズクラブ」として紙芝居、映画会、絵本の読み聞かせなどを実施した。	特に夏休み期間のイベントは、企画展のテーマに合わせた内容でも開催した。	404人	①紙芝居がはじまるよ！：2019年8月8日 ②子ども映画会：2019年8月21日～22日 ③絵本であそぼ！：2019年8月24日	神奈川県近代文学館	県内で長い活動歴があるよこはま文庫の会、横浜紙芝居普及会との連携を深めることができた。	
県立近代文学館における特別展・企画展	各作家の所蔵資料等を活用した特別展・企画展を実施した。	所蔵資料等を活用し、作家の魅力が伝わる展示を行った。	45,949人	通年 6回開催	神奈川県近代文学館	展覧会を機に新たな資料が寄贈された。他分野とのコラボレーションが集客につながった。	



IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>文化芸術団体との連携による鑑賞機会の提供</b>							
神奈川芸術劇場 (K A A T)での企画制作事業の実施	KAAT神奈川芸術劇場プロデュース作品等を他府県で公演した。	こども向けや、KAATでの実績がある人気作品を各地で上演した。	21,309人	通年 7演目46公演	広島県など10府県	—	
巡回オペラの実施	県民ホールの出張公演として、県内の他施設で子ども向けオペラを実施した。	「みんなでのしむオペラ」をテーマとし、親子で楽しめるコンテンツとすることや、また地域のホールで上演しやすい舞台装置とする等の工夫を行った。	1,165人	2019年8月4日、8月10日	①南足柄市文化会館 ②秦野市文化会館	—	
第35回かながわ音楽コンクール	神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、育成を図る目的でコンクールを実施した。	入賞者を対象としたクリスタルコンサート、上位入賞者によるトップコンサートを実施し、上位入賞者はオーケストラと共演した。	参加者数：937人 鑑賞者数：延べ2,800人 (クリスタルコンサート及びトップコンサートの鑑賞者数：1,040人)	クリスタルコンサート：2019年8月23日 トップコンサート：2020年10月13日	クリスタルコンサート：横浜みなとみらいホール 小ホール トップコンサート：音楽堂	—	
(再)カナガワリ・古典in秦野	秦野市を舞台に、県内の古典や各地の貴重な伝統文化の魅力・価値を再発見し、継承への機運醸成を目指す、民俗芸能フェスティバル事業を開催した。	県にゆかりのある伝統芸能をデジタル映像と組み合わせることで、今まで馴染みのなかった方にも、現代を生きる文化芸術として「再(Re)リ」発信することができた。	1,318人	2019年10月20日	クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)	当該事業、周辺イベント、ともに地域と連携して実施したことで、地域のにぎわい創出に寄与した。	
(再)神奈川伝統・映像アートウォーク2019	神奈川県庁本庁舎を丸ごと利用し、神奈川県にゆかりのある伝統芸能から、最先端のメディアアートなどの現代芸術まで様々な文化を一度に体験できる屋内イベントを実施した。	庁舎公開日及びラグビーワールドカップ2019 <sup>®</sup> の準決勝日に実施したことで、訪客に効果的であった。	2,519人	2019年10月26日～27日	県庁本庁舎	【ワークショップ等の参加者数：計210人】 ・能楽ワークショップ：40人 ・日本舞踊ワークショップ：44人 ・生け花ワークショップ：23人 ・寄木細工のコースター製作などの体験ワークショップ：53人 ・相模人形芝居下中座による人形ワークショップ：50人	
フレッシュ・コンサート	次世代を担うと期待される神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を広く県民に紹介し、オーケストラとの共演を通じてその才能の一層の育成を図った。	クラシックの演奏者だけでなく、和楽器の演奏者やオペラ歌手なども紹介した。	722人	2020年1月9日	横浜みなとみらいホール	—	
寄宿生活塾 はじめ塾×東京デスロック『Anti Human Education II ～TEENS Edit.～』	青少年を取り巻く不登校等の心の課題に対し舞台芸術の力が解決の糸口の1つとなる可能性を提示することを目的とした公演を実施した。		出演者19人 ※公演は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	成果発表会：2020年2月28日(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公演は中止とし、関係者向けに成果発表会を実施)	青少年センター スタジオHIKARI	一般財団法人地域創造が全国の自治体と公立文化施設向けに発行する月刊誌「地域創造レター」に先進事例として紹介された。	
<b>ウ 県民の文化芸術活動や発表機会の支援</b>							
<b>県立文化施設での練習・発表等の活動の場の提供</b>							
マグル・パフォーマンス・アカデミー	マグルの核となるような、専門的な舞台芸術人材を育成するため、実践的な歌・ダンス・演技のレッスンを行った。	常任の講師に加え、特別講師4名を迎えレッスンを行った。	在籍者数：48人 鑑賞者数：1,095人	練習日：週2日 計87日(原則、火曜日と木曜日) 成果発表会：2019年4月7日(2公演) 本公演：2019年8月15日～18日(6公演)	青少年センター	—	
マグルシアター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」を公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	多くの文化芸術団体等の公演の場を広げるため、公演枠数を20枠から36枠に増加した。	6,509人	2019年4月18日～2020年3月15日	青少年センタースタジオHIKARI	スタジオを小劇場仕様としたことから、出演団体の種別や東京所在の団体が増えるなど、すそ野が広がっている。	
中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施した。		1,345人	2019年8月2日、3日	青少年センター紅葉坂ホール	日程2日目に、朗読ボランティアによる被爆体験朗読会を実施した。	
青少年のための芝居塾	県内の地域・歴史等を取り入れた演劇・ミュージカルを創作し、公衆した青少年により上演した。	数年おきに担当劇団を替えるなど、一般の青少年が参加しやすいように考慮している。	514人	2019年8月23日～28日	青少年センタースタジオHIKARI	演劇経験のない子が参加したり、何年か連続して参加する塾生がいるなど、芝居塾に参加することの魅力が広がっている。	

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施した。	夏の講習会で受けた刺激を日頃の活動に活かした。	1,873人	2019年11月3日	青少年センター紅葉坂ホール	—	
神奈川フィル・ジュニアオーケストラ2019	小学4年生～高校3年生の子どもたちがアートホールに集い、神奈川フィル団員の指導を経て神奈川フィルと共演した。	受講生が楽器ごとに分かれて行うパート練習や弦楽器、管楽器それぞれの合奏練習を行った。	受講生：45人 ゲネプロ入場者：100人 修了公演入場者：208人	開講式：2019年11月10日 練習：2019年12月1日、15日、26日、27日、2020年1月4日 修了公演：2020年1月5日	かながわアートホール	—	
小・中・高等学校演劇発表会	小・中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施した。	—	小学生1,000人 中学生1,586人 高校生1,541人	小学校：2020年2月15日 中学校：2019年12月7日、8日 高校：2019年11月16日、17日	青少年センター紅葉坂ホール	—	
マグル・ハイスクール・演劇フェスタ	県高校演劇発表会にて最優秀賞等高い評価を得た作品を上演した。	関東大会出場に向けて、県大会からの舞台装置の変更・見直しなど、作品のブラッシュアップに向けた相談に乗った。	316人	2019年12月13日～15日	青少年センター紅葉坂ホール	今年度の全国大会で52年ぶりに神奈川県の出場校が最優秀賞を受賞するなど、着実に実績が上がっている。	
かながわ児童劇グループ交流会（かながわ人形劇フェスティバル）	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供した。	近年の出演者、観覧者の申込状況や出演者からの意見を踏まえ、事業の実施内容について検討した。	212人	2020年2月22日、23日	青少年センタースタジオHIKARI	—	
かながわ短編演劇アワード2020	短編演劇及び短編戯曲の全国公募によるコンペティションの開催した。	短編戯曲において、作品テーマをSDGsとした。また、最終選考に残った戯曲をweb公開することで、より多くの方に作品に触れてもらう機会を設けた。	【応募数】 短編演劇：65団体 短編戯曲：59作品 【来場者数】 本戦：新型コロナウイルス感染症対策の為無観客（ライブ配信）で開催 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：272人	本戦：2020年3月21日～22日 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：2020年1月12日	本戦：神奈川芸術劇場 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：県立神奈川総合高等学校	—	
<b>県美術展の開催</b>							
第55回神奈川県美術展	全国公募による美術展を実施し、作品発表の機会を提供し創作活動の支援を図った。	応募要項・展覧会チラシのデザインを一新し、広報の強化に努めた。	応募点数：1,085点 応募人数：728人 入選者数：345人 入賞者数：40人 入場者数：4,448人	応募作品搬入：2019年7月6日、7日 展覧会：2019年8月25日～9月19日（うち2日休・開催24日間）	県民ホール本館 ギャラリー	—	
<b>文化芸術団体の創作・発表等の活動への助成等による支援</b>							
マグル開放区	歩行者天国となった県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス等のジャンルを問わず自由に発表できる場を提供することにより、日本大通りの活性化を図るとともに、県民の文化芸術活動を後押しした。	他市の公道で実施する出張開放区や企画開放区の実施など随時工夫を凝らした展開を行った。	約5,000人/1日	近隣にてイベントが開催されない日曜日	県庁前日本大通りほか	—	
マグルシアター出演団体等の上演作品制作支援事業	マグルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図った。	—	研修室利用者 63団体 2,338人	通年	青少年センター	—	
(再)神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	平成30年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」「高齢者枠」「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行った。	要望団体数：52件 助成団体数：38件 助成金交付額：8,550千円	—	—	—	
<b>伝統的な芸能・舞台芸術作品等の公演などへの共催等による支援</b>							
(再)県民ホール本館での公演事業の実施	「神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2019」など県民ホール本館における主催・共催・提携公演を実施した。	施設運営担当と連携し、利用日程の調整や当日運営を行った。	59,382人	通年 55公演 6 展覧会（うち、共催等 29公演）	県民ホール本館ほか	—	
(再)神奈川芸術劇場等での公演事業の実施	「ドクター・ホフマンのサナトリウム～カフカ第4の長編～」など新たな舞台芸術作品の創造や新作公演を実施した。	芸術監督企画・演出作品のほか、新進、中堅の演出家、振付家の作品を起用し、多様なラインナップを並べた。	109,013人	通年 36事業319公演 1 展覧会	神奈川芸術劇場、青少年センター	「ドクター・ホフマンのサナトリウム～カフカ第4の長編～」では、読売演劇大賞優秀スタッフ賞を受賞した。	

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)音楽堂での公演事業の実施	「音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ」など、県立音楽堂における主催・共催・提携公演を実施した。	音楽堂初登場の演奏家や日本初演作品等に重点を置き全国的にも注目されるレベルの高い公演企画の実施に留意した。	27,168人	通年 37公演 (うち、共催等 26公演)	音楽堂ほか	公演本体及び関連企画において横浜施設、鎌倉文学館、野毛、黄金町等地域の文化拠点との連携を実現できた。	
(再)かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内6市町の伝統芸能を紹介した。	376人	2019年12月1日	はまぎんホール ヴィアマーレ	—	
<b>エ 文化芸術活動に関する情報の提供</b>							
<b>文化芸術に関する広報誌の発行</b>							
Cultural Programs in Kanagawa 2019	国内観光客及び訪日観光客向けに、県内の魅力的な文化芸術コンテンツやラグビーワールドカップ2019の特集を掲載した日英併記の冊子を作成した。	ラグビーワールドカップ2019の特集を入れることで、ラグビーファンの目にも留まりやすくなった。また、旅行者が持ち帰りたくなるよう、表紙に厚く高級感のある紙を使用した。	発行部数3万部	8月（年1回発行）	空港、駅、外国人向け観光案内所、ホテル等で配布	—	
(再)イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「マガカル・イベントカレンダー」を作成した。	毎月特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数56万部（各号14万部）	年4回発行 5～7月号 8～10月号 11～1月号 2～4月号	関東圏の文化施設、駅、劇場、ホテル等で配布	—	
神奈川芸術プレス	冊子を発行・配布することで、公演情報の周知、県内の文化情報等を掲載した。	各館公演のアーティスト情報などをバランスよく取り上げるとともに県域の文化情報についても紹介した。	年間27万部	奇数月15日、年6回発行	—	—	
<b>ホームページ、SNS、ポータルサイトによる公演情報、文化芸術活動のための情報の提供</b>							
マガカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マガカル・ドット・ネット」において、県内のイベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成し、ツイッター等のSNSにおいても情報発信を行った。	イベント掲載数を増やしたほか、特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。訪日外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	PV（ページビュー）数 398,712	通年	—	—	
(再)神奈川近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミックとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展覧会紹介、資料紹介等に加え、誕生日命日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供している。	ホームページアクセス数：260,988件 上記のうち、蔵書検索アクセス数：74,701件	通年	神奈川近代文学館 ホームページ及びSNS	Twitterフォロワー数が647人増となった。	
県立金沢文庫における情報提供の実施	県立金沢文庫で開催する展覧会や講座などのイベントについて、HPやTwitterで広報を行った。	展覧会の目玉となる作品を定期的にTwitterで紹介し、展覧会の魅力を伝えるよう発信した。	HP閲覧件数：120,730件	通年	—	—	
県立近代美術館における情報提供の実施	プレスリリースを報道関係者にメールで配信した。また、Twitter上で美術館の日々の活動を発信した。	各々の電子媒体によって、対象に合わせた内容を発信した。	メール配信数：9回 Twitter発信数：227回	通年	—	—	
県立歴史博物館における情報提供の実施	HP（Twitter含む）を活用した情報提供や刊行物、マスメディア（紙・電波媒体、ネット）による情報発信を行った。	限られた予算の中、無料掲載可能な県の広報媒体や外部WEB媒体への広報依頼、新聞社等マスメディアの取材を誘引するためのきめ細やかな情報の提供に努めた。	804件 【内訳】 Twitter：344件 特別展等チラシ・ポスター：12件 催し物のお知らせ：6件 その他：442件	通年	—	—	

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>(3) 芸術家等の育成等に関する支援等</b>							
<b>ア 芸術家や文化芸術を支える活動を行う者の育成</b>							
<b>神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施</b>							
神奈川文化賞・未来賞表彰事業	神奈川県在住、在職又は神奈川県に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を贈呈した。2001年度に、神奈川文化賞の第50回を記念し、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に贈呈するために「未来賞」を創設し、贈呈した。	神奈川フィルによる祝賀演奏を実施し、入場無料で一般観覧者を募ることで、県全体として功績を称える雰囲気醸成した。また、県民に対し、文化に触れる機会を提供した。	観覧者1,288人	2019年11月3日	県民ホール本館	受賞者 神奈川文化賞4人、未来賞2人	
<b>舞台技術者等の文化芸術を支える者の研修等による育成支援</b>							
神奈川芸術劇場における人材育成事業	舞台技術専門スタッフを対象にした実践的な講座を行うとともに、劇場運営や舞台技術に関心のある学生等をインターンとして受け入れ、業務体験等を実施した。	「人をつくる」創造型劇場として、若手演出家、舞台技術専門スタッフ、大学生など、劇場での舞台芸術に関わる多様なジャンルの人材を育成に寄与した。	241人	通年 8企画10回	神奈川芸術劇場	—	重点施策2
劇場体験インターン事業の実施	公演制作インターンを実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	3人	2019年9月11日～10月20日、2020年1月12日～18日	県民ホール等		重点施策2
劇場運営マネージメント プロフェッショナル人材養成講座	文化施設の利用窓口担当者を対象とする講座。ユニバーサルデザインやバリアフリーに関する講座と、業務のスキルアップを図る講座の二つのシリーズから成る。	概念を学ぶ場ではなく、翌日から現場で使える知識を得る内容とする。	27人	2019年11月8日、2020年2月4日	県民ホール本館等	県民ホールのサイト「神奈川県民ホールの取り組み」において、H28年度から継続して講座内容を紹介	重点施策2
<b>新進芸術家等の育成支援の検討</b>							
プロフェッショナルアーティスト養成事業の実施	県民ホール本館で実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	56人	通年 8回	県民ホール本館等	—	重点施策2
(再)第35回かながわ音楽コンクール	神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、育成を図る目的でコンクールを実施した。	入賞者を対象としたクリスタルコンサート、上位入賞者によるトップコンサートを実施し、上位入賞者はオーケストラと共演した。	参加者数：937人 鑑賞者数：延べ2,800人 (クリスタルコンサート及びトップコンサートの鑑賞者数：1,040人)	クリスタルコンサート：2019年8月23日 トップコンサート：2020年10月13日	クリスタルコンサート：横浜みなとみらいホール 小ホール トップコンサート：音楽堂	—	重点施策2
<b>イ 創作のための環境の整備</b>							
<b>県立文化施設の練習・稽古等での活用</b>							
(再)マダカシアター等	若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」を公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	多くの文化芸術団体等の公演の場を広げるため、公演枠数を20枠から36枠に増加した。	6,509人	2019年4月18日～2020年3月15日	青少年センター スタジオHIKARI	スタジオを小劇場仕様としたことから、出演団体の種別や東京所在の団体が増えるなど、すそ野が広がっている。	重点施策2
<b>新進芸術家の創作環境支援の検討</b>							
アーティスト・イン・レジデンス推進事業	アートによる国際交流・地域間交流を目的に地域のアート団体と連携して「アーティスト・イン・レジデンス推進事業」を展開した。	2018年度募集では、スケジュール上、4月～5月までのイベントを採択することができなかったため、今年度は募集期間を前倒しした。	2,049人	2019年5月～10月3事業を実施	藤沢市（旧稲元屋、関次商店、旧石曾根商店、有田家、交流館他）、若葉町ウォーフ、高架下スタジオSite-A、ギャラリー	—	重点施策2



IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>ウ 創造的活動の成果を発表する機会の確保</b>							
<b>県美術展の開催</b>							
(再)第55回神奈川県美術展	全国公募による美術展を実施し、作品発表の機会を提供し創作活動の支援を図った。	応募要項・展覧会チラシのデザインを一新し、広報の強化に努めた。	応募点数：1,085点 応募人数：728人 入選者数：345人 入賞者数：40人 入場者数：4,448人	応募作品搬入：2019年7月6日～7日 展覧会：2019年8月25日～9月19日（うち2日休・開催24日間）	県民ホール本館 ギャラリー	—	重点施策 2
<b>文化芸術団体との連携による新進芸術家を起用した演奏会等の開催</b>							
(再)フレッシュ・コンサート	次世代を担うと期待される神奈川県ゆかりの才能ある若手奏者を広く県民に紹介し、オーケストラとの共演を通じてその才能の一層の育成を図った。	クラシックの演奏者だけでなく、和楽器の演奏者やオペラ歌手なども紹介した。	722人	2020年1月9日	横浜みなとみらいホール	—	重点施策 2
<b>県立文化施設主催事業における新進芸術家の積極的登用</b>							
(再)プロフェッショナルアーティスト養成事業の実施	県民ホール本館で実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	56人	通年 8回	県民ホール本館等	—	重点施策 2
<b>新進芸術家の発表機会支援の検討</b>							
(再)マグカル開放区	歩行者天国となった県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス等のジャンルを問わず自由に発表できる場を提供することにより、日本大通りの活性化を図るとともに、県民の文化芸術活動を後押しした。	他市の公道で実施する出張開放区や企画開放区の実施など随時工夫を凝らした展開を行った。	約5,000人/1日	近隣にてイベントが開催されない日曜日	県庁前日本大通りほか	—	重点施策 2
<b>(4) 文化芸術団体の育成等</b>							
<b>文化芸術団体への助成等による支援</b>							
(再)神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	平成30年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」、「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行った。	要望団体数：52件 助成団体数：38件 助成金交付額：8,550千円	—	—	—	—
マグカル推進事業補助金	神奈川県文化プログラムの核となる事業を実施する団体から企画案を公募し、補助金を交付した。	創設2年目に当たり、より丁寧な広報を行った。	要望団体数：30件 助成団体数：9件 助成金交付額：17,604千円	—	—	—	—
<b>文化芸術団体の活動に対する後援</b>							
文化芸術団体の活動に対する後援	文化芸術団体等が主催する、県内で実施する事業について、県の文化芸術の振興に寄与すると認められるものに、神奈川県の後援名義の使用を承認した。	—	後援名義の使用承認実績：153件	—	—	—	—
神奈川県文化プログラム認証制度	県内で実施する事業・活動について、一定の要件を満たすものを神奈川県文化プログラムとして認証した。	県内市町村や文化芸術活動団体、文化施設等に積極的に周知を行い、より多くの事業を認証することができた。	神奈川県文化プログラム認証制度：認証件数497件	—	—	—	—
<b>県実施事業等における文化芸術団体との連携・協働の推進</b>							
(再)マグカル・パフォーミング・アカデミー	マグカルの核となるような、専門的な舞台芸術人材を育成するため、実践的な歌・ダンス・演技のレッスンを行った。	常任の講師に加え、特別講師4名を迎えレッスンを行った。	在籍者数：48人 鑑賞者数：1,095人	練習日：週2日 計87日（原則、火曜日と木曜日） 成果発表会：2019年4月7日（2公演） 本公演：2019年8月15日～18日（6公演）	青少年センター	—	重点施策 5

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
共生共創事業	障がい者や高齢者等が出演する公演事業等を実施した。	障がい者や高齢者等が出演する公演事業のほか、シアター劇団の創設やシニアダンス企画、多文化共生に関する企画の実施など、参加型事業も実施した。	6,947人	2019年5月～2020年3月	県民共済みらいホール ほか	公演回数 33回	重点施策 5
(再)相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	—	1,013人	2019年5月21日、10月1日、12月7日、2020年1月30日	①座間、南足柄、平塚、海老名の4会場	—	重点施策 5
(再)歌舞伎鑑賞教室	県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	実際に公演で使われる歌舞伎の小道具をホワイエで展示し、自由に体験できるコーナーを設けた。	1,533人	2019年7月26日、27日（4回）	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、4公演を通過して「大変良かった」「良かった」を合わせると96.6%にのぼった。	重点施策 5
(再)日本舞踊に学ぶ「和」の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	参加料を無料にすることによって参加しやすくし、応募者数を増やす努力を行った。	85人	2019年7月26日、27日、8月3日、4日、8月10日、11日、8月13日、14日	横須賀、平塚、南足柄、横浜の4会場	アンケートの結果、97.5%の参加者が内容に「満足」と回答した。	重点施策 5
(再)能楽ワークショップ	謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを実施した。	小・中学生だけでなく、保護者を含めた家族全員で伝統的な芸能を共有できるように、イベント運営に努めた。	6人	2020年2月15日	小田原市民会館	—	重点施策 5
浮世絵カフェ	エンターテインメントレストランを開設し、「和」をテーマとしたデジタル映像の映写と浮世絵を活用したパフォーマンスを行うショーを開催した。	外国人を含めた観光客等の誘客のため、海外でも活躍するパフォーマンス集団白Aにより、プロジェクトチームマッピング、ダンス等が融合したナンバーバルパフォーマンスを実施した。	1,601人 (うち内覧会253人)	2019年8月8日～2020年2月	英一番館(県民ホール本館内)	世界最大規模の旅行情報に関するウェブサイト「トリップアドバイザー」において、横浜市のナイトライブ部門で145軒中、口コミ1位を獲得した。	重点施策 5
(再)青少年のための芝居塾	県内の地域・歴史等を取り入れた演劇・ミュージカルを創作し、公募した青少年により上演した。	数年おきに担当劇団を替えるなど、一般の青少年が参加しやすいように考慮している。	514人	2019年8月23日～28日	青少年センタースタジオHIKARI	演劇経験のない子が参加したり、何年か連続して参加する塾生がいるなど、芝居塾に参加することの魅力が広がっている。	重点施策 5
(再)人形浄瑠璃文楽	県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	青少年の参加者増を狙って、文楽・人形浄瑠璃クラブがある学校等の生徒を招待した。	925人	2019年10月13日（2回）	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、「大変良かった」「良かった」と回答した方が、県が98.9%、夜が100%と、全体で99.5%を占めており大変好評であった。	重点施策 5
(再)青少年対象演劇鑑賞会／おどる童話「AZUKI」	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、情懷豊で健全な青少年の育成を図ることを目的に、演劇やダンスの鑑賞会を実施した。	青少年の共感を得やすい30代以下の若手演出家の作品や、青少年に特に人気の高いダンスの要素を取り入れた作品を取り上げた。	446人	2019年10月17日～20日（5回）	青少年センタースタジオHIKARI	アンケート結果で「大変良かった」、「良かった」が合わせて100%であった。	重点施策 5
(再)カナガワリ・古典in秦野	秦野市を舞台に、県内の古典や各地の貴重な伝統文化の魅力・価値を再発見し、継承への機運醸成を目指し、民俗芸能フェスティバル事業を開催した。	県にゆかりのある伝統芸能をデジタル映像と組み合わせることで、今まで馴染みのなかった方にも、現代を生きる文化芸術として「再(Reリ)」発信することができた。	1,318人	2019年10月20日	クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)	当該事業、周辺イベント、ともに地域と連携して実施したことで、地域のにぎわい創出に寄与した。	重点施策 5
(再)神奈川伝統・映像アートウォーク2019	県庁本庁舎を丸ごと利用し、県にゆかりのある伝統芸能から、最先端のメディアアートなどの現代芸術まで様々な文化を一度に体験できる屋内イベントを実施した。	庁舎公開日及びラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> (RWC)の準決勝日に実施したことで、誘客に効果的であった。	2,519人	2019年10月26日、27日	県庁本庁舎	【ワークショップ等の参加者数：計210人】 ・能楽ワークショップ：40人 ・日本舞踊ワークショップ：44人 ・生け花ワークショップ：23人 ・寄木細工のコースター製作などの体験ワークショップ：53人 ・相模人形芝居下中座による人形ワークショップ：50人	重点施策 5

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
浮世絵アートウィーク2019	県庁前日本大通りにて日本伝統文化×デジタル技術を融合させたナイトアートイベントを実施した。	ラグビーワールドカップ2019 <sup>™</sup> （RWC）の準決勝及び決勝の日を含む期間に開催し、誘客に効果的であった。	13,221人	2019年10月26日～11月3日	県庁前日本大通り	浮世絵の中に入る体験のできる「北斎VR」が大変好評で、1,076人の方に体験していただくことができた。また全体の来場者のうち3割程度は外国人だった。	重点施策5
(再)かながわこども民俗芸能フェスティバル〜れとろびと2019〜	地域で継承されている民俗芸能を県民に紹介することで、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への機運を醸成するとともに、後継者育成を支援するためのイベントを開催した。	県内で伝承されている2種類の人形芝居の継承活動に着目し、ホールでの公演機会を提供することで、地域の伝統芸能の継承に取り組む子ども・青少年を支援した。	396人	2019年11月4日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、97.9%の方から「大変良かった」「良かった」と回答があり、観覧者の高い満足度に繋げることができた。	重点施策5
(再)青少年対象演劇鑑賞会／ダンス体鑑!	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、情操豊かで健全な青少年の育成を図ることを目的に、演劇やダンスの鑑賞会を実施した。	青少年の共感を得やすい30代以下の若手演出家の作品や、青少年に特に人気の高いダンスの要素を取り入れた作品を取り上げた。	176人	2020年1月11日、12日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果で「大変良かった」、「良かった」が合わせて100%であった。	重点施策5
(再)寄宿生活塾はじめ塾×東京デスロック『Anti Human Education II 〜TEENS Edit.〜』	青少年を取り巻く不登校等の心の課題に対し舞台芸術の力が解決の糸口の1つとなる可能性を提示することを目的とした公演を実施した。	—	出演者19人 ※公演は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	成果発表会：2020年2月28日（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公演は中止とし、関係者向けに成果発表会を実施）	青少年センタースタジオHIKARI	一般財団法人地域創造が全国の自治体と公立文化施設向けに発行する月刊誌「地域創造レター」に先進事例として紹介された。	重点施策5
(再)かながわ短編演劇アワード2020	短編演劇及び短編戯曲の全国公募によるコンペティションを開催した。	短編戯曲において、作品テーマをSDGsとした。また、最終選考に残った戯曲をweb公開することで、より多くの方に作品に触れてもらう機会を設けた。	【応募数】 短編演劇：65団体 短編戯曲：59作品 【来場者数】 本戦：新型コロナウィルス感染症対策の為無観客（ライブ配信）で開催 22席飛翔梓選抜大会（県内高校生梓選抜大会）：272人	本戦：2020年3月21日～22日 22席飛翔梓選抜大会（県内高校生梓選抜大会）：2020年1月12日	本戦：神奈川芸術劇場 22席飛翔梓選抜大会（県内高校生梓選抜大会）：県立神奈川総合高等学校	—	重点施策5
(再)相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の5座が一堂に会し、合同公演を行う。	公演の合間に人形に触れる体験ができる時間を設け、伝統芸能をより身近に感じてもらえる工夫を行った。	691人	2020年2月11日	青少年センター紅葉坂ホール	—	重点施策5
文化芸術団体相互の連携の推進							
(再)かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟団体が一堂に会し、県外の団体も参加して創作太鼓演奏を披露した。	ジュニアコンクール神奈川県優勝1団体等若い世代も参加した。	620人	2019年11月10日	青少年センター紅葉坂ホール	—	重点施策5
(再)かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内6市町の伝統芸能を紹介した。	376人	2019年12月1日	はまぎんホール ヴィアマーレ	—	重点施策5
(再)かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供した。	近年の出演者、観覧者の申込状況や出演者からの意見を踏まえ、事業の実施内容について検討した。	212人	2020年2月22日、23日	青少年センタースタジオHIKARI	—	重点施策5
(5) 子どもの文化芸術活動の充実							
ア 文化芸術の鑑賞機会の提供							
学校等と連携したアウトリーチの展開							
(再)音楽堂における芸術文化鑑賞普及事業	ワークショップ、アウトリーチなどを実施した。	—	計4,555人	通年 7事業4演目5公演23企画45回	音楽堂ほか	子ども達が多様な音楽の鑑賞や、自ら様々な楽器を触り演奏する機会を設けることができた。	重点施策2
神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校を対象に、学校出張コンサートを実施した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	29校（参加希望校数）	2019年4～7月	県内特別支援学校	—	重点施策2

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
ふれあいコンサート	神奈川県遊技場協同組合とその福祉事業部門を担う神奈川県福祉事業協会が、社会貢献事業として、県内特別支援学校及び横浜・川崎市内個別支援学級の児童等とその保護者を対象に、フルオーケストラの演奏鑑賞機会を無償で提供した。	児童等の親しみやすい楽曲を演奏する等、コンサートの内容を精査した。	1708人 (特別支援学校766人、個別支援学級942人)	2019年5月21日、22日	県民ホール本館	—	重点施策2
三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ！みんなでピカピカ☆編	コンサートのほか、音楽体験企画を実施。その他、アウトリーチで中学校を訪問した。	種々のワークショップ等を通じて、様々な形で音楽に触れられるように工夫した。	1,700人 コンサート：789人 音楽体験企画：410人 アウトリーチ：501人	コンサート：2019年8月17日 音楽体験企画：2019年8月14日～17日 アウトリーチ：2019年5月28日	コンサート及び音楽体験企画：音楽堂 アウトリーチ：大磯町立大磯中学校	—	重点施策2
音楽堂ふれあいアウトリーチ	プロによる即興演奏の鑑賞会やワークショップを実施した。	各学校の状況に合わせて、学校側の希望を取り入れながらミニコンサートを開催した。	137人	2019年7月10日、9月25日	相模原養護学校橋本分教室、みどり養護学校	充分な時間をとって子ども達全員が自ら様々な楽器を触ってみる、演奏する機会も設けることができた。	重点施策2
「子どもたちの音楽芸術体験事業」神奈川フィル・ゆめコンサート	神奈川フィルによる実演指導やオーケストラとの共演を通じ、本物の芸術に触れる機会を提供することにより、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を育むことを目的として実施した。	事前にワークショップを行い、オーケストラと共演するための楽器指導を実施した。	973人	2020年1月28日～30日	藤沢市立大道小学校、厚木市立相川小学校、横須賀市立荻野小学校	—	重点施策2
県立文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施							
KAA Tキッズ・プログラム2019	「キッズ・サマー・パーティー2019 in KAA T高原キャンプ場」など、子ども向けの演劇、ミュージカルなどを神奈川芸術劇場(KAA T)のほか、他県の劇場等で上演した。	親子チケットや子ども料金の設定など、手ごろな価格で観覧しやすいよう工夫した。	3,981人	ゴールデンウィーク期間や夏休み期間32公演	神奈川芸術劇場、高知市文化プラザかるぼーとほか	—	重点施策2
オープンシアター2019 音楽堂で音・体験の建築・探検！	館全体を使って、コンサート、建築講座、ワークショップ、建築ツアー、展示など多彩な取組みを実施した。	リニューアルオープンとして実施。入場無料、出入り自由とした。	745人	2019年6月1日	音楽堂	建築ラリーでは例年どおり横浜国立大学建築科の協力、建築ツアーでは本年度から開始したボランティアグループbridgeの協力を得て開催。ホワイエでのフラッシュモブ、ステージでのコンサートではNPO法人あっちこっちの協力を得て開催するなど地元セクターとの協働を活用した。	重点施策2
オープンシアター2019 東京バレエ団 はじめての『白鳥の湖』	子供向けバレエを上演した。	親子チケットや子ども料金の設定など、手ごろな価格で観覧しやすいよう工夫した。	2,380人	2019年6月2日（2回）	県民ホール本館	バリアフリー推進の観点から、手話ワークショップや外国語対応案内係の配置などを行った。	重点施策2
(再)青少年芸術劇場	青少年の舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むことを目的に、青少年向けの鑑賞会を実施した。	年少者向けの作品上演に実績のあるNPO法人と共同し、質の高い上演作品を選定することができた。また、子どもたちが演劇鑑賞に興味を持つよう、開演前にワークショップを実施した。	999人	2019年7月13日、14日	青少年センター紅葉坂ホール	—	重点施策2
県立歴史博物館における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	特別展関連の子ども向け催し物や通年実施の子ども向け常設展ワークシートと1本の体験教室、近隣6館と共同企画した夏休みクイズラリーを実施した。	各催し物のチラシを作成し、近隣の学校等に配布したり、通常より早めの広報や募集開始を心掛けるなど、参加者増加につながるよう広報を工夫した。	特別展関連：885人 常設展関連、体験教室ワークシート：701人 体験教室：14人 夏休みクイズラリー：1,616人	夏休みクイズラリー2019年7月20日～8月30日 他	県立歴史博物館	—	重点施策2
(再)歌舞伎鑑賞教室	県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	実際に公演で使われる歌舞伎の小道具をホワイエで展示し、自由に体験できるコーナーを設けた。	1,533人	2019年7月26日、27日（4回）	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、4公演を連算して「大変良かった」「良かった」を合わせると96.6%にのぼった。	重点施策2



IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
県立金沢文庫における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	小学校高学年を対象に、称名寺と県立金沢文庫についての学習事業を実施した。	—	参加者数：10人	2019年8月3日	県立金沢文庫	—	重点施策2
県立近代美術館における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	「柚木沙弥郎の『鳥獣戯画』」展に関わる子ども向けワークショップを実施した。また、県立こども医療センターでの造形ワークショップや、近隣の小中学校における出張授業も実施した。	参加者の年齢に応じて、ワークショップや授業の内容や教材を工夫した。	展覧会関連ワークショップ：1,217人 県立こども医療センターでのワークショップ：19人 出張授業：4校、601人	展覧会関連ワークショップ：2019年8月4日他 29回 こども医療センターでのワークショップ：2019年8月27日 出張授業：2019年5月28日他	展覧会関連ワークショップ：県立近代美術館山館 こども医療センターでのワークショップ：県立こども医療センター 出張授業：逗子市立久木中学校等	—	重点施策2
(再)青少年ダンス鑑賞会	青少年の舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むことを目的に、青少年向けの鑑賞会を実施した。	ソロでの映像を使った公演と6人でお芝居も取り入れたダンスの公演企画した。	247人	2019年8月8日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートで講師の演技のレベルの高さに感嘆する声が多く、集計結果は、「とても良かった」「良かった」が92.7%であった。	重点施策2
(再)青少年対象演劇鑑賞会／おどる童話「AZUKI」	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、情操豊で健全な青少年の育成を図ることを目的に、演劇やダンスの鑑賞会を実施した。	青少年の共感を得やすい30代以下の若手演出家の作品や、青少年に特に人気の高いダンスの要素を取り入れた作品を取り上げた。	446人	2019年10月17日～20日（5回）	青少年センタースタジオHIKARI	アンケート結果で「大変良かった」、「良かった」が合わせて100%であった。	重点施策2
(再)青少年対象演劇鑑賞会／ダンス体鑑！	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、情操豊で健全な青少年の育成を図ることを目的に、演劇やダンスの鑑賞会を実施した。	青少年の共感を得やすい30代以下の若手演出家の作品や、青少年に特に人気の高いダンスの要素を取り入れた作品を取り上げた。	176人	2020年1月11日、12日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果で「大変良かった」、「良かった」が合わせて100%であった。	重点施策2
(再)かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供した。	近年の出演者、観覧者の申込状況や出演者からの意見を踏まえ、事業の実施内容について検討した。	212人	2020年2月22日、23日	青少年センタースタジオHIKARI	—	重点施策2
文化芸術団体との連携による子どもたちを対象とした音楽体験事業等の実施							
(再)巡回オペラの実施	県民ホールの出張公演として、県内の他施設で子ども向けオペラを実施した。	「みんなでのしむオペラ」をテーマとし、親子で楽しめるコンテンツとすることや、また地域のホールで上演しやすい舞台装置とする等の工夫を行った。	1,165人	2019年8月4日、8月10日	①南足柄市文化会館 ②秦野市文化会館	—	重点施策2
かなフィルランド～ミュージックプレイパーク&ファミリー縁日～	(公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団によるコンサートや楽器体験、地元ボランティアによるバルーンアート、親子工作等のイベントを実施した。	ホールを出入り自由にするなどで、気兼ねなく様々なイベントに参加し、音楽や芸術に親しんでもらうことができた。	900人	2019年8月12日	かながわアートホール	—	重点施策2
神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ共催公開リハーサル	「子どものための公開リハーサル」として共催公演の神奈川フィルハーモニー管弦楽団のリハーサルを公開した。	高校生以下の子どもと保護者を対象に無料で実施。	92人	2019年10月26日、2020年2月22日	音楽堂	—	重点施策2
神奈川フィル・ジュニアオーケストラ2019	小学4年生～高校3年生の子どもたちがアートホールに集い、神奈川フィル団員の指導を経て神奈川フィルと共演した。	受講生が楽器ごとに分かれて行うパート練習や弦楽器、管楽器それぞれの合奏練習を行った。	受講生：45人 ケネプロ入場者：100人 修了公演入場者：208人	開講式：2019年11月10日 練習：2019年12月1日、15日、26日、27日、2020年1月4日 修了公演：2020年1月5日	かながわアートホール	—	重点施策2

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>県立近代文学館での児童文学を題材とした展覧会等の実施</b>							
企画展「『わたしのワンピース』50周年 西巻 茅子展—子どもとともに」	累計170万部を超えるロングセラー『わたしのワンピース』をはじめ、『ちいさな きいろい かさ』『えのすきなねこさん』など多くの作品を描いた絵本作家・西巻茅子（1939-）の企画展。絵本作品の原画をはじめ、自筆資料、愛用品などを展覧した。	『わたしのワンピース』は、子どもたちに絶大な人気を誇る絵本なので、県内の小学校、図書館への広報に力を入れるとともに、子どもが楽しめるよう、エンタランスに工作や記念撮影コーナーを設けた。	13,421人	2019年7月20日～9月23日	神奈川近代文学館	開催直後に刊行された新作『いいでをしたてるてるぼうず』の原画を急遽展示し、記念の年にふさわしい展示となった。関連グッズの売り上げも好調で、展覧会会期限定販売のオリジナル缶バッジが7,666個売れるなど好評だった。	
朗読コンサート「『わたしのワンピース』ほか」	神奈川近代文学館のホール等の会場を利用して、企画展「『わたしのワンピース』50周年 西巻茅子展」に即した内容の朗読コンサートを開催した。	親子で楽しめるように、絵本の投影を行い、演目、演出にも工夫を凝らした。	205人	2019年9月21日	神奈川近代文学館	朗読コンサート後、多くの参加者に展覧会場にも入場していただくことができた。	
ギャラリートーク「『わたしのワンピース』50周年 西巻茅子展」	企画展「『わたしのワンピース』50周年 西巻茅子展」に即した内容の展示説明会を実施した。	子どもだけでなく、多数存在する大人の絵本愛好家へ向けて、『わたしのワンピース』が持つ絵本の歴史上の意義に焦点をあてた解説をした。	78人	企画展「『わたしのワンピース』50周年 西巻茅子展」会期中の金曜日に計4回。	神奈川近代文学館	観覧者が、展示担当者へ直接質問する場ともなった。	
<b>イ 文化芸術活動の体験機会の充実</b>							
<b>子どもを対象とした公募美術展開催等の創作活動の支援</b>							
第55回神奈川県美術展中高生特別企画展	青少年の作品発表の機会の提供、創作活動の支援及び県美術展の活性化を図るため、公募美術展を開催した。	前年度に大口の応募があった学校に個別に連絡し、広報活動を強化した。	応募点数：441点 応募人数：314名 入選者数：85人 入賞者数：18人	応募作品搬入：2019年7月6日～7日 展覧会：2019年8月25日～9月19日（うち2日休・開催24日間）	県民ホール本館 ギャラリー	—	重点施策2
<b>文化芸術団体との連携・協働による子どもたちの文化芸術活動の推進</b>							
(再)マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー	マグカルの核となるような、専門的な舞台芸術人材を育成するため、実践的な歌・ダンス・演技のレッスンを行った。	常任の講師に加え、特別講師4名を迎えレッスンを行った。	在籍者数：48人 鑑賞者数：1,095人	練習日：週2日 計87日（原則、火曜日と木曜日） 成果発表会：2019年4月7日（2公演） 本公演：2019年8月15日～18日（6公演）	青少年センター	—	重点施策2
県民ホール本館におけるワークショップの実施	ロビーでの手話ワークショップ、ギャラリーでの絵はがき作りワークショップを実施した。	オープンシアターのイベントとして実施。鑑賞の間の体験やワークショップだけでも参加できるようにしている。	62人	2019年6月2日	県民ホール本館	地域の書店と協同し、ビブリアオパトルも実施した。	重点施策2
(再)青少年のための芝居塾	県内の地域・歴史等を取り入れた演劇・ミュージカルを創作し、公募した青少年により上演した。	数年おきに担当劇団を替えるなど、一般の青少年が参加しやすいように考慮している。	514人	2019年8月23日～28日	青少年センタースタジオHIKARI	演劇経験のない子が参加したり、何年か連続して参加する塾生がいるなど、芝居塾に参加することの魅力が広がっている。	重点施策2
<b>青少年センター、藤野芸術の家での文化芸術を体験する機会の提供</b>							
藤野芸術の家での文化芸術を体験する機会の提供	【体験事業】 多くの方が気軽に陶芸やガラス工芸などの芸術体験を親しむための常設事業、募集型の体験事業や季節限定体験事業を実施した。  【活動支援事業】 地域と連携して、絵画や写真等の展示、芸術活動発表の場を提供、また、地元講師を迎えた工芸講座を実施した。	【体験事業】 体験事業では、季節に合った期間限定メニューのほか、新たな体験メニューを実施するなど、何回でも楽しめる工夫を行った。  【活動支援事業】 活動支援事業では、工芸講座など宿泊とのセットプランを設けて、じっくり芸術活動に親しむことのできる環境を提供し、好評を得た。	【体験事業】 木工体験 9,725人 陶芸体験 4,974人 ガラス工芸等 12,068人  【活動支援事業】 絵画等展示 1,347人 万華鏡教室 34人 藤野村歌舞伎公演 314人 藤野席書き大会 41人	【体験事業】 通年  【活動支援事業】 絵画等展示：通年 万華鏡教室：2019年7月10日、11日 ほか	藤野芸術の家	体験活動事業において、夏休みに自由研究に適した教室を実施した。 ・びわの葉染めのTシャツ作り ・手すき和紙のメッセージカード作り ・ガリレオ温度計作り	重点施策2
(再)青少年芸術劇場	青少年の舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むことを目的に、青少年向けの鑑賞会を実施した。	年少者向けの作品上演に実績のあるNPO法人と共同し、質の高い上演作品を選定することができた。また、子どもたちが演劇鑑賞に興味を持つよう、開演前にワークショップを実施した。	999人	2019年7月13日、14日	青少年センター紅葉坂ホール	—	重点施策2

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)青少年ダンス鑑賞会	青少年の舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むことを目的に、青少年向けの鑑賞会を実施した。	ソロでの映像を使った公演と6人でお芝居も取り入れたダンスの公演企画した。	247人	2019年8月8日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートで講師の演技のレベルの高さに感嘆する声が多く、集計結果は、「とても良かった」「良かった」が92.7%であった。	重点施策2
(再)青少年対象演劇鑑賞会/おどる童話「AZUKI」	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、情操豊かで健全な青少年の育成を図ることを目的に、演劇やダンスの鑑賞会を実施した。	青少年の共感を得やすい30代以下の若手演出家の作品や、青少年に特に人気の高いダンスの要素を取り入れた作品を取り上げた。	446人	2019年10月17日～20日（5回）	青少年センタースタジオHIKARI	アンケート結果で「大変良かった」、「良かった」が合わせて100%であった。	重点施策2
(再)青少年対象演劇鑑賞会/ダンス体鑑賞!	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、情操豊かで健全な青少年の育成を図ることを目的に、演劇やダンスの鑑賞会を実施した。	青少年の共感を得やすい30代以下の若手演出家の作品や、青少年に特に人気の高いダンスの要素を取り入れた作品を取り上げた。	176人	2020年1月11日、12日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果で「大変良かった」、「良かった」が合わせて100%であった。	重点施策2
伝統芸能ワークショップの実施							
(再)相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演を行うワークショップを行った。	—	1,013人	2019年5月21日、10月1日、12月7日、2020年1月30日	①座間、南足柄、平塚、海老名の4会場	—	重点施策2
(再)日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	参加料を無料にすることによって参加しやすくし、応募者数を増やす努力を行った。	85人	2019年7月26日、27日、8月3日、4日、8月10日、11日、8月13日、14日	横須賀、平塚、南足柄、横浜の4会場	アンケートの結果、97.5%の参加者が内容に「満足」と回答した。	重点施策2
(再)能楽ワークショップ	謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを実施した。	小・中学生だけでなく、保護者を含めた家族全員で伝統的な芸能を共有できるように、イベント運営に努めた。	6人	2020年2月15日	小田原市民会館	—	重点施策2
県立近代文学館での子どもたちが読書に親しむための事業の実施							
(再)かなぶんキッズクラブ（紙芝居、映画会、絵本の読み聞かせ等）	夏休みと春休みの子どもの長期休み期間に合わせて「かなぶんキッズクラブ」として紙芝居、映画会、絵本の読み聞かせなどを実施した。	特に夏休み期間のイベントは、企画展のテーマに合わせた内容でも開催した。	404人	紙芝居がはじまるよ!：2019年8月8日 子ども映画会：2019年8月21日、8月22日 絵本であそぼ!：2019年8月24日	神奈川近代文学館	県内で長い活動歴があるよこはま文庫の会、横浜紙芝居普及会との連携を深めることができた。	重点施策2
子どもを対象とした民俗芸能フェスティバルの開催							
(再)かながわこども民俗芸能フェスティバル〜れとろびと2019〜	地域で継承されている民俗芸能を県民に紹介することで、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への機運を醸成するとともに、後継者育成を支援するためのイベントを開催した。	県内で伝承されている2種類の人形芝居の継承活動に着目し、ホールでの公演機会を提供することで、地域の伝統芸能の継承に取り組む子ども・青少年を支援した。	396人	2019年11月4日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、97.9%の方から「大変良かった」「良かった」と回答があり、観覧者の高い満足度に繋げることができた。	重点施策2
(6) 学校教育における文化芸術活動の充実							
文化芸術団体との連携による音楽体験事業等の実施							
神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校を対象に、学校出張コンサートを実施した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	29校（参加希望校数）	2019年4～7月	県内特別支援学校	—	重点施策2
横浜市芸術文化教育プラットフォームコンサートの実施	お箏のワークショップやコンサートの実施	各学校の状況に合わせて、学校側の希望を取り入れながらミニコンサートを開催した。	222人 ①146人 ②76人	①2019年10月17～19日 ②2020年1月16日	①横浜市立矢向小学校 ②横浜市立都田小学校	授業時間を使ってグループで楽器を演奏する課題にも取り組み、子どもたち全員の演奏参加体験も提供できた。	重点施策2
(再)「子どもたちの音楽芸術体験事業」神奈川フィル・ゆめコンサート	神奈川フィルによる実演指導やオーケストラとの共演を通じて、本物の芸術に触れる機会を提供することにより、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を育むことを目的として実施した。	事前にワークショップを行い、オーケストラと共演するための楽器指導を実施した。	973人	2020年1月28日～30日	藤沢市立大道小学校、厚木市立相川小学校、横須賀市立荻野小学校	—	重点施策2

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>かながわ伝統芸能祭などの伝統芸能普及振興事業の実施</b>							
(再)相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	—	1,013人	2019年5月21日、10月1日、12月7日、2020年1月30日	①座間、南足柄、平塚、海老名の4会場	—	重点施策2
(再)日本舞踊に学ぶ「和」の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	参加料を無料にすることによって参加しやすくし、応募者数を増やす努力を行った。	85人	2019年7月26日、27日、8月3日、4日、8月10日、11日、8月13日、14日	横須賀、平塚、南足柄、横浜の4会場	アンケートの結果、97.5%の参加者が内容に「満足」と回答した。	重点施策2
(再)かながわこども民俗芸能フェスティバル〜れとろび〜と2019〜	地域で継承されている民俗芸能を県民に紹介することで、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への機運を醸成するとともに、後継者育成を支援するためのイベントを開催した。	県内で伝承されている2種類の人形芝居の継承活動に着目し、ホールでの公演機会を提供することで、地域の伝統芸能の継承に取り組む子ども・青少年を支援した。	396人	2019年11月4日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、97.9%の方から「大変良かった」「良かった」と回答があり、観覧者の高い満足度に繋げることができた。	重点施策2
(再)かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内6市町の伝統芸能を紹介した。	376人	2019年12月1日	はまぎんホール ヴィアマーレ	—	重点施策2
<b>文化芸術による子供の育成事業(文化庁事業)の県内での展開</b>							
文化芸術による子供育成総合事業	子供たちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、ワークショップ等を実施することにより、子供たちの豊かな想像力やコミュニケーション能力等を養い、文化芸術に対する知識および教養の向上を図った。	一方的に公演を行うだけでなく、児童・生徒と共演したり、実技指導をするなど、児童・生徒が芸術体験できるように工夫している。	巡回公演事業：32校実施 派遣事業：48校48件実施 子供 夢・アート・アカデミー：2校実施	2019年6月～12月	各学校の教室・体育館など	—	重点施策2
<b>中学・高校文化部活動の充実・支援の実施</b>							
中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施した。	—	1,345人	2019年8月2日、3日	青少年センター紅葉坂ホール	日程2日目に、朗読ボランティアによる被爆体験記朗読会を実施した。	
(再)中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	講師やプログラムの検討においては、中学生及び中高各専門部会のニーズや時代からの要請を踏まえ、見直しを行っている。	中学生及び教員1,254人 高校生及び教員629人	中学：2019年8月3日、4日 高校：2019年7月30日、31日	青少年センター	講習内容は「部活での活用ができる」など評価も高く、アンケートでも、「大変良かった」「良かった」が合わせて95%以上であるなど、高い満足度を得ている。	
(再)青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	講師やプログラムの検討においては、ダンス専門部のニーズや時代からの要請を踏まえ、見直しを行っている。	478人	2019年8月7日、8日	青少年センター	講習内容アンケートで、「大変良かった」「良かった」が平均で93.3%であり、高い満足度を得ている。	
文化フェスタの開催	中学校、高等学校等における文化・芸術活動の活性化及び充実を図るため、県内の中学校、高等学校が発表、展示、実演を通じて相互交流を実施した。	—	高校 324人 中学 121人 合計 445人	2019年8月20日	青少年センター	—	
(再)学校演劇交流フェスティバル	学校演劇における創作のスキルアップを目的にした試演とワークショップを実施した。	演劇シーンの第一線で活躍する劇作家、演出家等を講師に活用した。	中学生、高校生、一般253人	2019年9月22日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートによると、「とても良い」「良い」が90.3%と高く評価されている。	
文化部活動指導者研修講座の実施	文化部の部活動インストラクターを対象とした研修講座を実施した。	講座を受講し、1年以上の指導実績があり、校長が認めれば、部活動の校外の活動について単独引率を可能としている。	文化部部活動インストラクター11人	2019年9月28日	総合教育センター善行庁舎	—	



IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施した。	夏の講習会で受けた刺激を日頃の活動に活かした。	1,873人	2019年11月3日	青少年センター紅葉坂ホール	—	
全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル	ストリートダンスを通じて、健全な青少年の育成を図り、「日本大通り」をストリートダンスの聖地として発信するために、第5回大会を実施した。	県外からの参加校を増やすべく、訪問によるプロモーションや通信手段を活用した広報を積極的に行った。	15,000人	2019年11月10日	県庁前日本大通り	—	
(再)演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」	中・高等学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。	中高演劇部のニーズや演劇界の情勢などを考慮し講師を選定した。	318人(中学校)82人(高校)	2019年11月～2020年2月（8日間）	県内8会場	—	
(再)演劇指導者のための実践的ワークショップ	中学校・高等学校の演劇部指導者、演劇部等の指導的立場にある生徒等を対象に、音響、照明、舞台のノウハウを学ぶための実践的なワークショップを実施した。	中・高とも発表会（県大会）の会場である紅葉坂ホールの機材、道具を実際に使用し、舞台、照明、音響の基礎的な部分から実践的な内容の講習を行った。	28人	2020年1月13日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、道具の使い方やホールの機器を使用したことに評価があったほか、時間が足りないとの声もあった。	
(再)小・中・高等学校演劇発表会	小・中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施した。	—	小学生1,000人 中学生1,586人 高校生1,541人	小学校：2020年2月15日 中学校：2019年12月7日、8日 高校：2019年11月16日、17日	青少年センター紅葉坂ホール	—	
横浜美術館「中学生・高校生が普段なかなか会うことのできないアーティストや専門家との出会いを通して、美術の魅力を体験することができる横浜美術館主催の長期のプログラムを高校生等に周知した。」	中学生、高校生が普段なかなか会うことのできないアーティストや専門家との出会いを通して、美術の魅力を体験することができる横浜美術館主催の長期のプログラムを高校生等に周知した。	—	参加者20人（うち高校生7人）	2019年6月16日～11月24日（全8回）	横浜美術館	—	
「かながわ部活ドリーム大賞」表彰式の実施	「かながわ部活ドリームプラン21 versionⅢ」に基づき、「神奈川県部の活動の在り方に関する方針」等を参考に、持続可能な部活動の活性化に繋がる取組を積極的に行い、優れた成果を収めたものに対し、神奈川県教育委員会教育長表彰を授与することにより、県内の部活動全体のさらなる活性化を推進した。	—	208人（うち表彰対象者116人）	2020年2月1日	総合教育センター善行庁舎	—	
<b>県中学・高等学校総合文化祭の開催</b>							
県高等学校総合文化祭の開催	県高等学校総合文化祭において、高校生等の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	総合文化祭（開会式・専門部門26部門各会場、閉会式参加生徒数：延べ約19,100人）	2019年11月9日～2020年1月19日	県内各所	—	
<b>県立高校における文化芸術にかかわる科目等の充実及び文化芸術の発展に寄与する人材の育成</b>							
花育を目的とした「生け花」の講座	2019年度は10月15日から2月4日の期間にかけて13回開催し、生徒たちが「生け花」に触れる機会を提供した。	開催校で栽培している花材や季節ごとの花材を活用し、臨機応変に作品に利用した講座もあり、生徒の興味・関心が高まった。また、利用した花材の繁殖などを試みた。	250人	2019年10月～2020年2月 13回実施	相原高校、吉田島高校、中央農業高校、平塚農業高校、三浦初声高校	—	重点施策 2
県立高校における舞台芸術に関する学科の新設に向けた準備	県立高校改革実施計画（Ⅱ期）に基づき、令和3年度から県立神奈川総合高校に舞台芸術科を設置するため、必要な施設・設備を整備する工事を実施するための実施設計や、教育内容等を示した設置計画を作成するなど準備を進めた。	設置計画の作成に当たっては、科目の選択パターンを進路別に示すなど、中学生・保護者にわかりやすいものとなるよう工夫した。	—	—	神奈川総合高校	2020年1月 校舎改修工事実施設計完了 2020年3月 設置計画策定	重点施策 2

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>芸術家等や文化芸術団体と連携した教育の実施</b>							
文化芸術による子供育成総合事業－コミュニケーション能力総合事業－＜学校申請方式＞による芸術家と連携して授業を実施した。	文化庁「文化芸術による子供育成総合事業－コミュニケーション能力総合事業－＜学校申請方式＞」による芸術家と連携して授業を実施した。	—	1校 対象生徒42名 指導芸術家・補助者6名	2019年9月25日～11月27日 (全8回)	麻生総合高等学校	—	重点施策2
学生を対象とした職場見学等の実施	県内の中学生や高校生に県民ホール本館の業務説明や公演の説明、見学等を実施した。	ホールの公演事業の準備の体験や、障害を持つ方の体験を通し、文化施設での業務全体を体験できるようにした。	10人	2019年6月18日、8月30日	県民ホール本館	—	重点施策2
大学等と連携した人材養成プログラムの実施	東京音楽大学と連携して講義や実習等により公演制作に関わる人材育成を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材養成プログラムを実施している	17人	2019年10月26日、2020年1月18日、2月10日	県民ホール本館	—	重点施策2
<b>学校と文化施設との連携の推進</b>							
(再)音楽堂における芸術文化鑑賞普及事業	ワークショップ、アウトリーチなどを実施した。	—	計4,555人	通年 7事業4演目5公演23企画45回	音楽堂ほか	子ども達が多様な音楽の鑑賞や、自ら様々な楽器を触り演奏する機会を設けることができた。	重点施策2
(再)三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ！みんなでピカピカ☆編	コンサートのほか、音楽体験企画を実施。その他、アウトリーチで中学校を訪問した。	種々のワークショップ等を通じて、様々な形で音楽に触れられるように工夫した。	1,700人 コンサート：789人 音楽体験企画：410人 アウトリーチ：501人	コンサート：2019年8月17日 音楽体験企画：2019年8月14日～17日 アウトリーチ：2019年5月28日	コンサート及び音楽体験企画：音楽堂 アウトリーチ：大磯町立大磯中学校	—	重点施策2
(再)音楽堂ふれあいアウトリーチ	プロによる即興演奏の鑑賞会やワークショップを実施した。	各学校の状況に合わせて、学校側の希望を取り入れながらミニコンサートを開催した。	137人	2019年7月10日、9月25日	相模原養護学校橋本分教室、みどり養護学校	十分な時間をとって子ども達全員が自ら様々な楽器を触ってみる、演奏する機会も設けることができた。	重点施策2
第54回音楽堂クリスマス音楽会「メサイア」	神奈川県合唱連盟と連携し、高校生による合唱の参加を継続して実施した。	「メサイア未来プロジェクト」として県内の高校生、およびOB・OGが参加した。	998人 ①940人 ②58人	①2019年12月15日 ②2019年10月～12月計8回	①音楽堂 ②県内高等学校	—	重点施策2
<b>(7) 高齢者、障がい者等の文化芸術活動の充実</b>							
<b>美術展など高齢者を対象とした文化芸術事業の実施</b>							
かながわシニア美術展	県内在住の県内在住で昭和36年4月1日以前生まれ（令和2年3月31日時点で59歳以上の者）のアマチュアを対象に、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の5部門で作品を公募し、入選作品を展示するとともに、優秀作品の表彰を行った。	県内市町村等の窓口にて作品募集案内やチラシを配架したほか、県のたよりやラジオ等の広報媒体を活用し、広く県民に周知を行った。	応募者数：427名 出品者数：405名 入選者数：405名 延べ来場者数：1,993名	2019年8月29日～9月1日（作品展示期間）	県民ホール本館 ギャラリー	前年度の大賞作品を第32回全国健康福祉祭和歌山大会の美術展へ出品し、日本画部門において銀賞を受賞した。	重点施策2、4
<b>県立施設における文化芸術活動の場の提供などによる障がい者の自主的な活動の支援</b>							
ライトセンター普及啓発事業	神奈川県ライトセンターにおいて、視覚障害者同士の交歓活動となる文化クラブの場を提供した。	機関紙「ライトセンターだより」やホームページによる情報提供などで広い周知を行った。	213人	通年 月1回～月3回（クラブ活動により異なる）	神奈川県ライトセンター	啓発活動として、ライトセンターの施設公開や「ライトセンター音楽祭」、移動ライトセンターを実施した	重点施策2、4
神奈川県障害者社会参加推進センター事業（文化・芸術祭の開催）	障がい当事者の文化的活動（絵画、工作、ダンス、合唱等）の発表を行う場を用意し、社会参加の推進を図った。	また、舞台発表と作品展示の会場を同じ部屋にすることでより多くの方に作品を見てもらえるよう工夫した。	209人	2019年12月14日、15日	厚木市保健福祉センター	—	重点施策2、4

IV 施策の実施状況一覧

1 県民の文化芸術活動の充実

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>特別支援学校、障がい者施設、高齢者施設等での県立文化施設や文化芸術団体によるアウトリーチの実施</b>							
(再)神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校を対象に、学校出張コンサートを実施した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	29校（参加希望校数）	2019年4～7月	県内特別支援学校	—	重点施策2、4
(再)音楽堂ふれあいアウトリーチ	プロによる即興演奏の鑑賞会やワークショップを実施した。	各学校の状況に合わせて、学校側の希望を取り入れながらミニコンサートを開催した。	137人	2019年7月10日、9月25日	相模原養護学校橋本分教室、みどり養護学校	十分な時間をとって子ども達全員が自ら様々な楽器を触ってみる、演奏する機会も設けることができた。	重点施策2、4
<b>県立文化施設での託児サービス等の実施</b>							
託児サービス	神奈川芸術劇場に託児ルームを設置し、運用した。	乳幼児を育てる県民に対する、文化芸術の鑑賞機会の提供に寄与するため、主催公演において、託児ルームを設置した。	73人	神奈川芸術劇場主催公演 27回	神奈川芸術劇場	—	
<b>文化芸術を通じた共生社会の実現に向けた取組の検討</b>							
(再)共生共創事業	障がい者や高齢者等が出演する公演事業等を実施した。	障がい者や高齢者等が出演する公演事業のほか、シニア劇団の創設やシニアダンス企画、多文化共生に関する企画の実施など、参加型事業も実施した。	6,947人	2019年5月～2020年3月	県民共済みらいホール ほか	公演回数 33回	重点施策2、4
(再)オープンシアター2019 東京バレエ団 はじめての『白鳥の湖』	子供向けバレエを上演した。	親子チケットや子ども料金の設定など、手ごろな価格で観覧しやすいように工夫した。	2,380人	2019年6月2日（2回）	県民ホール	バリアフリー推進の観点から、手話ワークショップや外国語対応案内係の配置などを行った。	重点施策2、4
音で観るダンスのワークインプログレスfinal	視覚に障害のある人たちが芸術を楽しむために、音により視覚情報を補助する「音声ガイド」を聴きながらダンスを鑑賞する。	—	117人	2019年8月31日	神奈川芸術劇場	3年間、時間をかけて取り組んだ集大成を見せることができた。	重点施策2、4
東京2020 NIPPON フェスティバル「ONE - Our New Episode - in KANAGAWA」	東京2020パラリンピック競技大会にあわせて開催される、東京2020NIPPONフェスティバルの文化プログラムの一つである「共生社会の実現に向けて」を開催した。	県所有の備品（チェーンパテーション）を貸し、客席最前列の左右両端に3～5名ほどが入れる「車いす席」を配置した。	18,232人	2019年10月6日	日本大通り、県庁本庁舎(大会議場)	・義足ダンサーの大前光市氏によるダンスパフォーマンス ・パラスリートの鈴木朋樹選手（車いす陸上）によるパフォーマンス ほか	重点施策2、4
(再)寄宿生活塾 はじめ塾×東京デスロック 『Anti Human Education II ～TEENS Edit.～』	青少年を取り巻く不登校等の心の課題に対し舞台芸術の力が解決の糸口の1つとなる可能性を提示することを目的とした公演を実施した。	—	出演者19人 ※公演は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	成果発表会：2020年2月28日(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公演は中止とし、関係者向けに成果発表会を実施)	青少年センター スタジオHIKARI	一般財団法人地域創造が全国の自治体と公立文化施設向けに発行する月刊誌「地域創造レター」に先進事例として紹介された。	重点施策2、4

IV 施策の実施状況一覧

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>(1) 文化芸術に関する交流の推進</b>							
<b>ア 地域間交流の推進</b>							
<b>他県との文化芸術を介した交流の推進</b>							
(再)神奈川芸術劇場(KAAT)での企画制作事業の実施	神奈川芸術劇場(KAAT)プロデュース作品等を他府県で公演した。	こども向けや、神奈川芸術劇場(KAAT)での実績がある人気作品を各地で上演した。	21,309人	通年 7演目46公演	広島県など10府県	—	
県立金沢文庫における文化財の貸出、借入れ	県外の博物館等の展示に対して資料の貸出を行った。また、県立金沢文庫での特別展の実施にあたり、全国各地の博物館等、個人から資料の借入れを行った。	—	—	—	—	県外の博物館等の特別展への貸出：3点（茨城県立歴史館） 県外からの借入れ：205点（茨城県・常福寺、東京大学東洋文化研究所、広島県・浄土寺等）	
県立歴史博物館における収蔵資料の貸出	県外の博物館等の展覧会への収蔵資料の貸出を行った。	貸出先における展示環境等の把握に努め、より良い形で公開ができるよう貸出先と調整を行った。	—	—	—	貸出：71点（岩手県立博物館、群馬県立歴史博物館、広島県立美術館、福岡市博物館など14館の博物館・美術館）	
県立近代美術館における巡回展の実施	他県の実美術館との調査研究に基づく、巡回型の展覧会（関根正二展）を実施した。	—	入館者数：3,271人	2020年2月1日～3月3日	県立近代美術館鎌倉別館、福島県立近代美術館、三重県立近代美術館	鎌倉別館で初の重要文化財の展示を行った。	
<b>国民文化祭への県内文化芸術団体の参加促進</b>							
国民文化祭	国民文化祭の開催県である新潟県と連携し、参加団体へ国民文化祭の開催及び参加を周知した。	チラシヤパンフレットの配架や県内市町村への周知を行い、参加者・来場者への広報に協力した。	日本舞踊の祭典：1団体・3人 オーケストラと合唱の祭典：2団体・2人 小倉百人一首競技かるた全国大会：1団体・8人 全日本健康マージャン交流大会：1団体・4人	2019年9月15日～11月30日	新潟県各地	—	
<b>全国高等学校総合文化祭への参加</b>							
全国高等学校総合文化祭への参加	全国高等学校総合文化祭への生徒派遣を通して、相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	全国高等学校総合文化祭・佐賀大会（参加生徒数：701名）	2019年7月27日～8月1日	県内各所	—	
<b>県高等学校総合文化祭の開催</b>							
(再)県高等学校総合文化祭の開催	県高等学校総合文化祭において、高校生等の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	総合文化祭（開会式・専門部門26部門各会場、閉会式参加生徒数：延べ約19,100人）	2019年11月9日～2020年1月19日	県内各所	—	
<b>イ 国際文化交流の推進</b>							
<b>神奈川の文化芸術の海外発信</b>							
ボローニャ歌劇場『セヴィリアの理髪師』	ボローニャ歌劇場から、スタッフとキャストを呼び、共催事業としてオペラを上演した。	2017～2018年度の舞台機構の改修の結果を生かした海外招聘が実現した。	1,236人	2019年6月22日	県民ホール本館	—	重点施策 3
英国ロイヤル・バレエ団 2019日本公演（ロイヤル・ガラ）	英国から、スタッフとキャストを呼び、共催事業としてガラ形式のバレエを上演した。	2017～2018年度の舞台機構の改修の結果を生かした海外招聘が実現した。	4,274人	2019年6月29日、30日	県民ホール本館	—	重点施策 3
ネザールランド・ダンス・シアター	NDT横浜実行委員会と共催し、オランダに本地地を置くコンテンポラリーダンスカンパニーであるNDTによる来日公演を共催で実施した。	平成29～30年度の舞台機構の改修の結果を生かした海外招聘が実現した。	3,416人	2019年7月5日、6日	県民ホール本館	—	重点施策 3



2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)浮世絵カフェ	エンターテインメントレストランを開設し、「和」をテーマとしたデジタル映像の映写と浮世絵を活用したパフォーマンスを行うショーを開催した。	外国人を含めた観光客等の誘客のため、海外でも活躍するパフォーマンス集団白Aにより、プロジェクトンマッピング、ダンス等が融合したノンバーバルパフォーマンスを実施した。	1,601人	2019年8月8日～ 2020年2月	英一番館(県民ホール本館内)	世界最大規模の旅行情報に関するウェブサイト「トリップアドバイザー」において、横浜市のナイトライフ部門で145軒中、口コミ1位を獲得した。	重点施策 3
キエフ・クラシック・バレエチャイコフスキー夢の3大バレエ	ロシアのキエフ・バレエによる有名バレエの名場面集の公演を共催で実施	夏休みに合わせて、バレエの有名な場面を中心に、親しみやすいバレエ公演を実施した。	823人	2019年8月20日	県民ホール本館	—	重点施策 3
英国ロイヤル・オペラ2019日本公演『オテロ』	英国から、スタッフとキャストを呼び、共催事業としてヴェルディの傑作オペラを上演した。	2017～2018年度の舞台機構の改修の結果を生かした海外招聘が実現した。	3,065人	2019年9月14日、16日	県民ホール本館	—	重点施策 3
英国ロイヤル・オペラ2019日本公演『ファウスト』	英国から、スタッフとキャストを呼び、共催事業としてグノーの傑作オペラを上演した。	2017～2018年度の舞台機構の改修の結果を生かした海外招聘が実現した。	1,984人	2019年9月22日	県民ホール本館	—	重点施策 3
神奈川県民ホール・オペラシリーズ2019 グランドオペラ共同制作 オペラ『カルメン』	日本の4つの劇場が共同制作したオペラ『カルメン』を上演した。	2007年度から継続している国内公共劇場とのネットワークを生かし、共同制作先を選定した。	3,292人	2019年10月19日、20日	県民ホール本館	文化庁による共同制作補助金に採択され、約73,000千円の外部資金を得て実施した。	重点施策 3
(再)浮世絵アートウィーク2019	県庁前日本大通りにおいて日本伝統文化×デジタル技術を融合させたナイトアートイベントを実施した。	ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> の準決勝及び決勝の日を含む期間に開催し、誘客に効果的であった。	13,221人	2019年10月26日～11月3日	県庁前日本大通り	浮世絵の中に入る体験のできる「北斎VR」が大変好評で、1,076人の方に体験していただくことができた。また全体の来場者のうち3割程度は外国人だった。	重点施策 3
(再)日本大通り流鏝馬騎射式	県庁前日本大通りにおいて、首都圏公道初となる、流鏝馬騎射式を実施した。	ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> の準決勝が横浜国際総合競技場でも開催される日程に合わせることで、7つの国と地域から外交官等の来賓を招くことができた。	4,000人	2019年10月27日	県庁前日本大通り特設馬場	【来場した大使館等】モロッコ大使館、エクアドル大使館、台北駐日経済文化代表處横浜分處、オーストラリア大使館、ロシア大使館、フィリピン共和国大使館、トルコ大使館	重点施策 3
ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場 オペラ『フィガロの結婚』	ポーランドから、スタッフとキャストを呼び、共催事業としてオペラを上演した。	2017～2018年度の舞台機構の改修の結果を生かした海外招聘が実現した。	779人	2019年11月4日	県民ホール本館	—	重点施策 3
キエフ・バレエ「白鳥の湖」	古典バレエの名作を、ウクライナ国立歌劇場管弦楽団の演奏で共催で実施した。	平成29～30年度の舞台機構の改修の結果を生かした海外招聘が実現した。	1,220人	2020年1月13日	県民ホール本館	—	重点施策 3
国際舞台芸術ミーティング in 横浜2020 (TPAM in YOKOHAMA2020)	舞台芸術に係るプロフェッショナルが国や地域を越えて集まり、公演・ワークショップ等のプログラムを通じて、情報交換・ネットワークの構築の場を提供した。	諸団体と緊密に連絡をとりあい、事業の意義が実現できるように、開催場所や資金の確保に尽力した。	2,584人	2020年2月8日～16日	神奈川県立芸術劇場他周辺施設	—	重点施策 3

IV 施策の実施状況一覧

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>三県省道やベトナム等との文化交流事業の推進</b>							
三県省道スポーツ交流事業	神奈川県、中国・遼寧省、韓国・京畿道の青少年によるスポーツの親善試合や交流事業を行った。	スポーツ親善試合だけではなく、県内の文化・観光施設の観覧や、県立高校の訪問を実施し、幅広い青少年交流を図った。	神奈川県選手団45名、遼寧省選手団10名	2019年8月19日～22日	桐蔭学園高等学校、座間総合高等学校等	—	重点施策 3
ベトナム文化等交流事業	ベトナム・神奈川の文化や食などをPRするプログラムを盛り込んだイベントを通して、両地域の相互理解を深め、幅広い分野での交流を更に推進するため、「ベトナムフェスタin神奈川2019」及び「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2019」を実施した。	①「ベトナムフェスタin神奈川2019」 「見つけよう！新しいベトナム」をテーマに、まだ知られていないベトナムの魅力を発見できる場となるようコンテンツを実施。 ②「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2019」 現地ベトナム人が直接日本や神奈川に触れてもらえるコンテンツを実施した。さらに、集客数向上につなげるため、SNS等を通じた情報発信に力を入れた。	①約280,000人 ②約75,000人	①2019年9月6日～8日 ②2019年11月16日～18日	①県庁前日本大通り、県庁本庁舎、Kosha33（神奈川県住宅供給公社）、象の鼻パーク ②リー・タイ・トー公園（ベトナム・ハノイ市内）	両イベントともに85%を超える高い満足度を得ている。	重点施策 3
(再)世界文化交流プロジェクト	ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> 及び東京2020大会の機会を捉え、世界的に有名な演劇を上演した。	日本とフィンランドの外交関係樹立100周年を記念し、「VORTEX」を、ベトナムとの演劇による交流を促進することを目的に「ワーニャ伯父さん」を公演した。	1,329人	「VORTEX」 （3公演）：2019年10月25日～27日 「ワーニャ伯父さん」（1公演）：2019年11月26日	「VORTEX」：神奈川芸術劇場 「ワーニャ伯父さん」：横浜市泉区民文化センターテアトルフォンテ	—	重点施策 3
<b>国際児童画展の開催</b>							
かながわエンナーレ国際児童画展	次代を担う子どもたちの夢と創造力を育み、絵画を通じてお互いの生活や文化を理解し、交流を深めるふれあいの場となることを目的として、1981年（昭和56年）から隔年で開催している（応募資格：満4歳以上15歳以下。テーマは自由。）。	広く世界各地から作品を募集し、また受賞作品の地球市民かながわプラザでの展覧会や巡回展等を行った。	①第20回展表彰式 参加者276人 ②第20回展展覧会 参加者6,633人 ③特別展「プレイバック ザ・カナガワエンナーレ」 参加者834人 ④第20回展 県内巡回展（県内12か所） 来場者数10,437人	①2019年7月7日 ②2019年7月5日8月25日 ③2019年7月25日～8月3日 ④2019年9月3日～3月25日	地球市民かながわプラザ等	—	
<b>アーティストインレジデンス</b>							
(再)アーティスト・イン・レジデンス推進事業	アートによる国際交流・地域間交流を目的に地域のアート団体と連携して「アーティスト・イン・レジデンス推進事業」を展開した。	2018年度募集では、スケジュール上、4月～5月までのイベントを採択することができなかったため、今年度は募集期間を前倒した。	2,049人	2019年5月～10月 3事業を実施	藤沢市（旧稲元屋、関次商店、旧石曾根商店、有田家）、交流館（他）、若葉町ウォーフ、高架下スタジオSite-A、ギャラリー	—	
<b>ウ 多文化理解の推進</b>							
<b>「あーすフェスタかながわ」など多文化理解を推進するためのイベントの実施</b>							
(再)共生共創事業	障がい者や高齢者等が出演する公演事業等を実施した。	障がい者や高齢者等が出演する公演事業のほか、シニア劇団の創設やシニアダンス企画、多文化共生に関する企画の実施など、参加型事業も実施した。	6,947人	2019年5月～2020年3月	県民共済みらいホール ほか	公演回数 33回	重点施策 3
あーすフェスタかながわ2019	多様な国籍文化や民族の違いを理解し、認め合うことのできる多文化共生社会の実現をめざし、「あーすフェスタかながわ2019」を実施した。	県内の民族団体、NPO、市民ボランティア等が企画段階から関わり、学び合いながらともに作り上げる過程を大切にされた。	約20,000人	2019年5月18日～19日	地球市民かながわプラザ（あーすぶらざ）、横浜市栄区民文化センターリリス、国際言語文化アカデミア	アンケートの結果、81%の回答者から「たのしかった」との回答があった。	重点施策 3

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>地球市民かながわプラザ等での多文化理解を推進するための講座等の実施</b>							
地球市民かながわプラザ指定管理事業（学習センター事業・相談センター事業・サポート・ネットワーク事業）	多文化共生の地域社会づくりに向け、多文化理解を推進するため、地球市民かながわプラザにおいて、展示学習などの学習センター事業、映像・図書資料の収集提供や外国籍県民相談等の情報・相談センター事業やNPO等活動支援などのサポート・ネットワーク事業等を実施した。	指定管理により、子どもから大人まで幅広い年齢層にプラザの理念や趣旨を魅力的に伝え、家族連れや友達同士で楽しく遊べるプログラムを実施する展示学習事業や大人も対象とした企画展及び関連イベントをバランスよく実施し、また校外学習の受入れ等を行った。	425,518人	2019年4月1日～3月31日	地球市民かながわプラザ	アンケートの結果、97.2%の人が「満足」「どちらかといえば満足」と回答している。	重点施策3
高等学校への学習プログラム支援事業	高校生が地域と世界へ興味・関心を持つよう、県内高校に国際教育に係る講師を派遣して講演等を実施した。	講演だけではなく、ワークショップなど、より理解を深められる手法を検討し実施している。	14校（2,406名）	2019年5月～2020年3月	県内高校（14校）	—	重点施策3
国連大学グローバルセミナー開催事業	国連大学と共催し、県内大学をはじめ、首都圏を中心とする大学と協力し、留学生を含む大学生を対象に国際課題をテーマとしたセミナーを開催した。	神奈川の各種取組を伝える「かながわセッション」にて、全体のテーマに即した内容にし、より伝わりやすくするため、セミナーまたはディスカッション形式で実施している。	91人	2019年8月26日～29日	湘南国際村センター	—	重点施策3
高校生対象国際セミナー開催事業	①世界の現状や課題に対する理解を深め、豊かなコミュニケーション力を育むためのセミナーを開催した。 ②日本と外国の異なる文化や多様な価値観を知るため、海外で活躍する方々と意見交換を実施した。	意見交換を行うにあたり、どういった手法がより発言しやすくなるか検討し実施している。	①70人 ②60人	①2020年1月26日 ②2019年6月1日、7月21日、12月15日、2020年2月15日	①JICA横浜 ②かながわ県民センター外3ヶ所	—	重点施策3
<b>かながわ国際交流財団との連携による留学生との交流を図る取組の推進</b>							
留学生・元留学生への社会参加促進事業	①県内外外国人留学生を対象に先輩留学生からメッセージを伝えるセミナーを開催した。 ②留学生の進学や就職に役立つWEBサイトや冊子の作成した。	セミナーを実施する際、母語だけではなくやさしい日本語も活用し、より丁寧な説明に努めている。 また、留学生の支援に関わる関係機関との横のつながりを活用することで、より支援の幅を広くとるようにしている。	①190人 ②9名（WEB動画）	①2019年7月3日	①日石横浜ホール	—	重点施策3
<b>(2) 創造的活動等の推進</b>							
<b>県立文化施設における新たな舞台芸術作品等の創造・発信</b>							
神奈川芸術劇場における新たな舞台芸術作品の創造や新作公演の実施	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演を実施した。	国内外の優れた制作者との共同制作公演に積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術の創造・発信を行った。	87,475人	通年 14事業175公演	神奈川芸術劇場	—	
(再)かながわ短編演劇アワード2020	短編演劇及び短編戯曲の全国公募によるコンペティションを開催した。	短編戯曲において、作品テーマをSDGsとした。また、最終選考に残った戯曲をweb公開することで、より多くの方に作品に触れてもらう機会を設けた。	【応募数】 短編演劇：65団体 短編戯曲：59作品 【来場者数】 本戦：新型コロナウイルス感染症対策の為無観客（ライブ配信）で開催 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：272人	本戦：2020年3月21日、22日 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：2020年1月12日	本戦：神奈川芸術劇場 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：県立神奈川総合高等学校	—	

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>文化芸術団体や民間企業・芸術系大学との連携による先駆的で発信性の高い文化芸術の創造</b>							
(再)浮世絵カフェ	エンターテインメントレストランを開設し、「和」をテーマとしたデジタル映像の映写と浮世絵を活用したパフォーマンスを行うショーを開催した。	外国人を含めた観光客等の誘客のため、海外でも活躍するパフォーマンス集団白Aにより、プロジェクトンマッピング、ダンス等が融合したナンバーバルパフォーマンスを実施した。	1,601人	2019年8月8日～ 2020年2月	英一番館（県民ホール本館内）	世界最大規模の旅行情報に関するウェブサイト「トリップアドバイザー」において、横浜市のナイトライブ部門で145軒中、口コミ1位を獲得した。	重点施策 5
(再)神奈川伝統・映像アートウォーク	県庁本庁舎を丸ごと利用し、県にゆかりのある伝統芸能から、最先端のメディアアートなどの現代芸術まで様々な文化を一度に体験できる屋内イベントを実施した。	庁舎公開日及びラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> の準決勝日に実施したことで、誘客に効果的であった。	2,519人	2019年10月26日、27日	県庁本庁舎	【ワークショップ等の参加者数：計210人】 ・音楽ワークショップ：40人 ・日本舞踊ワークショップ：44人 ・生け花ワークショップ：23人 ・寄木細工のコースター製作などの体験ワークショップ：53人 ・相模人形芝居下中座による人形ワークショップ：50人	重点施策 5
(再)浮世絵アートウィーク2019	県庁前日本大通りにおいて日本伝統文化×デジタル技術を融合させたナイトアートイベントを実施した。	ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> （RWC）の準決勝及び決勝の日を含む期間に開催し、誘客に効果的であった。	13,221人	2019年10月26日～11月3日	県庁前日本大通り	浮世絵の中に入る体験のできる「北斎VR」が大変好評で、1,076人の方に体験していただくことができた。また全体の来場者のうち3割程度は外国人だった。	重点施策 5
(再)「寄宿生活塾 はじめ塾×東京デズロック『Anti Human Education II ～TEENS Edit.～』」	青少年を取り巻く不登校等の心の課題に対し舞台芸術の力が解決の糸口の1つとなる可能性を提示することを目的とした公演を実施した。	—	出演者19人 ※公演は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	成果発表会：2020年2月28日（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公演は中止とし、関係者向けに成果発表会を実施）	青少年センタースタジオHIKARI	一般財団法人地域創造が全国の自治体と公立文化施設向けに発行する月刊誌「地域創造レター」に先進事例として紹介された。	重点施策 5
<b>新進芸術家等への支援の検討</b>							
(再)第35回かながわ音楽コンクール	神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、育成を図る目的でコンクールを実施した。	入賞者を対象としたクリスタルコンサート、上位入賞者によるトップコンサートを実施し、上位入賞者はオーケストラと共演した。	参加者数：937人 鑑賞者数：延べ2,800人 (クリスタルコンサート及びトップコンサートの鑑賞者数：1,040人)	クリスタルコンサート：2019年8月23日 トップコンサート：2020年10月13日	クリスタルコンサート：横浜みなとみらいホール 小ホール トップコンサート：音楽堂	—	
<b>(3) 文化資源の活用</b>							
<b>ア 文化芸術事業の発信力の強化</b>							
<b>神奈川発のコンテンツの創出</b>							
マグルナイト運営業務	地域の賑わいを創り出すため、誰もが気軽に立ち寄ることが可能な、地域に密着した飲食店等を活用し、様々なエンターテインメントを毎週水曜日に週替わりで提供した。	ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> の開催期間中に、「マグルナイトSpecial WEEK!!」として、5日間連続で開催した。	977人	2019年4月1日～ 2020年3月31日	ヨコハマスリーエス	公演回数 42回	
(再)共生共創事業	障がい者や高齢者等が出演する公演事業等を実施した。	障がい者や高齢者等が出演する公演事業のほか、シニア劇団の創設やシニアダンス企画、多文化共生に関する企画の実施など、参加型事業も実施した。	6,947人	2019年5月～2020年3月	県民共済みらいホール ほか	公演回数 33回	
(再)浮世絵カフェ	エンターテインメントレストランを開設し、「和」をテーマとしたデジタル映像の映写と浮世絵を活用したパフォーマンスを行うショーを開催した。	外国人を含めた観光客等の誘客のため、海外でも活躍するパフォーマンス集団白Aにより、プロジェクトンマッピング、ダンス等が融合したナンバーバルパフォーマンスを実施した。	1,601人	2019年8月8日～ 2020年2月	英一番館（県民ホール本館内）	世界最大規模の旅行情報に関するウェブサイト「トリップアドバイザー」において、横浜市のナイトライブ部門で145軒中、口コミ1位を獲得した。	



IV 施策の実施状況一覧

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>「マグカル」の全県展開</b>							
(再)神奈川文化プログラム認証制度	県内で実施する事業・活動について、一定の要件を満たすものを神奈川文化プログラムとして認証した。	県内市町村や文化芸術活動団体、文化施設等に積極的に周知を行い、より多くの事業を認証することができた。	神奈川文化プログラム認証制度：認証件数497件	—	県内全域	—	
(再)マグカル推進事業補助金	神奈川文化プログラムの核となる事業を実施する団体から企画案を公募し、補助金を交付した。	創設2年目に当たり、より丁寧な広報を行った。	要望団体数：30件 助成団体数：9件 助成金交付額：17,604千円	—	—	—	
(再)マグカル開放区	歩行者天国となった県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス等のジャンルを問わず自由に発表できる場を提供することにより、日本大通りの活性化を図るとともに、県民の文化芸術活動を後押しした。	他市の公道で実施する出張開放区や企画開放区の実施など随時工夫を凝らした展開を行った。	約5,000人/1日	近隣にてイベントが開催されない日曜日	県庁前日本大通りほか	—	
<b>舞台芸術にかかわる人材の育成</b>							
(再)神奈川芸術劇場(KAAT)における人材育成事業	舞台技術専門スタッフを対象にした実践的な講座を行うとともに、劇場運営や舞台技術に関心のある学生等をインターンとして受け入れ、業務体験等を実施した。	「人をつくる」創造型劇場として、若手演出家、舞台技術専門スタッフ、大学生など、劇場での舞台芸術に関わる多様なジャンルの人材を育成に寄与した。	241人	通年 8企画10回	神奈川芸術劇場	—	重点施策 5
(再)県立高校における舞台芸術に関する学科の新設に向けた準備	県立高校改革実施計画（Ⅱ期）に基づき、令和3年度から県立神奈川総合高校に舞台芸術科を設置するため、必要な施設・設備を整備する工事を実施するための実施設計や、教育内容等を示した設置計画を作成するなど準備を進めた。	設置計画の作成に当たっては、科目の選択パターンを進路別に示すなど、中学生・保護者にわかりやすいものとなるよう工夫した。	—	—	神奈川総合高校	2020年1月 校舎改修工事実施設計完了 2020年3月 設置計画策定	重点施策 5
(再)マグカル・パフォーマンス・アカデミー	マグカルの核となるような、専門的な舞台芸術人材を育成するため、実践的な歌・ダンス・演技のレッスンを行った。	常任の講師に加え、特別講師4名を迎えレッスンをを行った。	在籍者数：48人 鑑賞者数：1,095人	練習日：週2日 計87日（原則、火曜日と木曜日） 成果発表会：2019年4月7日（2公演） 本公演：2019年8月15日～18日（6公演）	青少年センター	—	重点施策 5
(再)マグカルシアター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」を公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	多くの文化芸術団体等の公演の場を広げるため、公演枠数を20枠から36枠に増加した。	6,509人	2019年4月18日～ 2020年3月15日	青少年センタースタジオHIKARI	スタジオを小劇場仕様としたことから、出演団体の種別や東京所在の団体が増えるなど、すそ野が広がっている。	重点施策 5
(再)青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	講師やプログラムの検討においては、ダンス専門部のニーズや時代からの要請を踏まえ、見直しを行っている。	478人	2019年8月7日、8日	青少年センター	講習内容アンケートで、「大変良かった」「良かった」が平均で93.3%であり、高い満足度を得ている。	重点施策 5
(再)青少年のための芝居塾	県内の地域・歴史等を取り入れた演劇・ミュージカルを創作し、公募した青少年により上演した。	数年おきに担当劇団を替えるなど、一般の青少年が参加しやすいように考慮している。	514人	2019年8月23日～28日	青少年センタースタジオHIKARI	演劇経験のない子が参加したり、何年か連続して参加する塾生がいるなど、芝居塾に参加することの魅力が広がっている。	重点施策 5
(再)県民ホール本館における人材育成事業	劇場運営のマネージメントや公演制作に関する講座や現場実習を開催した。	講座では、公共文化施設において障がいを持つ方への的確な対応方法について講義を行い、好評を得た。	32人	2019年9月～2020年2月	県民ホール本館	—	重点施策 5

IV 施策の実施状況一覧

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)学校演劇交流フェスティバル	学校演劇における創作のスキルアップを目的とした試演とワークショップを実施した。	演劇シーンの第一線で活躍する劇作家、演出家等を講師に活用した。	中学生、高校生、一般253人	2019年9月22日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートによると、「とても良い」「良い」が90.3%と高く評価されている。	重点施策5
(再)演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」	中・高等学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。	中高演劇部のニーズや演劇界の情勢などを考慮し講師を選定した。	318人(中学校)82人(高校)	2019年11月～2020年2月(8日間)	県内8会場	—	重点施策5
(再)全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル	ストリートダンスを通じて、健全な青少年の育成を図り、「日本大通り」をストリートダンスの聖地として発信するために、第5回大会を実施した。	県外からの参加校を増やすべく、訪問によるプロモーションや通信手段を活用した広報を積極的に行った。	15,000人	2019年11月10日	県庁前日本大通り	—	重点施策5
(再)マグル・ハイスクール・演劇フェスタ	県高校演劇発表会にて最優秀賞等高い評価を得た作品を上演した。	関東大会出場に向けて、県大会からの舞台装置の変更・見直しなど、作品のブラッシュアップに向けた相談に乗った。	316人	2019年12月13日～15日	青少年センター紅葉坂ホール	今年度の全国大会で52年ぶりに神奈川県の出場校が最優秀賞を受賞するなど、着実に実績が上がっている。	重点施策5
広報・制作インターン	約3か月間の主催事業の実施の中で広報と制作を学ぶ。	大型の公演が続く、年末から2月末にかけて実施し、制作や広報の機会を多く準備した。	5人	2019年12月18日～2020年2月26日	音楽堂ほか	—	重点施策5
(再)演劇指導者のための実践的ワークショップ	中学校・高等学校の演劇部指導者、演劇部等の指導的立場にある生徒等を対象に、音響、照明、舞台のノウハウを学ぶための実践的なワークショップを実施した。	中・高とも発表会（県大会）の会場である紅葉坂ホールの機材、道具を実際に使用し、舞台、照明、音響の基礎的な部分から実践的な内容の講習を行った。	28人	2020年1月13日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、道具の使い方やホールの機器を使用したことに評価があったほか、時間が足りないとの声もあった。	重点施策5
(再)かながわ短編演劇アワード2020	短編演劇及び短編戯曲の全国公募によるコンペティションを開催した。	短編戯曲において、作品テーマをSDGsとした。また、最終選考に残った戯曲をweb公開することで、より多くの方に作品に触れてもらう機会を設けた。	【応募数】 短編演劇：65団体 短編戯曲：59作品 【来場者数】 本戦：新型コロナウイルス感染症対策の為無観客（ライブ配信）で開催 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：272人	本戦：2020年3月21日～22日 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：2020年1月12日	本戦：神奈川県芸術劇場 22席飛翔枠選抜大会（県内高校生枠選抜大会）：県立神奈川総合高等学校	—	重点施策5
文化プログラムの展開とレガシーづくり							
(再)東京2020 NIPPONフェスティバル「ONE - Our New Episode - in KANAGAWA」	東京2020パラリンピック競技大会にあわせて開催される、東京2020NIPPONフェスティバルの文化プログラムの一つである「共生社会の実現に向けて」を開催した。	県所有の備品（チェーンバネーション）を貸し、客席最前列の左右両端に3～5人ほどが入れる「車いす席」を配置した。	18,232人	2019年10月6日	県庁前日本大通り、県庁本庁舎（大会議場）	・義足ダンサーの大前光市氏によるダンスパフォーマンス ・パラアスリートの鈴木朋樹選手（車いす陸上）によるパフォーマンス ほか	重点施策4
(再)世界文化交流プロジェクト	ラグビーワールドカップ2019™及び東京2020大会の機会をとらえ、世界的に有名な演劇を上演した。	日本とフィンランドの外交関係樹立100周年を記念し、「VORTEX」を、ベトナムとの演劇による交流を促進することを目的に「ワーニャ伯父さん」を公演した。	1,329人	「VORTEX」(3公演)：2019年10月25日～27日 「ワーニャ伯父さん」(1公演)：2019年11月26日	「VORTEX」：神奈川県芸術劇場 「ワーニャ伯父さん」：横浜市泉区民文化センターテアトルフォンテ	—	重点施策4

IV 施策の実施状況一覧

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)神奈川伝統・映像アートウォーク	県庁本庁舎を丸ごと利用し、県にゆかりのある伝統芸能から、最先端のメディアアートなどの現代芸術まで様々な文化を一度に体験できる屋内イベントを実施した。	庁舎公開日及びラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> の準決勝日に実施したことで、誘客に効果的であった。	2,519人	2019年10月26日、27日	県庁本庁舎	【ワークショップ等の参加者数：計210人】 ・能楽ワークショップ：40人 ・日本舞踊ワークショップ：44人 ・生け花ワークショップ：23人 ・寄木細工のコースター製作などの体験ワークショップ：53人 ・相模人形芝居下中座による人形ワークショップ：50人	重点施策4
(再)浮世絵アートウォーク2019	県庁前日本大通りにて日本伝統文化×デジタル技術を融合させたナイトアートイベントを実施した。	ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> の準決勝及び決勝の日を含む期間に開催し、誘客に効果的であった。	13,221人	2019年10月26日～11月3日	県庁前日本大通り	浮世絵の中に入る体験のできる「北斎VR」が大変好評で、1,076人の方に体験していただくことができた。また全体の来場者のうち3割程度は外国人だった。	重点施策4
(再)日本大通り流鏝馬騎射式	県庁前日本大通りにて、首都圏公道初となる、流鏝馬騎射式を実施した。	ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> の準決勝が横浜国際総合競技場でも開催される日程に合わせることで、7つの国と地域から外交官等の来賓を招くことができた。	4,000人	2019年10月27日	県庁前日本大通り特設馬場	【来場した大使館等】モロッコ大使館、エクアドル大使館、台北駐日経済文化代表處横浜分處、オーストラリア大使館、ロシア大使館、フィリピン共和国大使館、トルコ大使館	重点施策4
イ 文化資源を活用した地域の活性化							
相模湾沿岸地域一体に残る邸宅・定演や歴史的建造物を保全・活用した地域づくりの推進							
湘南邸園文化祭2019	9月～12月にかけて相模湾沿岸の14市町の邸園等において、31の市民団体等により61のイベントを実施した。	—	延べ約9,700人	9月13日～12月15日	相模湾沿岸地域一帯の邸宅・邸園等	—	—
県西地域の豊かな自然環境や歴史的・文化的遺産などを活用した箱根ジオパーク等の取組の推進							
箱根ジオパーク推進協議会事業	・シンポジウムの開催 ・PRイベントの実施 ・ガイド養成講座の開催 ・サポーター講座の開催 ・ジオツアーの実施 ・小中学校等での教育活動 ・ジオパーク特産品の開発 ・サインの整備 ・ジオサイト保全活動 ・パンフレット等作成	サイン整備事業において、外国語版ページ作成と板面QRコード添付	・シンポジウム（講演65人、ワークショップ35人） ・ガイド養成講座（219人） ・サポーター講座（90人） ・ジオツアー（68人） ・小中学校での教育活動（1,247人）	（シンポジウム） 2019年9月15日	（シンポジウム） 生命の星・地球博物館	—	—
「鎌倉」の世界文化遺産登録の推進							
「鎌倉」の世界文化遺産登録の推進	世界遺産登録を目指す「鎌倉」の構成資産について、適切な保存管理と積極的な公開活用を図るため、県費補助金による助成を行った。また、「鎌倉」世界遺産に係る文化財保護ポスター事業を行った。そのほか、海外の類似資産との比較研究の成果をまとめた連続講座の結果や国際共同研究の記録に係る冊子を作成した。	世界文化遺産登録の推進に係る普及啓発を図るため、文化財保護ポスターの募集や巡回展示、研究成果に係る冊子の配布を実施した。	—	—	—	文化財保護ポスター事業の実施、冊子の配布を通じて、世界文化遺産登録の推進に係る普及啓発を図ることができた。	—
「日本遺産」の新たな認定の推進と活用による地域活性化							
「日本遺産」に関する情報提供及び支援	「日本遺産」の新規認定申請について、県内市町村等に周知を行った。また、既認定の「日本遺産」について、文化庁補助金の周知や助言を通じ、市町村や地元協議会による地域活性化の取組を支援した。	—	—	—	—	伊勢原市等で文化庁補助金を受けながら、観光客等受入環境整備等が実施された。	—

IV 施策の実施状況一覧

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>地域に伝承されてきた文化等の発掘・発信・体験の促進</b>							
(再) 県立歴史博物館における特別展の実施	「横浜開港160年 横浜浮世絵」展などの特別展を実施した。	「ポケット学芸員」を活用した音声・文字による展示ガイドを行った。また、関連事業として講演会や展示解説を積極的に行った。	34,922人	通年 4回開催	県立歴史博物館	—	
(再) 民俗芸能調査事業	「吉浜の鹿島踊」を初め、県内に所在する「鹿島踊」について記録保存を行うことにより、県内の民俗芸能の保存・継承の基礎資料とし、調査において当該芸能の特色を明らかにする。	調査員による現地調査及び関連文献の調査を行った。	調査員13人ほか	現地調査2019年4月23日ほか57回	湯河原町吉浜、湯河原町鍛冶屋、小田原市米神、小田原市根府川、真鶴町真鶴ほか	保存会代表者が参加した中間報告会を実施した。	
(再) 相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演を行うワークショップを行った。	—	1,013人	2019年5月21日、10月1日、12月7日、2020年1月30日	①座間、南足柄、平塚、海老名の4会場	—	
(再) 日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	参加料を無料にすることによって参加しやすくし、応募者数を増やす努力を行った。	85人	2019年7月26日、27日、8月3日、4日、8月10日、11日、8月13日、14日	横須賀、平塚、南足柄、横浜の4会場	アンケートの結果、97.5%の参加者が内容に「満足」と回答した。	
(再) カナガワリ・古典in秦野	秦野市を舞台に、県内の古典や各地の貴重な伝統文化の魅力・価値を再発見し、継承への機運醸成を目指し、民俗芸能フェスティバル事業を開催した。	県にゆかりのある伝統芸能をデジタル映像と組み合わせることで、今まで馴染みのなかった方にも、現代を生きる文化芸術として「再(Re)リ」発信することができた。	1,318人	2019年10月20日	クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)	当該事業、周辺イベント、ともに地域と連携して実施したことで、地域のにぎわい創出に寄与した。	
(再) かながわ子ども民俗芸能フェスティバル〜れとろびーと2019〜	地域で継承されている民俗芸能を県民に紹介することで、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への機運を醸成するとともに、後継者育成を支援するためのイベントを開催した。	県内で伝承されている2種類の人形芝居の継承活動に着目し、ホールでの公演機会を提供することで、地域の伝統芸能の継承に取り組む子ども・青少年を支援した。	396人	2019年11月4日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケート結果は、97.9%の方から「大変良かった」「良かった」と回答があり、観覧者の高い満足度に繋げることができた。	
(再) かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟団体が一堂に会し、県外の団体も参加して創作太鼓演奏を披露した。	ジュニアコンクール神奈川県優勝1団体等若い世代も参加した。	620人	2019年11月10日	青少年センター紅葉坂ホール	—	
(再) かながわ民族芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるように、県内6市町の伝統芸能を紹介した。	376人	2019年12月1日	はまぎんホールヴィアマーレ	—	
(再) 能楽ワークショップ	謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを実施した。	小・中学生だけでなく、保護者を含めた家族全員で伝統的な芸能を共有できるように、イベント運営に努めた。	6人	2020年2月15日	小田原市民会館	—	
<b>県立文化施設の地域の賑わい創出等への活用</b>							
街なかトークカフェ	公演事業と連動し、講師を招き、参加者とお茶を飲みながら聴きどころを解説する企画を実施した。	野毛や桜木町等、音楽堂近隣の店で開催し、地域と連携し取組んだ。	133人	2019年5月25日、7月17日、10月27日、11月24日	伊勢山ヒルズ、音楽堂、BUKATSUDO、メゾン・ド・ハラ、	—	
前川建築見学ツアー	ボランティアグループbridgeと協働し、音楽堂の見学ツアーを定期的実施した。	主催公演と併せて開催とすることや、フルコース、無料のショートコースを設けるなど参加しやす形式をとり入れた。	297人	2019年7月30日、8月23日、9月29日、11月30日、12月15日	音楽堂	毎回、定員を超える応募があった。	



IV 施策の実施状況一覧

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
紅葉ヶ丘地域活性化事業	紅葉ヶ丘エリアへの来場者や周辺住民が、新しい紅葉ヶ丘に親しむ契機となるよう整備した広場にイルミネーションを施工した。	場所柄、音出し等ができない中、光のみを活用したコンテンツを実施することにより、活性化に寄与した。	未集計（施設来場者や周辺住民）	2019年12月～2020年3月	紅葉ヶ丘地域	—	
紅葉ヶ丘まいらん	青少年センター、県立図書館、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリー、音楽堂の5館の連携事業	本年は、「伝統、アート、たてもの、ちょっとマルシェでスタンプラリー」を開催	80人	2019年10月10日～14日	音楽堂	—	
ホームページ等による、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信							
観光かながわNOW情報発信事業	ホームページ等により、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報を発信した。	美術館等の位置を分かりやすく示した観光マップ（クリッカブル）を掲載する。トップページにて、イベント情報を発信する他、文化芸術イベントの公演情報等の詳細を発信する「マグル・ドット・ネット」と「観光かながわNOWをリンクさせる。	「観光かながわNOW」令和元年度ページビュー8,736,681PV	通年	観光かながわNOW	—	
無形民俗文化財及び民俗行事等の情報提供	神奈川県無形民俗文化財及び民俗行事等の催行日時掲載を行った。	—	—	—	—	昨年度に引き続き、神奈川県の無形民俗文化財及び民俗行事等の催行日時の掲載を行った結果、ページビュー数は661件であった。	
地域の製品の普及、伝統的工芸品の製品フェア開催など文化資源の普及、育成							
関東ブロック伝統的工芸品展2020	関東甲信越静地区の伝統的工芸品展に伝統的工芸品産業（産地）従事者が出展するための支援を行った。	県のより多くの伝統的工芸品（箱根寄木細工、小田原漆器、鎌倉彫 計3品）を周知するため、産地組合を通じ、各産地すべてに参加を促した。	来場者数：約12,600人	2020年1月24日～26日	羽田空港国際線旅客ターミナルビル	—	
伝統的工芸品展WAZA2020	大消費地での全国伝統的工芸品展に伝統的工芸品産業（産地）従事者が出展するための支援を行った。	県のより多くの伝統的工芸品（箱根寄木細工、小田原漆器、鎌倉彫 計3品）を周知するため、産地組合を通じ、各産地すべてに参加を促した。	来場者数：121,215人	2020年2月20日～25日	東武百貨店池袋店	—	
フィルムコミッション活動支援事業の推進							
フィルムコミッション活動支援事業	神奈川ロケーションサポートデスクの設置（制作会社からの問合せに対して、お薦めロケ地のPRや、フィルムコミッションの紹介、市町村との調整などの機能を担う。）	公益社団法人神奈川観光協会の実施する各種観光プロモーション事業と効果的かつ一体的に実施するため、平成30年4月から同協会に神奈川ロケーションサポートデスク事業を移管。	神奈川ロケーションサポートデスクへの問い合わせ件数…245件	—	（公社）神奈川観光協会	—	
各市町村における文化活動の情報交換・連携							
神奈川県オリバラ文化プログラム推進協議会	文化芸術を求めて人々が集う神奈川を目指し、神奈川の文化プログラムを推進するため、県内市町村と連携しながら取り組むことを目的とする。	県からの一方的な発信にならないよう、参加した全市町村からそれぞれの文化政策について発言をしていたいただき、情報共有を行っている。	90人	2019年5月20日、8月17日、2020年1月17日	湘南地域県政総合センター、藤沢合同庁舎	—	重点施策5
（再）横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム	お箏のワークショップやコンサートの実施	各学校の状況に合わせて、学校側の希望を取り入れながらミニコンサートを開催した。	222人 ①146人 ②76人	①2019年10月17～19日 ②2020年1月16日	①横浜市立矢向小学校 ②横浜市立都田小学校	授業時間を使ってグループで楽器を演奏する課題にも取り組み、子どもたち全員の演奏参加体験も提供できた。	重点施策5

IV 施策の実施状況一覧

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>(4) 景観の形成</b>							
<b>「神奈川景観づくり基本方針」に基づく魅力ある景観づくりの推進</b>							
景観計画策定等に係る意見交換会	神奈川景観づくり基本方針では、景観づくりを推進する上で市町村の役割の重要性から「全ての市町村が景観行政団体となるよう支援する」旨を定めており、未移行団体の町村と意見交換を実施した。	—	—	2019年9月6日	寒川町役場	未移行団体の町村と意見交換を実施した結果、県と町村との共通認識を確保することができた。	
<b>文化財保護法に基づく重要文化的景観の選定に係る検討</b>							
文化財保護法に基づく重要文化的景観の選定に係る検討	文化庁や全国文化的景観地区連絡協議会による研修や普及啓発について県の関係部局及び県内市町村に周知した。	—	—	—	—	重要文化的景観の制度等の周知を通じ、選定に向けた機運の醸成を図った。	

IV 施策の実施状況一覧

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>(1) 学校施設、公共的施設の活用等</b>							
学校施設、公共的施設の文化芸術活動の練習、稽古、発表の場としての活用							
(再)マグカル開放区	歩行者天国となった県庁前の日本大通りを活用し、音楽、ダンス等のジャンルを問わず自由に発表できる場を提供することにより、日本大通りの活性化を図るとともに、県民の文化芸術活動を後押しした。	他市の公道で実施する出張開放区や企画開放区の実施など随時工夫を凝らした展開を行った。	約5,000人/1日	近隣にてイベントが開催されない日曜日	県庁前日本大通りほか	—	
県立学校施設開放事業	県立学校の図書室・音楽室などの学習施設や、グラウンド・体育館などの体育施設を県民の学習・文化活動やスポーツ活動の場として提供した。	地域住民が利用しやすいよう、土曜日又は日曜日のいずれか半日以上を原則開放日として設定している。	学習施設：開放校数24校、利用人数8,298人 体育施設：開放校数162校、利用人数235,328人	通年	各県立学校	—	
(再)神奈川伝統・映像アートウォーク	県庁本庁舎を丸ごと利用し、県にゆかりのある伝統芸能から、最先端のメディアアートなどの現代芸術まで様々な文化を一度に体験できる屋内イベントを実施した。	庁舎公開日及びラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> （RWC）の準決勝日に実施したことで、誘客に効果的であった。	2,519人	2019年10月26日、27日	県庁本庁舎	【ワークショップ等の参加者数：計210人】 ・能楽ワークショップ：40人 ・日本舞踊ワークショップ：44人 ・生け花ワークショップ：23人 ・寄木細工のコースター製作などの体験ワークショップ：53人 ・相模人形芝居下中座による人形ワークショップ：50人	
(再)日本大通り流鏝馬騎射式	県庁前日本大通りにおいて、首都圏公道初となる、流鏝馬騎射式を実施した。	ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> （RWC）の準決勝が横浜国際総合競技場でも開催される日程に合わせることで、7つの国と地域から外交官等の来賓を招くことができた。	4,000人	2019年10月27日	県庁前日本大通り特設馬場	【来場した大使館等】モロッコ大使館、エクアドル大使館、台北駐日経済文化代表處横浜分處、オーストラリア大使館、ロシア大使館、フィリピン共和国大使館、トルコ大使館	
<b>(2) 県立文化施設の充実</b>							
<b>ア 県立文化施設の機能の充実</b>							
県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充							
フリーWi-Fi整備	3館で誰もが必要な情報やアプリによるサービスを受けられるようにロビー等に整備した。	Japan Connected-free Wi-Fiと連動し、外国人観光客も利用しやすくなった。	—	—	県民ホール本館、神奈川芸術劇場、音楽堂	災害時には、ログイン不要で、神奈川県災害情報提供画面（Google翻訳による多言語対応）に自動で切り替わる設定とし、来場者が必要な情報を得ることができる。	重点施策5
障がい者手帳にかわるミライロIDの導入	主催事業において、ミライロIDを障害者手帳と同等の身分確認方法とした。	貸館時は主催者の判断によるため、ミライロID使用者が混同しないように施設入口等のステッカー等の掲示は控えている。	—	—	県民ホール本館、神奈川芸術劇場、音楽堂	—	重点施策5
県民ホール本館の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等を実施した。	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	県民ホール本館	楽屋入口空調設備工事など、31件の修繕・工事を実施した。	重点施策5
神奈川芸術劇場の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等を実施した。	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	神奈川芸術劇場	調光装置部品交換工事など、66件の修繕・工事を実施した。	重点施策5
音楽堂の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等を実施した。	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	音楽堂	無線LANアクセスポイント設置工事など、9件の工事や修理・補修を実施した。	重点施策5

IV 施策の実施状況一覧

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
館内の多言語化（ピクトグラム含む）	改修を機会に、日本語だけであった館内看板を英語併記し、ピクトグラムによる案内板に変更した。	建築デザインとの調和をはかった。	—	—	音楽堂	なし	重点施策5
音楽堂の階段昇降機、スロープの設置	館内のバリアフリールートとの整備をした。	使用しない際には、通行や利用の妨げにならない機種を選択した。	—	—	音楽堂	リピーターである利用者から、広く要望や意見をヒアリングする機会を設けた。	重点施策5
かながわアートホールの整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等を実施した。	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	かながわアートホール	舞台隙間調整・框取替工事など、17件の修繕・工事を実施した。	重点施策5
神奈川近代文学館の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	神奈川近代文学館	受変電設備、ウォールケース昇降駆動装置など、約36件の修繕・工事を実施した。	重点施策5
青少年センターホール天井改修工事設計調査	青少年センターホールの天井の改修工事のため必要な調査設計を行った。	施設に最適な改修方法を検討することができた。	—	2018年11月6日～2019年11月29日	青少年センター	—	重点施策5

施設の機能としての人材育成

(再)神奈川芸術劇場における人材育成事業	舞台技術専門スタッフを対象にした実践的な講座を行うとともに、劇場運営や舞台技術に関心のある学生等をインターンとして受け入れ、業務体験等を実施した。	「人をつくる」創造型劇場として、若手演出家、舞台技術専門スタッフ、大学生など、劇場での舞台芸術に関わる多様なジャンルの人材を育成に寄与した。	241人	通年 8企画10回	神奈川芸術劇場	—	重点施策5
(再)プロフェッショナルアーティスト養成事業の実施	県民ホール本館で実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	56人	通年 8回	県民ホール本館等	—	重点施策5
(再)マグカル・パフォーマンス・アカデミー	マグカルの中核となるような、専門的な舞台芸術人材を育成するため、実践的な歌・ダンス・演技のレッスンを行う。	常任の講師に加え、特別講師4名を迎えレッスンを行った。	在籍者数：48人 鑑賞者数：1,095人	練習日：週2日 計87日（原則、火曜日と木曜日） 成果発表会：2019年4月7日（2公演） 本公演：2019年8月15日～18日（6公演）	青少年センター	—	重点施策5
(再)学生を対象とした職場見学等の実施	県内の中学生や高校生に県民ホール本館の業務説明や公演の説明、見学等を実施した。	ホールの公演事業の準備の体験や、障害を持つ方の体験を通し、文化施設での業務全体を体験できるようにした。	10人	2019年6月18日、8月30日	県民ホール本館	—	重点施策5
(再)中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	講師やプログラムの検討においては、中高生及び中高各専門部会のニーズや時代からの要請を踏まえ、見直しを行っている。	中学生及び教員1,254人 高校生及び教員629人	中学：2019年8月3日、4日 高校：2019年7月30日、31日	青少年センター	講習内容は「部活での活用ができる」など評価も高く、アンケートでも、「大変良かった」「良かった」が合わせて95%以上であるなど、高い満足度を得ている。	重点施策5
(再)青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施。	講師やプログラムの検討においては、ダンス専門部のニーズや時代からの要請を踏まえ、見直しを行っている。	478人	2019年8月7日、8日	青少年センター	講習内容アンケートで、「大変良かった」「良かった」が平均で93.3%であり、高い満足度を得ている。	重点施策5



IV 施策の実施状況一覧

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
(再)劇場体験インターン事業の実施	公演制作インターンを実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	3人	2019年9月11日～10月20日、2020年1月12日～18日	県民ホール本館等		重点施策5
(再)学校演劇交流フェスティバル	学校演劇における創作のスキルアップを目的にした試演とワークショップを実施した。	演劇シーンの第一線で活躍する劇作家、演出家等を講師に活用した。	中学生、高校生、一般253人	2019年9月22日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートによると、「とても良い」「良い」が90.3%と高く評価されている。	重点施策5
(再)大学等と連携した人材養成プログラムの実施	東京音楽大学と連携して講義や実習等により公演制作に関わる人材育成を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施している	17人	2019年10月26日、2020年1月18日、2月10日	県民ホール本館	—	重点施策5
(再)劇場運営マネジメントプロフェッショナル人材養成講座	文化施設の利用窓口担当者を対象とする講座。ユニバーサルデザインやバリアフリーに関する講座と、業務のスキルアップを図る講座の二つのシリーズから成る。	概念を学ぶ場ではなく、翌日から現場で使える知識を得る内容とする。	27人	2019年11月8日、2020年2月4日	県民ホール本館等	県民ホールのサイト「神奈川県民ホールの取り組み」において、H28年度から継続して講座内容を紹介	重点施策5
(再)広報・制作インターン	約3か月間の主催事業の実施の中で広報と制作を学ぶ。	大型の公演が続く、年末から2月末にかけて実施し、制作や広報の機会を多く準備した。	5人	2019年12月18日～2020年2月26日	音楽堂ほか	—	重点施策5
(再)演劇指導者のための実践的ワークショップ	中学校・高等学校の演劇部指導者、演劇部等の指導的立場にある生徒等を対象に、音響、照明、舞台のノウハウを学ぶための実践的なワークショップを実施した。	中・高とも発表会（県大会）の会場である紅葉坂ホールの機材、道具を実際に使用し、舞台、照明、音響の基礎的な部分から実践的な内容の講習を行った。	28人	2020年1月13日	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、道具の使い方やホールの機器を使用できたことに評価があったほか、時間が足りないとの声もあった。	重点施策5
<b>イ 運営方法の点検等</b>							
<b>施設利用者を対象としたアンケート調査の実施</b>							
利用者満足度調査	指定管理者に対して、県の行政管理課が定める「指定管理者制度の運用に関する指針」等に基づき、協定書に定めた利用者満足度調査を実施した。	—	—	年2回	—	—	
<b>施設運営会議等による施設運営や実施事業の点検・検証</b>							
神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会	3館一体による効率的な運営が行われているか、チェックするため、公募委員を含む6名により指定管理者が行う自主事業公演のモニタリングを行い、その内容について年1回会議を開催した。	—	—	2020年8月8日 モニタリング：18公演（のべ34回）	県民ホール本館 セントラルルーム	—	
<b>施設運営全般についてのモニタリングの実施</b>							
行政によるモニタリング	指定管理者に対して、県の行政管理課が定める「指定管理者制度の運用に関する指針」等に基づくモニタリングを実施した。	—	—	月例報告書の確認：毎月 モニタリング結果報告書作成：年1回	—	—	

IV 施策の実施状況一覧

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>(3) 情報通信技術の活用</b>							
<b>ア 情報の発信</b>							
<b>ホームページ、SNS、ポータルサイト、電子メールを活用した文化芸術情報の提供の強化</b>							
(再)マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内のイベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成し、ツイッター等のSNSにおいても情報発信を行った。	イベント掲載数を増やしたほか、特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。 訪日外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	PV（ページビュー）数 398,712	通年	—	—	重点施策5
(再)神奈川近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミックとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展覧会紹介、資料紹介等に加え、誕生日命日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供している。	ホームページアクセス数：260,988件 上記のうち、蔵書検索アクセス数：74,701件	通年	神奈川近代文学館ホームページ及びSNS	Twitterフォロワー数が647人増となった。	重点施策5
(再)県立近代美術館における情報提供の実施	プレスリリースを報道関係者にメールで配信した。また、Twitter上で美術館の日々の活動を発信した。	各々の電子媒体によって、対象に合わせた内容を発信した。	メール配信数：9回 Twitter発信数：227回	通年	—	—	重点施策5
(再)県立歴史博物館における情報提供の実施	HP（Twitter含む）を活用した情報提供や刊行物、マスメディア（紙・電波媒体、ネット）による情報発信を行った。	限られた予算の中、無料掲載可能な県の広報媒体や外部WEB媒体への広報依頼、新聞社等マスメディアの取材を誘引するためのきめ細やかな情報の提供に努めた。	804件 【内訳】 Twitter：344件 特別展等チラシ・ポスター：12件 催し物のお知らせ：6件 その他：442件	通年	—	—	重点施策5
(再)観光かながわNOW情報発信事業	ホームページ等により、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報を発信した。	美術館等の位置を分かりやすく示した観光マップ（クリックブル）を掲載する。トップページにて、イベント情報を発信する他、文化芸術イベントの公演情報等の詳細を発信する「マグカル・ドット・ネット」と「観光かながわNOWをリンクさせる。	「観光かながわNOW」令和元年度ページビュー8,736,681 PV	通年	観光かながわNOW	—	
外国語観光情報ウェブサイト多言語化・運用管理等業務	外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip -Kanagawa Travel Info-」から、文化課の「Magcul.net」にリンクを設置している。	「Tokyo Day Trip」と「Magcul.net」の双方が多言語化されているため、言語別にリンク先のURLを切り替えている。	—	通年	—	—	
<b>保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用</b>							
県立金沢文庫における「国宝金沢文庫文書データベース」の公開	県立金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の画像を、PCやスマートフォンで検索・閲覧できるデータベースを公開した。	古文書の表と裏の両面を高精細画像で公開し、画像どおりの行取りで活字化した本文を表示した。	アクセス件数：878件	通年	—	—	
<b>イ 利便性の向上</b>							
<b>施設利用予約システムの運用</b>							
施設予約システムの運用	公共施設利用予約の共同運営を実現するための神奈川電子自治体共同運営サービスを県と市町村が共同して提供する。	原則24時間どこからでもインターネットを通じて、県内公共施設の空き状況の照会や予約申込を行えるようにすることで、県民の利便性を向上させるとともに、職員側の施設予約管理に関する事務処理の効率化を図る。	令和元年度利用件数 936,836件（県のみ）  （内訳） ・抽選申込数 786,831件 ・内希望調整申込件数 3,125件 ・予約申込数 150,005件	通年	—	—	

IV 施策の実施状況一覧

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2019（令和元）年度実績							重点施策 の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>ウ 文化芸術にかかわる資料、作品、情報等の保存</b>							
<b>県立文化施設における収蔵資料等のデジタル化、データベース化の推進</b>							
神奈川近代文学館における所蔵資料のデータベース化	所蔵資料（図書、雑誌、特別資料）のデータベース化は、利用者の利便性向上のために重要であることから、当年度もインターネット公開を進めた。	独自の入力項目等により、近代文学の専門館としてのデータ水準を維持している。	特別資料検索利用登録者：124人 （累計：2,269人）	通年	神奈川近代文学館	本年度の図書、雑誌、特別資料を合わせた電算化入力件数は18,622冊（件）となり、累計は1,229,356冊（件）となった。 特別資料（原稿、自筆資料、書簡など）に関しては、累計約22万8千点のデータがインターネットで検索可能となった。	
県立近代美術館における収蔵資料等のアーカイブ事業	開館以来の活動により蓄積された貴重な記録資料の整理・保存並びに提供ができる環境を整備した。	アーカイブ化した資料はインターネット上で公開を行っている。	公開件数：1,237件	通年	—	—	
県立歴史博物館における博物館情報システムデータ整備	収蔵資料のデータベース化を推進した。	—	登録件数：11,193件	通年	—	—	
<b>エ 東京2020大会を契機とした取組</b>							
<b>多言語による情報提供</b>							
(再)イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「Magcal・イベントカレンダー」を作成した。	毎号特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数56万部（各号14万部）	年4回発行 5～7月号 8～10月号 11～1月号 2～4月号	関東圏の文化施設、駅、劇場、ホテル等で配布	—	重点施策 4、5
外国籍県民情報提供推進事業	①多言語情報紙「こんにちは神奈川」を作成した。 ②多言語による県民情報を提供した。	記事や発行趣旨に合ったイラストを盛り込み、より適切な表現になるよう多言語の翻訳チェックを行い、外国籍県民等が手に取りやすい紙面の作成をしている。	6言語（日本語併記） 1回当たり20,300部発行 A4版4ページ。	①8月、11月、3月の年3回の発行 ②年間随時	①県機関、市町村、都道府県、国際関係協会・センター、医療機関等約800箇所 ②ホームページ上	—	重点施策 4、5
(再)Cultural Programs in Kanagawa 2019-2020	国内観光客及び訪日観光客向けに、県内の魅力的な文化芸術コンテンツやラグビーワールドカップ2019の特集を掲載した日英併記の冊子を作成した。	ラグビーワールドカップ2019の特集を入れることで、ラグビーファンにも留まりやすくなった。また、旅行者が持ち帰りたくなるよう、表紙に厚く高級感のある紙を使用した。	発行部数3万部	8月（年1回発行）	空港、駅、外国人向け観光案内所、ホテル等で配布	—	重点施策 4、5
(再)外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip -Kanagawa Travel Info-」多言語化・運用管理等業務	外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip -Kanagawa Travel Info-」から、文化課の「Magcul.net」にリンクを設置している。	「Tokyo Day Trip」と「Magcul.net」の双方が多言語化されているため、言語別にリンク先のURLを切り替えている。	—	通年	—	—	
<b>(4) 文化芸術活動に対する支援の促進</b>							
<b>寄附税制等に関する周知</b>							
かながわキントロウ寄附金（ふるさと納税）	県のふるさと納税の寄附メニューに文化事業のメニューとして「あらゆる人が文化芸術に触れ笑顔になれる社会を！」を追加した。	—	—	通年	—	寄附総額 5,250,000円 66人 1団体	

IV 施策の実施状況一覧

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

2019（令和元）年度実績							重点施策の該当
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策
<b>文化芸術団体への寄附の促進</b>							
神奈川芸術文化財団への寄附の促進	神奈川芸術文化財団HPに掲載するほか、賛助会員やその他法人・団体への寄附依頼時にパンフレットにて周知した。	オンライン決済システム「CANPAN」を導入したことで、「音楽堂開館65周年記念寄附」をはじめとする、3館の個別公演・施設運営への寄付・広報媒体への広告出稿など、幅広い支援の働きかけができるようになった。	賛助会員数 法人：51社 個人：15名	通年	—	音楽堂開館65周年記念寄附：50件 広告協力：4社 チケット購入協賛：2社 など	
神奈川音楽堂リニューアルオープン・開館65周年記念寄付金	《すべての人のための音楽堂》とし、多様な方々が音楽を楽しめる場の整備のための寄付金を募った。	一口1000円からとし、クラウドファンディングを活用し、ホームページへの芳名掲載、改修工事で取外された建築資材を活用した記念品を贈呈。	50者	2019年6月1日～ 2020年3月31日	音楽堂	1,015,000円	
神奈川近代文学館への寄附の促進	神奈川近代文学館「友の会」は、近代文学館を積極的に利用していただく方に向けて、入館料無料、行事や刊行物の会員価格割引、会員限定行事の開催など、さまざまな事業を行っている。	—	会員数：1,052人	—	—	会員数は前年度とほぼ同数で、7年連続で900人以上（6年連続で1000人前後）を維持することができた。	
神奈川近代文学館への寄附の促進	「神奈川近代文学館を支援する会」は、法人、団体、事業主または個人を対象に近代文学館の広報や支援に協力いただくとともに寄付による税額控除を行っている。	—	会員数：111人 133口	—	—	会員による支援によって、近代文学館の事業が充実するとともに、広報活動を幅広く行うことができた。	
<b>メセナ企業等に関する情報の提供</b>							
(再)マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内のイベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成し、ツイッター等のSNSにおいても情報発信を行った。	イベント掲載数を増やしたほか、特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。訪日外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	PV（ページビュー）数 398,712	通年	—	—	
企業メセナ協議会の相談窓口	「助成認定制度」の相談窓口として周知や積極的な活用を促進	県民ホールの入り口にプレートを設置。パンフレットの設置等。	—	通年	—	公益財団法人企業メセナ協議会の準会員として、報告会等に参加し、情報収集を行う。	
<b>メセナ企業と芸術家とを結びつける方策の検討</b>							
2019年度は実施しませんでした。							
<b>(5) 顕彰の実施</b>							
<b>神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施</b>							
(再)神奈川文化賞・未来賞表彰事業	神奈川県在住、在職又は神奈川に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を贈呈した。2001年度に、神奈川文化賞の第50回を記念し、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に贈呈するために「未来賞」を創設し、贈呈した。	神奈川フィルによる祝賀演奏を実施し、入場無料で一般観覧者を募ることで、県全体として功績を称える雰囲気醸成した。また、県民に対し、文化に触れる機会を提供した。	観覧者1,288人	2019年11月3日	県民ホール本館	受賞者 神奈川文化賞4人、未来賞2人	

#### IV 施策の実施状況一覧

##### ※ 開催の中止を決定した文化イベント一覧

新型コロナウイルスの感染防止のため、開催の中止を決定した文化イベント(神奈川県又は県指定管理者が主催するもの)

開催日	イベント名	開催場所
2月27日(木)～3月31日(日)	浮世絵カフェ	神奈川県民ホール6F 英一番館内
2月29日(土)	パントマイム シルヴブレ 結成二十周年アニヴァーサリー公演『廿・春いちヴァン ーふりかえれヴァン』	県民共済みらいホール
	寄宿生活塾 はじめ塾×東京デスロック『Anti Human EducationⅡ～TEENS Edit.～』	県立青少年センター
	開館65周年記念 音楽堂室内オペラ・プロジェクト ヘンデル『シツラ』全3幕 ファビオ・ピオンディ指揮 エウローパ・ガラランテ	県立音楽堂
	開館65周年記念 音楽堂室内オペラ・プロジェクト バロック・オペラ ヘンデル『シツラ』関連企画 前川建築見学ツアー in 音楽堂	県立音楽堂
	獅子文六展記念イベント トークとライブ 牧村健一郎×曾我部恵一 「発見・昭和の大衆モダン文学ー獅子文六という作家を 知っていますか？」	神奈川近代文学館
3月1日(日)	パントマイム シルヴブレ 結成二十周年アニヴァーサリー公演『廿・春いちヴァン ーBest Vingt』	県民共済みらいホール
	綾瀬シニア劇団「もろみ糍座」 vol.2『ヤァーッ！2020』	綾瀬市オーエンス文化会館
	寄宿生活塾 はじめ塾×東京デスロック『Anti Human EducationⅡ～TEENS Edit.～』	県立青少年センター
	避難体験 in KAAT 《寄席》	KAAT神奈川芸術劇場
	開館65周年記念 音楽堂室内オペラ・プロジェクト ヘンデル『シツラ』全3幕 ファビオ・ピオンディ指揮 エウローパ・ガラランテ	県立音楽堂
3月3日(火)	チャレンジ・オブ・ザ・シルバー	県民共済みらいホール
	神奈川フィル公開リハーサル	かながわアートホール
3月4日(水)	マグカルナイト	ヨコハマスリーエス
	神奈川フィル公開リハーサル	かながわアートホール
3月5日(木)	神奈川フィル公開リハーサル	かながわアートホール
3月6日(金)	オフィスマウンテンpresents 「観る人やる人みんなが主役フェスティバル」	県立青少年センター



IV 施策の実施状況一覧

開催日	イベント名	開催場所
3月7日(土)	横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」旗揚げ公演『黒船がやって来た!』	県民共済みらいホール
	オフィスマウンテンpresents「観る人やる人みんなが主役フェスティバル」	県立青少年センター
	第104回舞台芸術講座 オルガン「フーガの技法」～謎と魅力～	神奈川県民ホール
3月8日(日)	マグカル開放区	日本大通り
	逗子開成高等学校演劇部リーディング公演「或る日の一休」(武者小路実篤作)	神奈川県庁本庁舎 3F 大会議場
	かながわ伝統芸能祭「地芝居2020」	県立青少年センター
3月10日(火)	チャレンジ・オブ・ザ・シルバー	神奈川県住宅供給公社ビル
	劇場運営マネジメント講座 第6回「トラブルに発展させないクレーム対応術 実践編」	神奈川県民ホール
3月11日(水)	マグカルナイト	ヨコハマスリーエス
3月12日(木)	神奈川県民ホール「避難訓練コンサート」	神奈川県民ホール
3月14日(土)	綾瀬シニア劇団「もろみ糍座」vol.2『ヤーヤーッ!2020』	県民共済みらいホール
3月15日(日)	綾瀬シニア劇団「もろみ糍座」vol.2『ヤーヤーッ!2020』	県民共済みらいホール
	かながわミュージカルアワード2020	県立青少年センター
	マグカル開放区	日本大通り
	DVD鑑賞会	かながわアートホール
3月16日(月)～3月31日(火)	展示室及び閲覧室	神奈川近代文学館
3月18日(水)	マグカルナイト	ヨコハマスリーエス
	KAAT×YNU 教育普及講座「芝居の大学 公開講座 第Ⅱ期-移動型公共劇場はいかにして可能か」第2回	KAAT神奈川芸術劇場
3月20日(金・祝)～3月31日(火)	特別展「大岡昇平の世界展」	神奈川近代文学館
3月20日(金・祝)	かながわ短編演劇アワード2020 戯曲コンペティション公開審査会 ※無観客LIVE配信	KAAT神奈川芸術劇場
	かながわ短編演劇アワード2020 演劇コンペティションAブロック	KAAT神奈川芸術劇場
	青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス 映像編	県立青少年センター
	能楽ワークショップ	県立青少年センター
	「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」ワークショップ	県民共済みらいホール
	「マグカル開放区」×「ヨコスカ街なかミュージック」	よこすか海岸通り
	音楽堂アフタヌーン・コンサート ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット 同時開催：前川建築見学ツアーin音楽堂	県立音楽堂
松山バレエ団 新『白鳥の湖』全4幕	神奈川県民ホール	

IV 施策の実施状況一覧

開催日	イベント名	開催場所
3月21日(土)	日本フィルハーモニー交響楽団公開リハーサル	かながわアートホール
	かながわ短編演劇アワード2020 演劇コンペティションBブロック	KAAT神奈川芸術劇場
	「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」成果発表	県民共済みらいホール
	舞台芸術講座 チェンバロの魅力Ⅶ Mélanger ～ 混ぜる	神奈川県民ホール
3月22日(日)	かながわ短編演劇アワード2020 演劇コンペティションA・Bブロック 演劇コンペティション公開審査会 ※無観客LIVE配信	KAAT神奈川芸術劇場
	青少年の舞台表現のための スキルアップクラス 舞台美術編	県立青少年センター
	「共生共創事業」シンポジウム	県民共済みらいホール
	マグカル開放区	日本大通り
3月25日(水)	マグカルナイト	ヨコハマスリーエス
	KAAT×YNU 教育普及講座 「芝居の大学 公開講座 第Ⅱ期-移動型公共劇場はいかにして可能か」第3回	KAAT神奈川芸術劇場
3月26日(木) ～ 3月31日(火)	マグカルハイスクール演劇フェスタ 横浜市高等学校春季演劇発表会 (春季演劇フェスティバル)	県立青少年センター
3月26日(木)	青少年の舞台表現のための スキルアップクラス ダンス編	茅ヶ崎市総合体育館
	かなぶんキッズクラブ「子ども映画会」	神奈川近代文学館
3月27日(金)	青少年の舞台表現のための スキルアップクラス ダンス編	茅ヶ崎市総合体育館
	オルガン・プロムナード・コンサート vol. 378	神奈川県民ホール
3月28日(土)	かなぶん寄席 神田蘭講談会	神奈川近代文学館
3月29日(日)	KAAT神奈川芸術劇場芸術監督トーク 『SHIRAI's CAFE』 シライズカフェ Vol. 9	KAAT神奈川芸術劇場
3月31日(火)	かなぶんキッズクラブ「紙芝居がはじまるよ！」	神奈川近代文学館

## V 進行管理のための参考指標等

### 1 総合計画「かながわグランドデザイン」における文化芸術の位置付け

総合計画は、県政運営の総合的・基本的指針として、神奈川の将来のあるべきすがたを描き、それに向けて県がどのような政策を展開するのか、県民の皆さんにお示しするものです。

県では、2012年に「かながわグランドデザイン基本構想」及び「かながわグランドデザイン実施計画」を策定するとともに、2015年には「かながわグランドデザイン第2期実施計画」を策定し、様々な課題への対応を着実に進めてきました。

そして、2018年度に「第2期実施計画」が最終年度を迎えたことから、2025年を年次目標とした「基本構想」の実現に向けて、2019～2022年度の4年間に取り組む政策を示した「第3期実施計画」を策定しました。

第3期実施計画においては、5つの「めざすべき姿」を掲げ、重点施策を分野横断的にとりまとめた23のプロジェクトなどに着実に取り組むこととしています。文化芸術は「ひとのチカラを最大限に生かす神奈川」の実現を目指す柱Ⅳ「ひとのチカラ」のプロジェクト15「文化芸術～文化芸術の魅力で人を引きつけ、心豊かで活力ある地域の実現～」として位置付けられています。

また、超高齢社会や人口減少社会への対応など非常に大きな課題を乗り越えるために、プロジェクトをさらに複合的に実施する取組みを「神奈川の戦略」として8つの戦略をまとめており、神奈川の戦略6「マグネット・カルチャーの推進」として、文化芸術だけでなく各関連分野が有機的な連携を図りながら、「マグカル」の取組みを推進することとしています。

なお、総合計画を補完する個別計画として「かながわ文化芸術振興計画」が位置付けられています。

#### プロジェクト15 文化芸術～文化芸術の魅力で人を引きつけ、心豊かで活力ある地域の実現～

文化芸術により真にゆとりと潤いを実感できる心豊かな県民生活と、活力に満ちた地域づくりの実現が求められています。特に、東京2020大会に向け、伝統芸能を含む文化芸術により地域のにぎわいを創出するとともに、その成果をレガシーとして、大会後もコミュニティの再生・活性化に生かしていくことが必要です。そこで、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグカル（マグネット・カルチャー）の取組みのさらなる展開を図るとともに、笑いがある社会の実現を後押しします。また、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで、あらゆる人の文化芸術活動の充実を図ることで、共生社会づくりに寄与するとともに、心豊かな県民生活の実現に向けて取り組みます。

#### 指標

○ 県文化芸術事業参加者数

2018年度	1,514,142人
2019年度	1,590,900人
2022年度(目標値)	1,694,000人

○ 神奈川県民ホール、神奈川芸術劇場、県立音楽堂、かながわアートホール及び神奈川近代文学館の利用者満足度

2018年度	97%
2019年度	97%
2022年度(目標値)	97%

## V 進行管理のための参考指標等

### 具体的な取組

#### A 県民の文化芸術活動の充実

- 県内各地域の伝統的な文化芸術を次代に継承していくため、市町村との連携による地域の伝統芸能の発表の場を設け、県内外に発信していくとともに、技術・技能の継承者の育成に取り組みます。
- 年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで、あらゆる人が文化芸術に親しめるよう、鑑賞・参加機会を確保するとともに、年齢や障がいなどで異なる鑑賞・参加の手法などを整理し、文化芸術を通じた共生社会実現の環境づくりを進めます。
- 神奈川の文化芸術の将来を担う人材を輩出するため、県立施設などにおいて、あらゆる人を対象とした鑑賞事業、体験事業を実施していきます。特に、県立青少年センターではマグカルシアターなどの取組みを軸として舞台芸術の裾野を広げるとともに、神奈川芸術劇場では国際的に通用する人材を育成する取組みを推進します。

KPI（重要業績評価指標）	年度	目標値	実績値	進捗率
① 伝統芸能の体験・ワークショップ等の回数(回)	2018		12	
	<b>2019</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>92.3%</b>
	2020	13	—	—
	2021	14	—	—
	2022	14	—	—
② 共生共創事業の公演等の参加者数(人)	2018		2,532	
	<b>2019</b>	<b>5,000</b>	<b>6,947</b>	<b>138.9%</b>
	2020	5,400	—	—
	2021	5,700	—	—
	2022	6,000	—	—
③ マグカルシアター等参加者数(人)	2018		6,572	
	<b>2019</b>	<b>10,000</b>	<b>7,252</b>	<b>72.5%</b>
	2020	10,200		
	2021	10,400		
	2022	10,500		

## V 進行管理のための参考指標等

### B 文化資源を活用した地域づくりの推進

- 文化資源を活用した地域づくりを進めるため、文化芸術の魅力を発信する文化プログラムについて、官民一体となったオール神奈川による展開と定着を図ります。特に東京2020大会を契機に、インバウンドも意識した展開を図り、その後もレガシーとして地域の継続的な活性化につなげます。
- 県内の文化資源の発掘に努め、その具体的な活用を進めます。また、地域の活性化などに活用可能な文化資源については、市町村、文化芸術団体、芸術家などとの連携により有効活用を図ります。

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 神奈川文化プログラム認証件数(件)	2018		425	
	<b>2019</b>	<b>430</b>	<b>497</b>	<b>115.6%</b>
	2020	460	—	—
	2021	460	—	—
	2022	460	—	—
② 県文化芸術振興審議会が選定した質の高い文化芸術活動を行う非営利活動団体数(団体)	2018		36	
	<b>2019</b>	<b>37</b>	<b>38</b>	<b>102.7%</b>
	2020	38	—	—
	2021	39	—	—
	2022	40	—	—

### C 文化芸術の振興を図るための環境整備

- 地域からの持続的な文化芸術の振興が図られるよう、市町村との会議による情報交換や、市町村や文化芸術団体と協力した事業の実施や人材育成の支援に取り組めます。
- 県内外にマグカルファンが広がるよう、芸術・文化イベントなどの情報を一元的に発信するポータルサイトである「マグカル・ドット・ネット」による情報発信や情報誌を発行するなど、情報発信の強化に取り組むとともに、ホームページや情報誌などでの多言語による情報提供を推進します。

KPI(重要業績評価指標)	年度	目標値	実績値	進捗率
① 県立文化施設で育成した文化芸術を担う人材数(計画期間中の累計)(人)	2018		—	
	<b>2019</b>	<b>145</b>	<b>66</b>	<b>45.5%</b>
	2020	290	—	—
	2021	435	—	—
	2022	580	—	—
② 「マグカル・ドット・ネット」のページビュー数(PV)	2018		357,231	
	<b>2019</b>	<b>364,600</b>	<b>398,712</b>	<b>109.4%</b>
	2020	372,200	—	—
	2021	379,800	—	—
	2022	387,400	—	—



## V 進行管理のための参考指標等

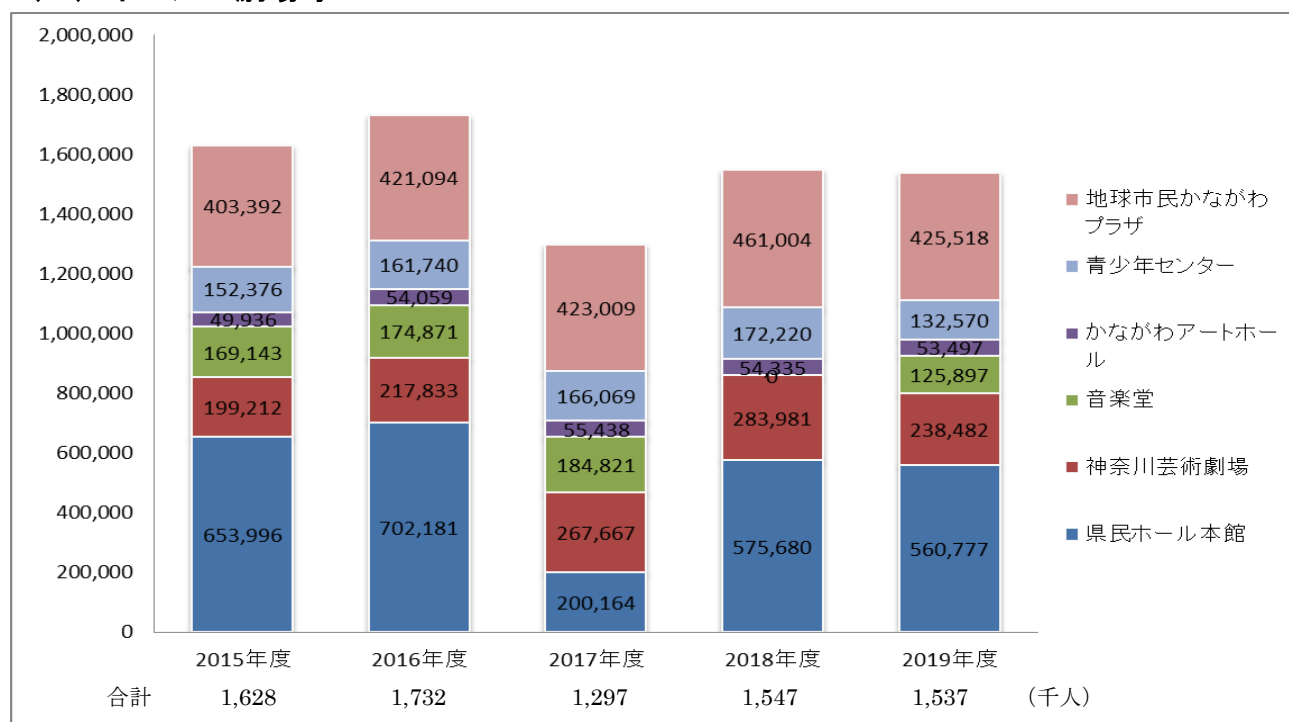
### SDGsとの関係について

「第3期実施計画」では23のプロジェクトとSDGsの17のゴールとの関連を分析し、整理しています。プロジェクト15「文化芸術」は、ゴール3「すべての人に健康と福祉を」、ゴール4「質の高い教育をみんなに」、ゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」に関連しています。



## 2 県立文化施設の利用者数

### (1) ホール・劇場等



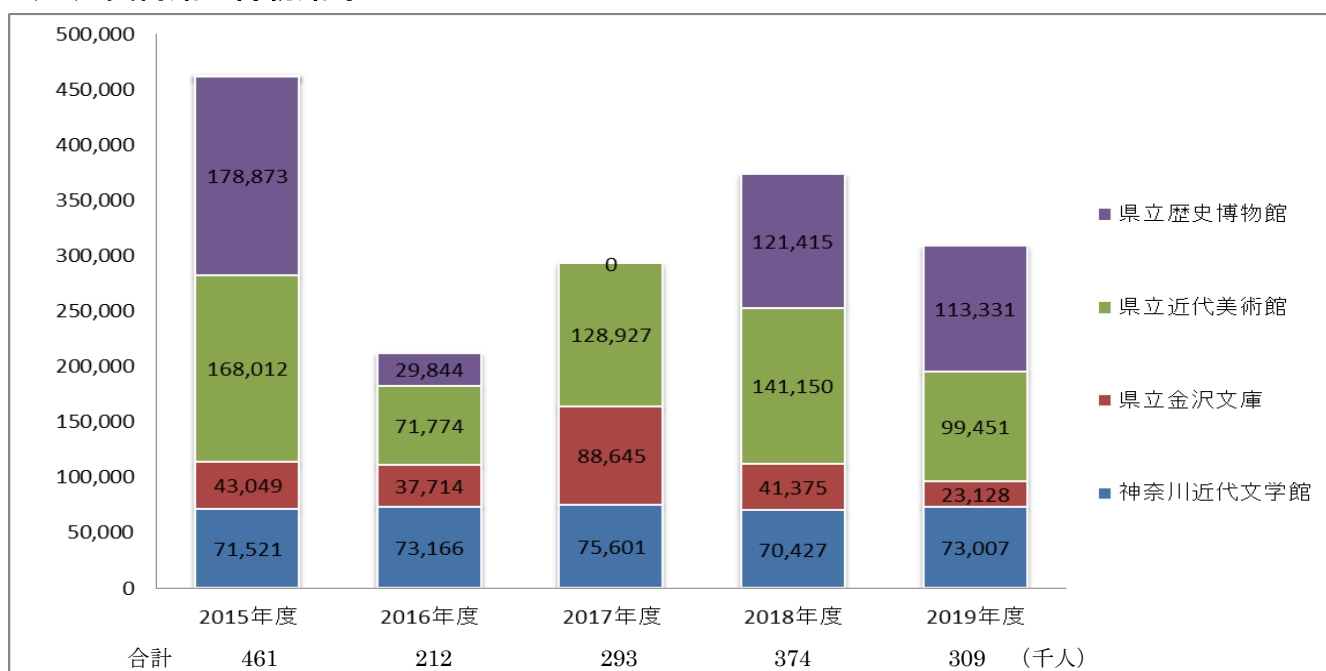
### ○休館期間

県民ホール本館：2013年12月2日から2014年9月30日、  
2017年7月3日から2018年3月31日、  
2018年4月1日から2018年5月31日（大ホールのみ）

音楽堂：2018年4月1日から2019年3月31日

## V 進行管理のための参考指標等

### (2) 美術館・博物館等



○県立近代美術館：葉山館、鎌倉別館、鎌倉館（2016年3月31日閉館）のこと

○休館期間等

県立金沢文庫：2019年11月18日から2020年3月26日

県立近代美術館

鎌倉館：2016年2月1日から3月31日

鎌倉別館：2016年2月1日から7月29日、

2016年12月26日から2017年3月31日

2017年9月4日から2019年10月11日

葉山館：2020年1月から6月（展示休止）

県立歴史博物館：2016年6月1日から2018年4月27日

## 3 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度

### (1) 全県

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

質問項目	生活重要度		生活満足度	
	重要	重要でない	満たされている	満たされていない
文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	48.4%	14.4%	26.4%	19.5%
自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	71.9%	5.1%	17.5%	33.6%
自然や歴史・文化、景観など地域の特性を生かしたまちづくりが行われること	65.8%	4.9%	19.1%	16.7%

(2019年度年度県民ニーズ調査)

V 進行管理のための参考指標等

3 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度

(2) 地域別

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

重要性に関する意識

(人、%) 満足度

(人、%)

【生活重要度】文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること

【生活満足度】文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること

居住地域別	全 体	非 常 に 重 要 で あ る	か な り 重 要 で あ る	ど ち ら と も い え な い	さ ほ ど 重 要 で は な い	ま つ た く 重 要 で は な い	わ か ら な い	無 回 答	上段：実数 下段：%		
									人	%	
全 体	1,385	163	508	444	177	22	38	33	1,385	11.8	
横 浜	512	72	194	157	60	10	11	8	512	14.1	
川 崎	171	26	66	44	22	2	6	5	171	15.2	
相模原	102	9	37	38	13	-	2	3	102	8.8	
横須賀三浦	122	9	54	32	21	2	4	-	122	7.4	
県 央	115	12	35	41	21	3	2	1	115	10.4	
湘 南	183	20	61	70	19	5	6	2	183	10.9	
県 西	59	4	20	22	9	-	3	1	59	6.8	
無回答	121	11	41	40	12	-	4	13	121	9.1	
性 別	全 体	1,385	163	508	444	177	22	38	33	1,385	11.8
男 性	550	70	187	172	82	16	15	8	550	12.7	
女 性	710	81	278	232	83	6	18	12	710	11.4	
無回答	125	12	43	40	12	-	5	13	125	9.6	
年 代 別	全 体	1,385	163	508	444	177	22	38	33	1,385	11.8
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	67	13	21	15	12	6	-	-	67	19.4	
30歳代	207	38	64	60	37	2	3	3	207	18.4	
40歳代	289	34	95	95	47	6	11	1	289	11.8	
50歳代	279	25	104	100	34	3	7	6	279	9.0	
60歳代	217	25	88	76	21	1	4	2	217	11.5	
70～74歳	107	10	44	39	8	1	4	1	107	9.3	
75歳以上	99	6	52	20	5	3	5	8	99	6.1	
無回答	120	12	40	39	13	-	4	12	120	10.0	

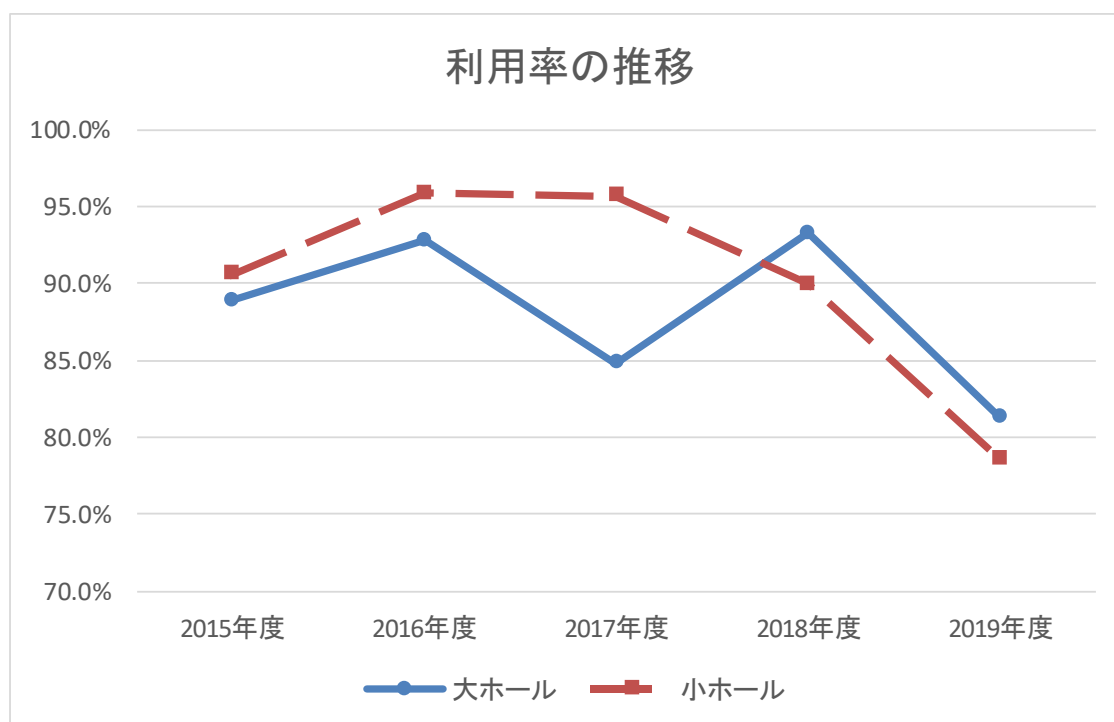
居住地域別	全 体	十 分 満 た さ れ て い る	か な り 満 た さ れ て い る	ど ち ら と も い え な い	い ま り 満 た さ れ て い な い	な い	ほ ん と ん ど 満 た さ れ て い な い	わ か ら な い	無 回 答	上段：実数 下段：%	
										人	%
全 体	1,385	37	329	556	214	56	144	49	1,385	2.7	
横 浜	512	22	142	184	82	19	43	17	512	4.3	
川 崎	171	7	50	56	20	4	24	7	171	4.1	
相模原	102	2	21	48	19	1	9	2	102	2.0	
横須賀三浦	122	2	25	58	16	4	15	2	122	1.6	
県 央	115	2	22	53	17	7	12	2	115	1.7	
湘 南	183	1	31	85	30	11	21	4	183	0.5	
県 西	59	-	10	28	8	5	7	1	59	-	
無回答	121	1	22	44	22	5	13	14	121	0.8	
性 別	全 体	1,385	37	329	556	214	56	144	49	1,385	2.7
男 性	550	18	102	246	90	26	51	16	550	3.3	
女 性	710	19	202	263	102	25	79	20	710	2.7	
無回答	125	-	24	47	22	5	14	13	125	-	
年 代 別	全 体	1,385	37	329	556	214	56	144	49	1,385	2.7
18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	67	4	18	21	8	6	10	-	67	6.0	
30歳代	207	9	55	73	30	10	25	5	207	4.3	
40歳代	289	14	81	107	34	12	37	4	289	4.8	
50歳代	279	6	57	122	48	10	26	10	279	2.2	
60歳代	217	1	50	100	39	5	16	6	217	0.5	
70～74歳	107	2	20	52	18	5	9	1	107	1.9	
75歳以上	99	-	21	37	15	3	7	10	99	-	
無回答	120	1	21	44	22	5	14	13	120	0.8	

## V 進行管理のための参考指標等

### 4 県立文化施設の利用率（ホール・劇場等）

#### （1）県民ホール本館

年度	利用状況	大ホール			小ホール		
		利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率
2015年度		333	296	88.9%	340	308	90.6%
2016年度		333	309	92.8%	340	326	95.9%
2017年度		92	78	84.8%	93	89	95.7%
2018年度		282	263	93.3%	339	305	90.0%
2019年度		337	274	81.3%	341	268	78.6%

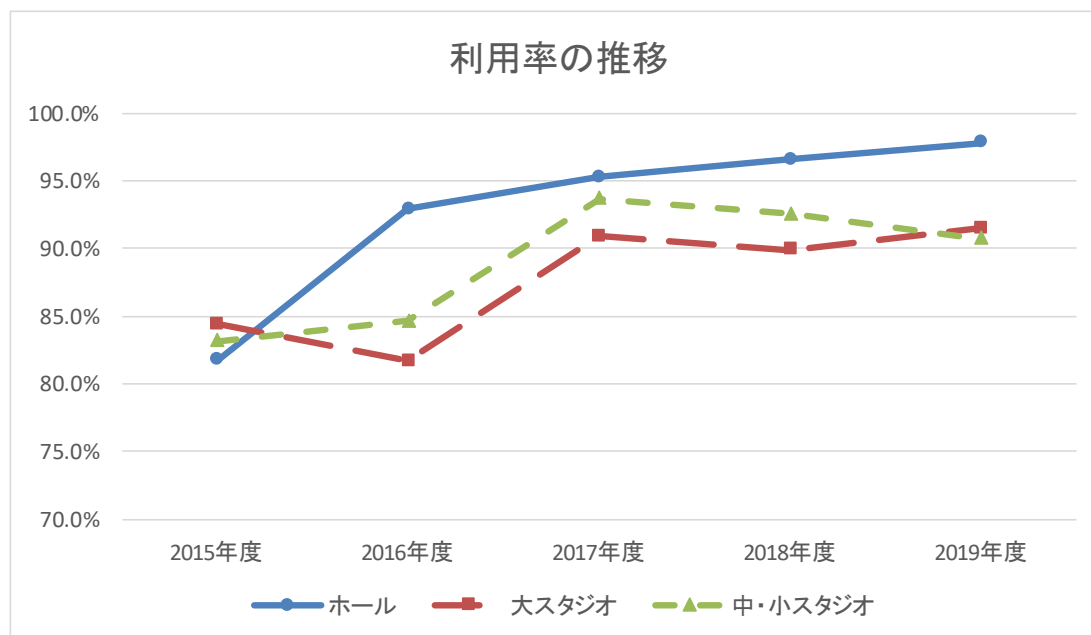


※ 2017年7月3日から2018年5月31日までの期間については、改修工事のため休館

## V 進行管理のための参考指標等

### (2) 神奈川芸術劇場

年度	ホール			大スタジオ			中・小スタジオ		
	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率
2015年度	317	259	81.7%	339	286	84.4%	356	296	83.1%
2016年度	323	300	92.9%	333	272	81.7%	351	297	84.6%
2017年度	315	300	95.2%	330	300	90.9%	349	327	93.7%
2018年度	319	308	96.6%	336	302	89.9%	349	323	92.6%
2019年度	317	310	97.8%	340	311	91.5%	345	313	90.7%

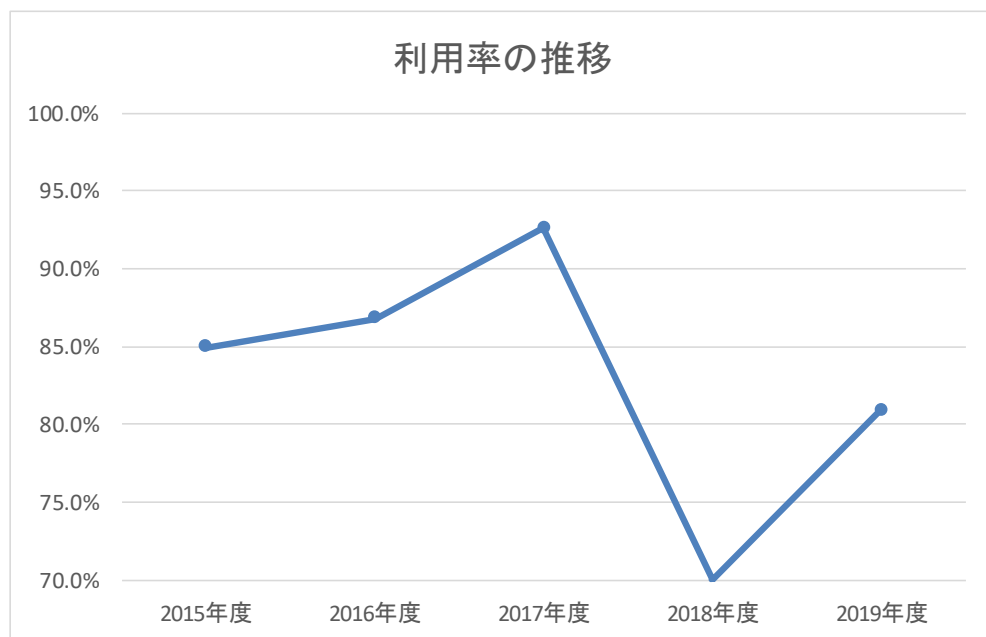




## V 進行管理のための参考指標等

### (3) 音楽堂

年度	利用状況	ホール		
		利用可能日数 (日)	利用日数 (日)	利用率
2015年度		299	254	84.9%
2016年度		295	256	86.8%
2017年度		297	275	92.6%
2018年度		-	-	70.0%
2019年度		246	199	80.9%

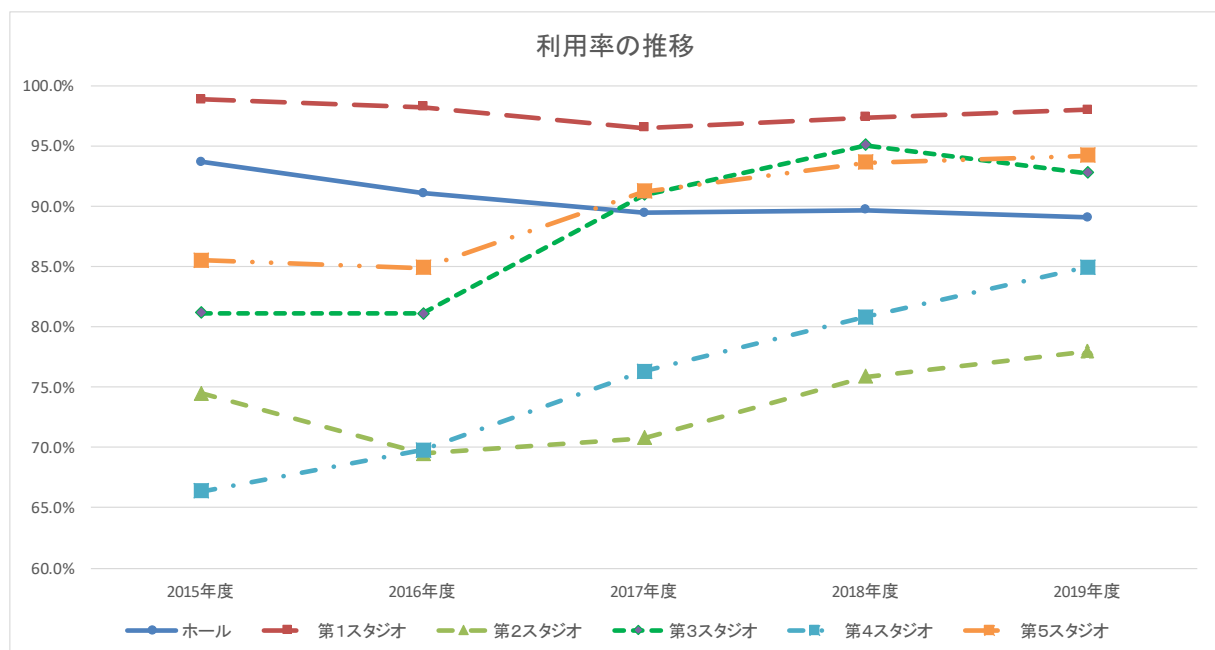


※ 2018年4月1日から2019年5月31日までの期間については、改修工事のため休館

## V 進行管理のための参考指標等

### (4) かながわアートホール

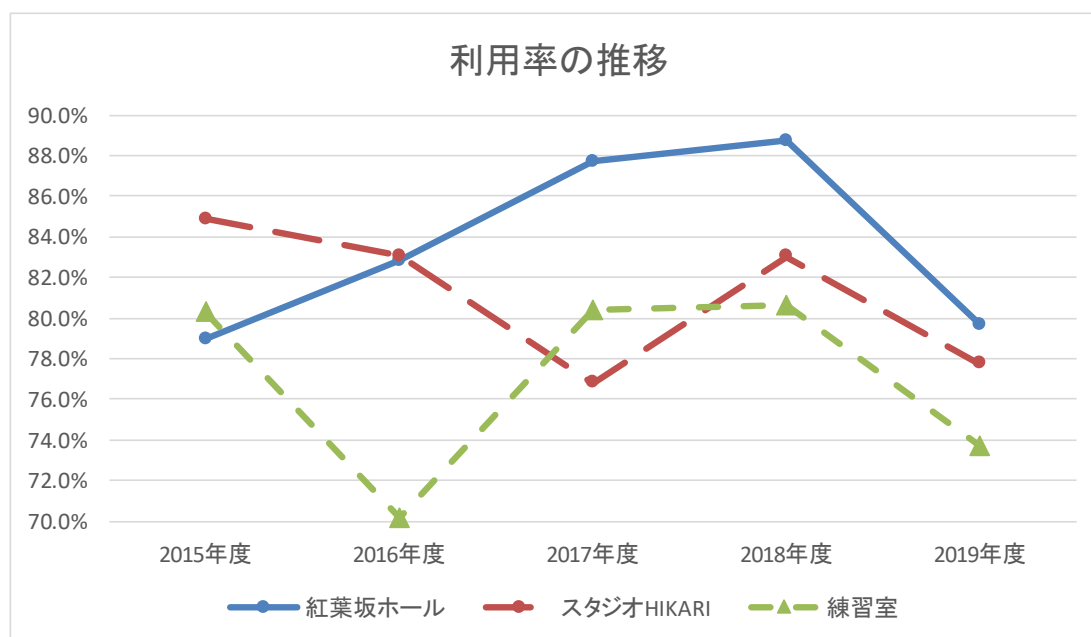
年度	ホール			第1スタジオ			第2スタジオ			第3スタジオ			第4スタジオ			第5スタジオ		
	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率
2015年度	332	311	93.7%	345	341	98.8%	345	257	74.5%	345	280	81.2%	345	229	66.4%	345	295	85.5%
2016年度	336	306	91.1%	344	338	98.3%	344	239	69.5%	344	279	81.1%	344	240	69.8%	344	292	84.9%
2017年度	332	297	89.5%	342	330	96.5%	342	242	70.8%	342	311	90.9%	342	261	76.3%	342	312	91.2%
2018年度	320	287	89.7%	344	335	97.4%	344	261	75.9%	344	327	95.1%	344	278	80.8%	344	322	93.6%
2019年度	338	301	89.1%	345	338	98.0%	345	269	78.0%	345	320	92.8%	345	293	84.9%	345	325	94.2%



## V 進行管理のための参考指標等

### (5) 青少年センター

年度	紅葉坂ホール			スタジオHIKARI			練習室		
	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率
2015年度	290	229	79.0%	317	269	84.9%	324	260	80.2%
2016年度	297	246	82.8%	325	270	83.1%	335	235	70.1%
2017年度	301	264	87.7%	323	248	76.8%	321	258	80.4%
2018年度	302	268	88.7%	306	254	83.0%	294	237	80.6%
2019年度	295	235	79.7%	328	255	77.7%	247	182	73.7%

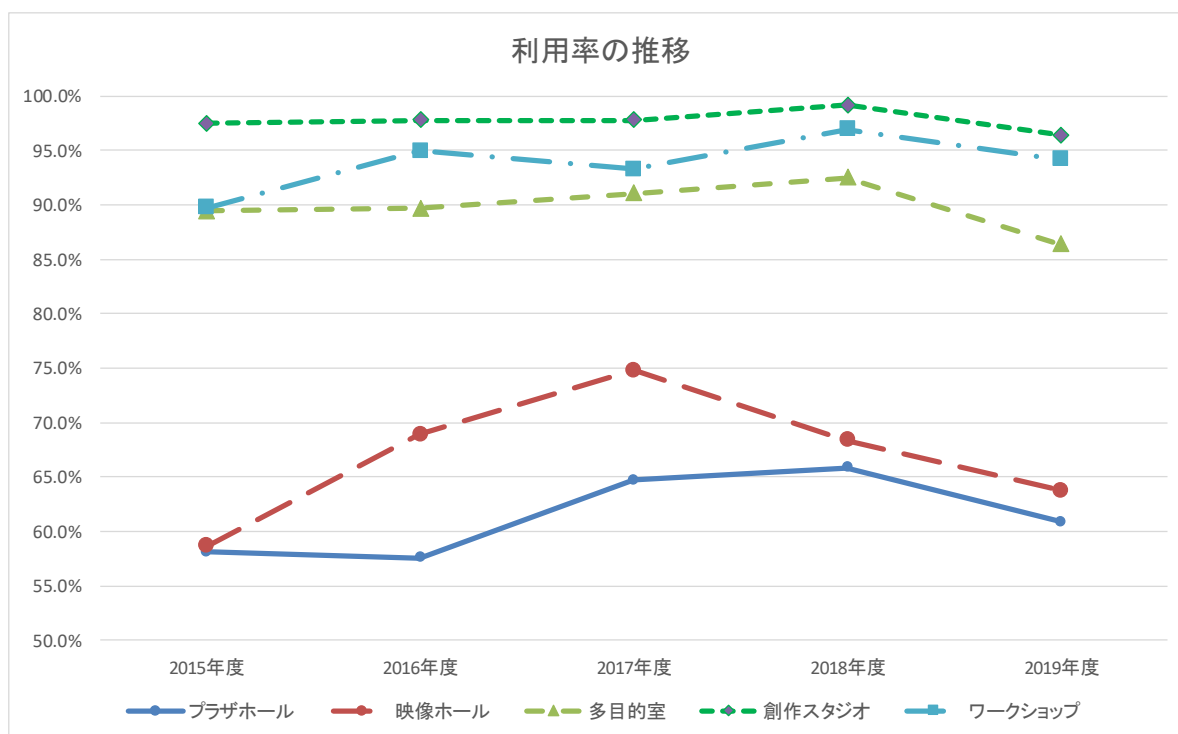


※ 多目的プラザを、2019年3月から、スタジオ「HIKARI」としてリニューアルオープン

## V 進行管理のための参考指標等

### (6) 地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）

利用状況 年度	プラザホール			映像ホール			多目的室			創作スタジオ			ワークショップ		
	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率
2015年度	339	197	58.1%	346	203	58.7%	360	322	89.4%	360	351	97.5%	360	323	89.7%
2016年度	342	197	57.6%	344	237	68.9%	359	322	89.7%	359	351	97.8%	359	341	95.0%
2017年度	340	220	64.7%	345	258	74.8%	359	327	91.1%	359	351	97.8%	359	335	93.3%
2018年度	340	224	65.9%	345	236	68.4%	359	332	92.5%	359	356	99.2%	359	348	96.9%
2019年度	340	207	60.9%	345	220	63.8%	360	311	86.4%	360	347	96.4%	360	339	94.2%



## V 進行管理のための参考指標等

### 5 過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合

都道府県	標本数	10歳以上 推定人口 (千人)	総数	スポーツ 観覧 (テレビ・ スマートフォン・ パソコン などは除く)	美術鑑賞 (テレビ・ スマートフォン・ パソコン などは除く)	演芸・演劇・ 舞踊鑑賞 (テレビ・ スマートフォン・ パソコン などは除く)	映画館での 映画鑑賞	映画館以外 での映画鑑賞 (テレビ・ DVD・ パソコンな ど)	音楽会 などによる クラシック 音楽鑑賞	音楽会 などによる ポピュラー 音楽・ 歌謡曲鑑賞	CD・ スマートフォ ンなどによる 音楽鑑賞	楽器の演奏
全国	179,297	113,300	87.0	21.5	19.4	14.5	39.6	52.1	10.1	13.7	49.0	10.9
北海道	4,860	4,756	85.2	24.6	14.6	10.8	31.0	49.7	8.7	12.6	47.5	9.1
青森県	3,472	1,152	80.7	16.1	12.8	9.2	27.0	47.3	6.6	9.3	41.3	7.4
岩手県	3,555	1,135	84.0	20.5	11.9	12.7	24.3	43.9	7.4	11.1	42.2	8.4
宮城県	3,586	2,091	86.7	26.4	18.3	13.2	38.2	52.5	9.4	14.0	50.0	10.6
秋田県	3,743	906	80.3	21.4	13.0	11.8	26.1	43.4	7.4	10.7	38.6	8.1
山形県	4,040	992	84.0	19.1	15.9	12.1	36.6	44.8	8.3	12.5	40.7	8.8
福島県	3,743	1,708	83.4	17.9	16.4	10.7	29.7	46.4	7.9	12.3	41.6	7.6
茨城県	3,678	2,604	87.5	18.8	16.8	11.5	40.2	51.1	8.8	13.3	47.9	9.3
栃木県	3,516	1,759	84.2	17.6	14.5	10.5	37.6	49.0	8.3	11.3	44.2	10.5
群馬県	3,449	1,754	86.3	18.2	16.2	12.8	36.2	49.1	8.6	12.3	45.2	10.1
埼玉県	5,965	6,555	89.3	20.8	18.9	15.6	44.7	55.6	11.3	15.6	53.0	11.7
千葉県	5,046	5,614	90.6	23.0	21.4	15.9	45.1	57.9	10.9	14.9	53.3	11.8
東京都	4,836	12,346	90.1	23.8	30.2	22.2	49.7	61.7	14.6	18.0	59.0	14.3
<b>神奈川県</b>	<b>5,351</b>	<b>8,216</b>	<b>90.1</b>	<b>25.3</b>	<b>23.2</b>	<b>16.8</b>	<b>47.4</b>	<b>58.4</b>	<b>13.8</b>	<b>16.7</b>	<b>56.4</b>	<b>13.8</b>
新潟県	3,774	2,044	83.3	16.8	18.0	9.9	33.9	46.0	7.7	11.7	42.5	8.5
富山県	3,871	949	87.0	20.0	24.2	14.3	40.3	49.5	9.9	13.5	45.0	10.5
石川県	3,472	1,016	88.0	20.0	23.2	14.4	39.4	50.3	10.2	12.1	45.7	9.3
福井県	3,978	693	85.4	15.9	17.7	10.6	37.2	47.0	9.5	12.7	42.9	8.9
山梨県	3,297	744	84.9	20.2	17.3	11.8	34.9	49.2	9.8	11.7	43.3	8.3
長野県	3,791	1,861	85.6	18.9	19.0	12.9	32.5	49.4	12.6	13.6	44.1	10.4
岐阜県	3,854	1,807	85.4	17.0	14.2	12.1	38.9	47.6	8.2	11.3	43.4	10.2
静岡県	3,827	3,294	86.6	17.5	16.8	11.4	35.0	48.8	8.5	13.1	44.2	10.0
愛知県	6,208	6,687	88.8	22.9	18.9	15.2	42.0	54.3	9.5	13.0	49.9	12.0
三重県	3,538	1,614	86.6	18.3	14.9	12.2	37.5	49.4	7.9	12.8	46.5	9.9
滋賀県	3,566	1,253	88.5	20.4	18.1	15.1	40.2	52.2	9.8	13.7	50.2	12.7
京都府	3,115	2,338	88.3	19.7	23.9	17.0	41.2	52.4	10.6	15.2	51.1	12.4
大阪府	5,197	7,923	86.6	20.8	18.7	16.7	43.0	52.8	9.6	13.6	50.1	10.0
兵庫県	4,940	4,935	87.2	22.5	18.7	16.0	38.9	50.2	11.1	15.0	47.8	12.0
奈良県	3,458	1,217	86.9	19.6	21.4	15.8	40.7	52.7	10.4	14.4	47.8	10.0
和歌山県	3,280	852	83.4	16.9	13.0	10.7	36.9	46.9	7.2	11.8	41.6	8.9
鳥取県	3,452	501	83.1	16.1	16.8	11.4	26.2	43.1	8.5	10.4	41.5	9.3
島根県	3,710	607	84.0	20.3	17.0	11.0	26.6	43.3	7.6	9.9	40.3	9.6
岡山県	3,323	1,694	87.0	18.8	17.2	12.4	36.9	48.9	7.9	11.8	44.7	10.3
広島県	3,472	2,507	87.1	32.9	20.3	12.4	33.9	48.7	8.7	12.4	47.5	10.6
山口県	3,257	1,231	84.3	19.7	17.7	10.4	34.1	45.6	8.2	11.2	43.2	9.5
徳島県	3,212	664	82.1	18.7	14.1	10.6	31.0	44.9	7.7	10.0	41.3	9.5
香川県	3,445	861	85.2	17.1	16.6	11.4	33.6	48.0	7.8	11.7	42.7	9.5
愛媛県	2,981	1,220	83.6	19.0	15.7	9.7	32.5	46.5	7.6	10.3	42.6	8.3
高知県	3,064	637	80.5	14.0	14.2	8.4	29.0	47.1	6.5	9.7	40.4	7.5
福岡県	4,388	4,481	86.3	26.1	18.0	13.0	39.7	48.5	9.3	12.5	48.1	9.7
佐賀県	3,719	721	83.1	22.7	15.5	11.2	32.0	44.0	6.9	11.2	43.0	8.9
長崎県	3,490	1,191	83.0	18.1	14.8	10.4	29.2	45.0	7.5	10.3	43.4	7.3
熊本県	3,176	1,548	82.3	17.3	13.4	10.8	30.6	43.9	7.8	9.7	40.8	9.8
大分県	3,272	1,016	84.5	19.9	17.4	11.0	33.6	46.6	8.0	11.6	41.3	9.6
宮崎県	3,098	955	81.0	17.9	13.9	10.2	25.5	44.4	8.0	10.1	39.7	9.0
鹿児島県	3,167	1,424	83.5	17.6	12.5	10.4	30.4	45.0	7.9	10.2	42.0	9.0
沖縄県	3,065	1,231	83.9	20.3	13.4	12.5	36.2	49.8	7.3	8.9	48.4	10.7



## V 進行管理のための参考指標等

都道府県	邦楽 (民謡、 日本古来の 音楽を含む)	コーラス・ 声楽	カラオケ	邦舞・ おどり	洋舞・ 社交ダンス	書道	華道	茶道	和裁・洋裁	編み物・ 手芸	趣味 としての 料理・ 菓子作り	園芸・ 庭いじり ・ガーデ ニング
全国	2.9	2.8	30.7	1.6	1.4	4.1	1.8	1.6	6.4	10.6	17.8	25.7
北海道	2.8	2.2	31.1	1.2	1.1	2.6	1.2	1.5	6.4	12.0	17.8	26.5
青森県	2.5	1.4	22.9	1.6	1.1	2.6	1.3	1.0	5.6	10.0	14.3	24.4
岩手県	2.5	2.4	24.4	2.4	1.0	3.0	1.4	1.1	6.4	11.5	15.3	27.9
宮城県	4.0	2.7	29.9	1.6	1.3	2.9	1.5	1.2	6.6	11.4	17.8	27.7
秋田県	3.1	2.0	21.6	2.1	1.1	3.1	1.5	1.4	6.1	10.0	16.1	27.4
山形県	2.5	2.3	27.6	1.8	1.1	3.8	2.2	1.3	5.9	10.8	16.8	28.9
福島県	2.5	2.6	25.4	1.1	1.0	3.4	1.1	0.6	5.3	9.9	15.1	29.1
茨城県	2.3	1.8	29.2	0.9	1.5	4.2	1.6	1.3	5.4	9.8	15.9	32.3
栃木県	2.5	2.5	27.4	1.3	1.2	3.7	1.5	1.3	5.9	9.5	17.4	30.5
群馬県	2.8	2.5	28.9	1.5	1.3	4.5	1.9	1.4	6.7	10.3	16.3	32.1
埼玉県	2.9	3.1	32.6	1.2	1.4	5.4	1.6	1.2	6.6	10.9	18.2	27.1
千葉県	2.4	3.1	33.4	1.6	1.6	4.2	1.4	1.4	6.6	11.1	18.0	28.8
東京都	3.2	3.9	35.2	1.6	1.9	3.8	1.7	1.7	7.2	10.9	19.9	20.7
神奈川県	3.4	4.4	35.3	1.9	2.0	4.3	1.8	1.3	7.8	11.4	21.1	25.0
新潟県	2.4	1.7	26.0	1.7	0.9	3.6	1.8	1.7	5.8	9.7	15.7	26.4
富山県	2.9	2.6	27.2	1.9	1.1	3.8	2.5	2.9	5.5	10.4	16.3	28.2
石川県	3.2	1.4	28.4	2.0	1.2	3.9	2.6	3.1	5.9	10.0	17.5	26.9
福井県	2.7	1.7	27.5	2.0	0.8	4.3	2.8	2.1	5.5	9.7	18.1	26.0
山梨県	2.7	2.3	30.9	2.0	1.2	5.3	1.8	1.5	6.1	9.6	16.5	28.4
長野県	3.0	3.4	28.4	1.9	1.4	4.1	2.5	1.3	5.6	10.6	18.6	30.2
岐阜県	2.7	2.1	26.6	1.6	1.3	4.2	2.1	1.9	5.9	10.2	17.8	27.3
静岡県	2.8	2.4	27.2	1.7	1.5	3.8	1.9	1.7	6.2	10.1	15.8	27.1
愛知県	3.5	2.5	31.6	1.7	1.2	4.4	1.7	1.8	6.3	9.8	17.4	25.1
三重県	3.2	2.3	28.2	1.2	1.0	4.8	2.1	2.1	6.0	11.0	17.8	27.4
滋賀県	2.5	2.7	32.2	0.9	1.2	4.5	2.3	1.4	6.7	11.2	20.5	28.7
京都府	3.4	3.8	28.7	1.4	1.4	4.7	2.8	2.5	6.7	12.4	17.1	25.2
大阪府	2.8	2.9	32.7	1.6	1.7	3.8	1.6	1.8	6.3	10.1	16.8	18.7
兵庫県	2.9	3.8	30.5	1.2	1.8	4.9	2.0	1.6	7.1	11.8	18.5	23.7
奈良県	2.8	3.1	30.9	1.1	1.3	4.6	2.7	2.4	6.9	11.8	19.4	29.6
和歌山県	1.8	2.5	28.7	1.6	1.0	4.3	1.7	1.0	5.9	9.2	15.4	26.2
鳥取県	2.6	2.2	24.5	1.4	0.7	2.9	2.4	2.4	6.4	10.2	15.9	25.3
島根県	2.4	2.6	23.9	1.5	1.0	3.8	2.3	2.0	5.5	10.0	16.2	28.2
岡山県	2.4	2.4	28.1	1.6	1.0	5.5	2.3	2.0	6.0	11.3	18.2	29.6
広島県	2.8	2.2	28.4	1.8	1.0	3.7	1.7	1.9	5.4	11.0	18.4	25.1
山口県	2.4	2.1	27.6	1.4	1.4	4.0	2.7	1.6	6.3	11.0	16.0	29.2
徳島県	1.8	2.1	26.6	2.8	0.8	4.5	1.8	1.5	5.4	8.9	17.8	28.3
香川県	1.9	2.3	25.5	1.7	1.3	4.1	2.1	1.9	5.4	9.5	15.9	29.3
愛媛県	2.1	1.9	27.2	1.5	1.1	4.2	2.1	1.7	5.9	9.5	15.5	29.1
高知県	2.2	1.6	24.3	1.7	1.0	2.5	1.0	0.7	4.6	8.2	12.8	24.6
福岡県	2.9	2.6	32.4	1.8	1.6	4.1	2.3	1.4	5.6	10.3	17.8	24.4
佐賀県	3.0	1.8	26.5	1.9	1.1	5.7	2.1	1.4	5.3	9.4	17.1	26.6
長崎県	2.5	2.5	26.1	2.2	0.9	4.6	1.5	1.2	5.9	9.7	17.2	26.2
熊本県	2.1	1.9	27.0	1.5	1.3	3.9	1.8	1.4	6.0	9.5	16.6	26.1
大分県	2.7	2.0	27.7	1.5	0.8	4.3	1.4	1.1	5.7	9.6	17.6	26.9
宮崎県	2.1	1.9	27.3	1.8	1.1	3.9	1.1	1.0	6.0	9.0	16.2	27.9
鹿児島県	2.3	2.6	28.4	2.2	1.2	3.6	1.4	0.8	6.7	10.2	17.1	29.1
沖縄県	4.8	1.9	39.5	2.2	1.8	3.4	1.3	0.5	4.9	7.0	15.6	21.9

## V 進行管理のための参考指標等

都道府県	日曜大工	絵画・彫刻 の制作	陶芸・工芸	写真の 撮影・ プリント	詩・和歌・ 俳句・小説 などの創作	趣味 としての 読書	囲碁	将棋	パチンコ	テレビゲーム ・パソコン ゲーム(家庭 で行うもの、 携帯用を 含む)	遊園地、 動物園、 水族館 などの見物	キャンプ	その他
全国	10.9	3.5	2.2	24.9	2.5	38.7	1.2	3.2	8.5	35.8	33.8	6.4	3.5
北海道	11.9	3.7	1.9	24.5	2.2	37.8	1.3	2.7	10.6	37.0	27.8	11.0	3.8
青森県	9.9	1.8	1.1	16.7	2.0	29.7	1.1	3.6	9.7	30.9	21.6	4.8	3.4
岩手県	11.9	3.0	1.7	18.1	2.5	33.9	0.9	2.5	10.4	29.9	23.0	4.3	3.3
宮城県	11.4	3.1	2.6	23.8	2.1	39.4	1.4	3.4	9.6	34.2	35.7	5.2	3.1
秋田県	11.8	2.0	1.1	18.0	1.6	31.5	0.8	2.5	8.6	29.0	26.7	3.8	2.9
山形県	10.4	2.7	2.0	19.0	2.4	32.1	0.7	3.4	9.4	31.3	29.9	5.3	3.1
福島県	11.5	1.9	1.7	20.7	2.3	33.9	0.9	2.3	9.7	31.3	26.4	5.2	2.5
茨城県	13.5	2.9	1.9	23.5	2.1	35.7	1.1	2.5	8.6	35.4	35.7	5.5	3.0
栃木県	11.9	3.4	2.0	23.4	2.5	35.2	1.0	3.1	9.1	34.7	34.0	4.7	2.9
群馬県	11.7	3.2	2.2	23.5	2.5	35.1	0.9	3.1	8.1	33.5	33.5	5.1	2.8
埼玉県	10.4	3.7	2.4	28.2	2.7	41.7	1.0	3.8	7.5	37.4	39.0	6.7	3.5
千葉県	12.1	4.0	2.4	28.2	2.5	42.4	1.6	3.6	7.7	38.6	38.1	6.0	3.8
東京都	9.3	4.7	2.9	30.5	3.4	49.6	1.7	3.7	4.9	40.6	40.5	6.6	4.3
神奈川県	11.2	4.6	2.7	30.8	3.5	43.9	1.4	3.4	6.8	40.0	39.5	7.8	4.5
新潟県	10.3	2.4	1.8	19.2	1.4	33.1	0.9	2.5	8.1	30.7	28.3	4.8	2.9
富山県	11.9	2.9	2.1	23.3	1.9	37.0	1.6	2.9	9.1	34.1	33.1	4.5	3.3
石川県	11.3	2.9	1.7	22.2	2.7	35.4	1.0	3.7	11.2	35.2	32.8	5.3	3.8
福井県	11.9	2.3	1.6	19.8	2.0	33.1	1.2	3.3	11.9	33.0	30.3	5.0	2.8
山梨県	11.1	3.5	2.2	21.4	3.0	34.3	1.2	2.5	8.8	32.0	29.9	5.4	3.0
長野県	12.8	3.5	2.3	21.9	2.5	36.4	1.1	2.9	8.9	32.8	27.3	6.1	3.3
岐阜県	10.5	3.0	2.3	21.6	1.8	32.4	1.2	2.3	10.3	34.3	30.7	5.9	3.7
静岡県	10.7	3.3	2.0	21.5	2.2	36.5	1.1	2.4	9.3	34.6	33.5	5.5	3.4
愛知県	10.5	3.4	2.6	26.5	2.0	38.7	0.9	3.4	9.9	39.4	39.2	8.8	3.4
三重県	12.1	2.7	1.8	23.3	2.5	33.8	1.2	2.7	10.5	36.6	33.6	5.8	3.5
滋賀県	13.2	3.4	1.8	25.0	2.1	37.0	0.8	3.9	9.1	37.5	36.1	6.0	3.4
京都府	9.9	3.9	2.9	25.2	3.1	40.6	1.3	3.3	7.6	34.8	38.8	5.8	3.6
大阪府	9.3	3.6	2.3	24.5	2.3	40.1	1.4	3.5	8.3	37.3	34.7	7.4	3.6
兵庫県	10.5	4.2	2.1	26.4	2.4	38.0	1.0	3.0	8.5	35.2	34.5	8.2	4.2
奈良県	11.1	4.7	2.9	27.1	2.8	40.4	1.5	3.5	6.7	34.1	35.9	6.6	3.5
和歌山県	11.6	3.2	1.8	20.0	2.1	29.5	0.5	2.9	9.2	32.0	30.5	5.0	3.0
鳥取県	10.4	2.7	2.1	18.9	1.9	33.9	1.5	3.5	10.1	30.3	25.7	4.1	2.5
島根県	11.1	2.2	2.2	18.7	2.2	33.3	1.4	2.6	8.1	28.8	24.5	3.7	2.4
岡山県	10.4	3.3	2.0	23.3	2.9	37.8	2.0	3.6	8.1	33.5	28.0	4.9	3.0
広島県	10.6	2.6	2.4	24.0	2.1	35.9	1.3	3.1	8.8	35.3	30.7	5.4	3.1
山口県	10.9	2.4	1.6	22.3	2.0	34.5	1.4	2.6	10.2	33.1	31.5	4.2	2.4
徳島県	11.6	3.6	1.8	20.8	3.1	33.5	1.1	3.3	9.1	32.1	26.8	5.1	2.6
香川県	11.3	2.4	1.3	21.2	2.0	33.9	1.5	3.3	9.4	32.8	28.1	4.8	2.9
愛媛県	11.3	2.7	1.6	20.2	2.7	32.9	0.8	3.5	9.9	33.0	24.0	4.3	2.4
高知県	10.2	1.9	1.7	17.0	1.6	30.8	0.7	2.2	11.0	29.0	24.0	4.8	2.7
福岡県	10.8	3.8	1.8	23.2	2.8	36.0	1.2	3.2	9.5	34.4	29.1	6.0	2.8
佐賀県	9.4	2.5	1.7	21.3	1.4	31.3	0.9	2.5	10.4	30.7	26.1	4.0	2.5
長崎県	11.6	3.1	1.3	19.3	1.7	31.5	1.0	2.3	10.5	29.9	24.6	4.0	2.9
熊本県	10.9	3.0	1.3	21.5	2.2	31.7	1.2	3.6	12.9	30.7	24.3	5.0	3.1
大分県	11.7	2.9	1.9	21.8	2.3	32.4	1.1	3.7	10.7	31.6	27.9	5.2	3.2
宮崎県	12.1	2.9	2.2	20.3	1.5	30.7	1.2	2.1	12.2	30.8	26.3	5.4	2.5
鹿児島県	13.4	2.8	1.6	20.9	1.9	30.5	0.8	2.5	12.4	30.2	27.4	5.9	2.0
沖縄県	13.7	3.3	1.7	19.5	1.7	33.0	1.6	2.7	3.9	28.5	24.8	7.2	2.8

平成 28 年「社会生活基本調査」都道府県、趣味・娯楽の種類別行動者率

平成 28 年 社会生活基本調査 調査対象 全国約 8 万 8 千世帯のふだん住んでいる 10 歳以上の世帯員（第 1 次抽出単位を国勢調査区とし、第 2 次抽出単位を世帯とする層化段抽出法）  
 調査期日 平成 28 年 10 月 20 日（5 年ごと）  
 調査方法 調査員による調査票の配布及び収集

## VI 年次報告のまとめ（文化芸術振興審議会意見）

県の文化芸術振興の総合的な目標等を定めた「かながわ文化芸術振興計画（計画期間：2019年度～2023年度）」において、「重点施策」及び「基本的な施策」に位置付けた各事業の実施状況等を取りまとめたものとして、2020年9月9日開催の第27回審議会において、県から報告を受けたところである。

当審議会として報告を受けた内容について審査を行い、課題等について、次のとおり意見を述べ、この年次報告のまとめとする。

### 1 かながわグランドデザインやSDGsとの関連について

「かながわ文化芸術振興計画」は、県の総合計画である「かながわグランドデザイン」を補完する個別計画である。そのことを明確にした上で、スポーツや観光分野など、様々な分野に文化芸術が関わる認識の共有を深め、他の部局とも横断的に連携し、取組を進めて行くことが必要である。

また、SDGsとの関連も今後検討していく必要がある。

### 2 年次報告書の記載内容について

参考指標の数値については、文化課が所管する施設に関わるものが多い。文化課が所管するもの以外の文化に関わるものについても、増やしていくようお願いをしたい。

また、文化課以外の所管や県下の自治体等が実施する文化芸術の取組についても、可能な範囲で徐々に記載内容を増やしていく必要がある。

### 3 新型コロナウイルス感染症に対する取組について

2019年度は2020年2月から3月において、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国で様々なイベントが中止・延期された。その中で、県は基本的にはイベントを中止としつつ、一部のイベントについては動画を配信するなど、いち早く新しい取組を導入してきた。

また、2020年度は「マグカル開放区」の会場をインターネット上に移した「バーチャル開放区」により、文化芸術活動の場を提供し、「文化芸術活動再開加速化補助金」において、「新しい生活様式」の下で行う文化芸術イベント等に補助するなど、早い段階で支援を実施してきたことは評価できる。

引き続き、新型コロナウイルス感染症による影響について情報収集をしながら、今後の支援等について検討し続けていきたい。